

付スベキ場所ガナイノデアル、從テ貴族院ニ於テ豫算ノ審議ニ日限ヲ附スルト云フ理由ハ毫モ見出セナ
 イ、又豫算ノ審議ト云フコトト、豫算關係ノ法律案ノ審議、此二ツハ相併行シテ、相調和シテ行ク必要ガア
 ル、然ルニ貴族院ノ豫算審議ニ對シテ期限ヲ附スルト云フコトハ、此必要ノ上カラ見テモ甚ダ不便ヲ感セ
 シメルモノデアル、我々ハ議院法、此憲法附屬ノ重要ナル法典デアル所ノ此議院法ニ於テ、十分ニ豫算ヲ審
 議スベキ餘裕ヲ與ヘラレテ居ル、然ルニ政府ノ言フガ如キ薄弱ナル一種ノ論據、權衡論若クハ平等論ノ云
 フガ如キ薄弱ナル論據ニ依ツテ、此我々ニ與ヘラレタル權能ヲ制限ヲ致スト云フコトハ、是ハ大キク申セ
 バ貴族院ノ權限縮小デアルト見ラレルノデアアル、又豫算ト法律トノ關係カラ申シテモ、今期議會ノ議事ノ
 進行ニ鑑ミ、斯ノ如キ制限ヲ附スルト云フコトハ甚ダ不便デアルト云フヤウナ御論デアリマシタ、併ナガ
 ラ委員ノ多數ノ空氣ト申シマスカ、御意見ハ、理窟ハドウニデモ付ク、贊成論モモ理窟ガアリ、反對論ニモ理
 窟ガアルガ、此案ハ既ニ三度マデ衆議院ヲ全會一致ヲ以テ通過イタシテ居ル、此三度マデ衆議院ヲ全會一
 致ヲ以テ通過イタシタト云フコトハ、貴族院トシテ最モ深甚ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、又豫算ト法
 律トノ調和ト云フ上カラノ便宜論ニ對シテモ、茲ニ二十一日ト云フ餘裕ガアレバ、衆議院ニ於テモ此期限
 ノ間ニ於テ審議ガ出來ルノデアアルカラシテ、貴族院デモ出來ナイコトハナカラウト云フヤウナ譯デア
 リマシテ、大體此案ヲ通過セシムルト云フコトニ大多數ハ一致イタシタノデアリマス、ソレデ唯多少ノ
 修正ヲ之ニ加ヘマシタ、其修正ハ御手許ニ差上グマシタ通りデアリマス、念ノ爲ニ讀ミマス、四十條ニ左

ノ一項ヲ加フ「ト云フ所ヲ」二項「ト致シマス、サウシテ末項ニ」各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキ
 ハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フ修正
 ヲ致シテ、大多數ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、御報告ヲ終リマス

高橋琢也君及藤澤利喜太郎君ハ質疑ヲ爲シ近衛委員長之ニ應答ス

高橋琢也君ノ質疑

私ハ只今問題ニナツテ居リマス豫算審議期間ヲ二十一日ニシタイト云フ衆議院ノ原案、之ニ更ニ五日間
 以內ノ延期ヲ許スコトヲ得ルト云フ修正ヲ加ヘテ委員會ハ議決ニナツタ趣ヲ、只今委員長ヨリ御報告ニ
 ナリマシタガ、私ハ委員長ニ伺ヒタイノデス、五日以內ト云フモノヲ延バシタラ宜カラウ、五日以內ノ期限
 ガアツタナレバ貴族院デハ豫算ノ會議ガ終了シ得ルデアラウト、斯ウ御認メニナツタ根據ハ何處ニゴザ
 リマスカ、何ニ依ツテ之ヲ御認メニナリマシタノデアリマスカ、定メシ委員會デソレノ議論ガゴザイマ
 シタラウト思ヒマス、ソレヲ一ツ承リタイ、ソレカラ兩院通ジテ延期ヲ爲スコトヲ得ルト、斯ウ云フ案ノ
 ヤウニ見エマスル、然ルニ衆議院ハ二十一日以上、一日一時モ延バシテ費ヒタイト云フ意味ハナイヤウデ
 アル、衆議院ガ別ニ好マナイコトヲ貴族院カラオセツカイニモ、俺ノ方デモ少シ日ヲ延バスカラ、オ前ノ方

デモ延バサヌカト、斯フ云フヤウニモ聞エルノデス、衆議院ノ意圖、因果シテ之ヲ延バスト云フコトガ希望
 デアルヤ否ヤト云フコトハ、何レノ方面カラカ御質シニナツタ譯デゴザイマスルカ、或ハ唯單ニ衆議院モ
 斯ウシタラ便利デアラウ、斯フ云フ御考デアアルカ、私ニハチヨツト了解ニ苦シムノデス、ソレカラ
 貴族院ノ先例ヲ伺ヒマスルノニ、豫算關係ノ法案ガ定マラヌ以上、確定シナイ以上、豫算案ハ何時デモ審
 議ヲ終了スルコトガ出來得ナイ、斯ウナツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハドウ云フヤウニ御考ヘニナルノ
 デゴザイマスルカ、今後ハ總テサウ云フ法案ニハ關係ハナイ、豫算ニ關係ガアラウトモ、ソレハ願ミル必要
 ハナイ、法案ハ法案トシテ單ニ審議シ、豫算ハ豫算トシテ單ニ審議スル、サウシテ若シモ法案ニ掲ゲタル
 所ノ豫算ノ金額トカ、何カ其他ノ事項ガ豫算ニ觸レマスルコトガアツタナレバ、其時ハ別ニ審議スルト、
 斯ウ云フ意味デアアルノデゴザイマセウカ、斯ウ延バシテ置クトハスルケレドモ、併シ若シ法律案ニ拘束
 セラル、場合ニハ、先例ニ依ツテ矢張り延バスノデアルト、斯ウ云フノデゴザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイ、
 高私ノ元來、衆議院ノ案ニ賛成シナイノデス又憲法ノ上カラ見テモ、議院法ノ上カラ見テモ、無論、衆議院ノ
 案ニ賛成スルノガ當然デアラウト思ヒマス、仍テ後ニ討論ニ至リマシテハ、私別段ニ意見ガゴザイマスル
 ガ、先ヅ以テ委員長ニ此點ヲ伺ヒタイ、

藤澤利喜太郎君ノ質疑

委員長ニ御質問ヲ致シタイノデゴザイマスルガ、只今高橋君ガ述ベラレマシタ所ト聯繫シテ居リマスカ
 ラ、同時ニ御答ヲ戴イタ方ガ便宜カト思ヒマス、此際發言ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス……私、御質問
 ヲ致シタイト存ジマスル點ハ、一部分ハ只今高橋君カラ御述ベニナツタ次第デアアルノデアリマス、此案ハ
 極メテ簡單ナルガ如クアルニモ拘ラズ、重大ナル問題ノ端緒、端緒ト申シマシテハマダ、肯綮ニ當ツテ居
 ラヌ、其又端緒ノ片鱗デアルト云フ、ソコニ重大ナル意義ノアルコト、存ジマス、第五十議會及ビ第五十
 一議會ニ政府案トシテ提出サレタノデアリマシテ、第五十議會ニ於キマシテハ唯、今回ノ異ナル所ハ、
 此但書ガ貴族院ノ場合ニ限ツテ附ケラレ、其案ガ兩院協議會ニ於テ協議ガ調ハナカッタヤウニ私ハ記憶
 シテ居ルノデアリマス、ソレデ今回ノ此案ト五十議會ノ時ノ案トノ違ヒハ、五十議會ノ時ニハ單ニ貴族
 院ニ限ツテ若干ノ延期ヲ許スト云フコトデアリマシタ、今度ハ之ヲ衆議院ニマデ及ボスト云フ、ソコニ
 重大ナル差ガアルト思ハレル、此案ニ付キマシテハ、元來ノ感情デアルト云フヤウナ言葉ガ用キラレタヤ
 ウニ記憶シテ居リマスガ、私ハ專ラ感情ト云フヨリハ、心理状態ノ懸隔ト云ツタ方ガ宜イカト思フノデア
 リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ……又仄聞スル所ニ依リマスレバ、衆議院ハ今日ニ至ルマデ此二十一
 日ノ期間デ満足シテ居ル、此但書ノヤウナ意味合ヲ更ニ附加ヘルト云フ意思ハ、衆議院ハ書テ發表シテ居ラ
 スト云フヤウニ承知シテ居リマス、デアリマスカラ極ク俗ノ言葉ヲ用キマスルト、恰モ此但書ノヤウナモ

ノヲ衆議院メ方ニ希望モ無イノニ、コチカラ押掛ケ的ニスルト云ヌヤウナ形ニナラナイカト切ニ恐レルノデアリマス、前申シタ通り私ガ他ニ適當ノ言葉ヲ發見イタシマセヌガ、心理状態ノ懸隔ト云フ、斯ウ云フ性質ノ問題デアリマス、其道行ニ付キマシテモ、大ニ考慮シナケレバナラヌコト、考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ之ヲ、各議院ハ已キヲ得ザル事由アル時ハ云々、即チ衆議院及ビ貴族院兩方ニ適用スルヤウナ但書ガ此際現ハレルコトニ付キマシテハ、或ハ更ニ心理状態ノ懸隔ヲ増大スルヤウナ懸念ガナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、申サバ結果ハ同ジコトニナリマシテモ、先以テ貴族院ニ於テ此但書ヲ附ケル、何レ是ハ衆議院ノ方ニ回送ニナリ、其上デ衆議院ノ方デ、貴族院デ斯ウ云フ但書ヲ附ケルナラバ、自分ノ方デモ附ケタイ、其意思ノ發表ガアツタ後ニソレニ同意スルト云フノト、今日豫メ斯ウ決メテシマヒマスノトハ、其間ニ意思ノ懸隔ト云フヤウナ考慮ノ下ニ於テ、重大ノ相違ガアルト思ヒマス、元來ガスウ云フ性質ノ問題デアリマスカラ、其點ニ付テ多分特別委員會ノ方ニ於テモ、色々御議論、御考慮モアツタコトデハナイカト推察イタシマス、サウ云フコトガアリマシタカ、アリマシタナラバ其點ニ付テノ模様ヲ特別委員長カラ伺ヒタイノデアリマス

近衛委員長ノ應答

只今高橋君ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ多少ノ議論ハアツタノデアリマス、併ナガラ大シタル議論モナク、修正案ノ通り可決イタシタノデアリマス、斯ウナリマシタ第一ノ理由ト申シマスカ、理由ハ二十一日ト申シテモ多少ノソコニユトリヲ附ケテ置イタ方ガ宜クハナイカト云フ、極ク簡單ナル理由デアリマス、ソレカラ今一ツハ一昨年ノ議會ニ於キマシテ、貴族院ニ於テハ一週間ノ延期ノ但書ヲ付シテ居ル、今年ハ全然其但書ヲ付セズシテ何スルト云フコトハ、餘リニ一昨年ノ院議ヲ無視シタヤウナ結果ニナリハシナイカト云フ意味カラシテ、五日間ト云フ期限ヲ附シタノデアリマス、ソレカラ衆議院ノ方ヨリ何等ノ要求モナイノニ拘ハラズ、貴族院ニ於テ衆議院ノ方マデモ其延期ノ但書ヲ附ケルト云フコトハ如何ナル譯カト云フ御話デアリマシタ、其點ニ付テモ多少ノ論ハアツタノデアリマス、抑、此起リガ兩院ノ差別的ノ取扱ヲ成ルベク少クスルト云フコトカラ出發イタシタノデアリマスカラシテ、コチラノ審査期限ニ對シテ多少ノ延期ノ餘裕ヲ存スル以上ハ、衆議院ニ對シテモ、ソレダケノ延期ノ日數ガアツテ然ルベキデアラウ、是ハ專口衆議院ニ對スル敬意ノ表徴トシテ此期間ヲ各議院ニ兩議院共ニ平等ニ五日間ノ延期ヲ致シテ差支ナイト云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、大體只今ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、委員會ニ於テハ、サシテ大ナル論争ハ見ズシテ可決イタシタ次第デアリマス

小野塚委員ハ左ノ如ク委員長報告ノ補足ヲ爲ス

ト特別委員長ニ對スル質問ニ對シテノ特別委員長ノ御答ガアリマシタガ、ソレニ付テヨツト補充ノ發言ヲ致シタイト思フノデアリマス、特別委員長カラ前ニ何カ補充スルコトガアツタラ遠慮ナシニヤツテ吳レト云フ御話モアリマシタガ、委員長ニ對スル御質問デアリマスカラ、私ガ補充スルノモ如何カと思ツテ居ツタノデアリマス、所ガ今他ノ特別委員長カラ何カ言フコトガアツタラ遠慮ナシニ言ツテ宜イト云フサウ云フ先例デアアル、斯ウ云フ注意モアリマシタノデアリマスカラ、ソレ少シバカリ補充シテ見タイト思フノデアリマス、其補充ハ今日ノ午前、此特別委員會ガアリマシタノデアアルカラ、マダ速記録ガ諸君ノ手許ニ御渡リニナツテ居ラタイト思ヒマス、ソレガ渡ツテ居ルナラバ、ソレヲ御覽下サレバ大分解ケルト思フノデアリマス、此但書ニ付テ、特別委員會ニ於テ私ハ多少述ベテ置イタノデアリマス、其但書ノ必要ト云フコトニ付キマシテハ、只今特別委員長カラ大體簡單ナル御答辯ガアツタノデアリマスガ、唯ソレヲ補充シタイト思ヒマス點ハ、是ハ委員會デハナクシテ、委員會ヲ終了イタシマシタ後ニ、一昨日デアリマシタガ、第一回ノ委員會ノ後トデ、懇談會ナルモノヲ開イタノデアリマス、其時ニ無論速記ナシニ色々ト懇談ヲシテ、何トカ此問題ヲ解決シヤウト云フヤウナ話合ガアツタノデアリマス、其際ニ於ケルコトデアリマシテ、速記録ニハ出テ居リマセヌガ、併シソレヲ只今私ガ補充ニ申スト云フコトガ、非常ニ不都合デアラウトモ私ハ思ハナイノデアリマスカラ、其事ヲチヨツト申シタイト思フノデアリマス、ソレハ先程藤澤博士ノ質問ニ、衆議院ノ方デハ要求モシナイ、ソレニコチラカラシテ無理ニ強フルト云フノハ、却ツテ所謂博士ノ

言葉ノ心理状態、申サバ感情デアリマスガ、心理状態ノ目カラ見テ却ツテ宜クハナイ……不都合ハナイカ、宜クナイコトハナイカト云フコトノ御尋デアリマシタ、其點ニ付キマシテハ、サウデハアルマイ、却ツテ同等デアアル、コチラデ但書ヲ附ケルガ、アナタノ方デモ附ケタラ宜カラウ、ソレハ但書ヲ附ケル積極ノ理由ハ別ニアリマス、ケレドモ單ニ今ノ心理状態ト云フ理由カラ見レバ、コチラデ附ケル時ニ向ウデモ附ケルト云フノハ宜カラウ、ト云フ話合ハアツタノデアリマス、ソレハ一方カラ見ルト、衆議院ノ方ニ廻ツタ時ニ、向ウデ但書ヲ附ケタラ附ケテ、其處ニ權衡ヲ得セシムルト、向ウノ感情ニ適スルトモ言ヒ得ルノデアリマスケレドモ、形ノ上カラ見マスト、サウ致シマスト、貴族院ハ貴族院ダケガ第五十議會ニ於ケルガ如ク但書ヲ附ケルノダ、即チ矢張り同等デヤナイノダ、權衡ノ上カラ貴族院ガ得ヲシテ居ルノダト云フコトハ、現ハレテ來ルノデアリマス、所ガ今ノ第三項ヲ「各議院ハ」トスル時ニ於テハ、我々ダケガ但書ヲ利用スルト云フコトハナイ、アナタノ方デモ同ジヤウニ利用サレルコトガ御便利デモアラウシ、我々トシテモ希望スルノデアリマス、ト云フコトヲ、ハツキリ云ツテアルノデアリマスカラ、若シ反對ニ貴族院デハ但書ヲ自分ノ方ノミニ附ケテ、衆議院ノ方ヘ此案ヲ回付イタシマシタ時ニ、衆議院ノ方デハ自分ノ方デ又但書ヲ追加スル、ソレガ又貴族院ニ來マシタ時ニ、ソレニ對シテ貴族院ガソレヲ宜イト云ヘバヨシ、或ハ貴族院ダケガ必要デ、衆議院ハ別ニ請求シナンダカラ今更但書ノ均霑ト云フコトハ不都合ダト云フコトヲ貴族院ガ言フカモ知レナイ、サウ云フ幾ラカ不明不安ノ念ヲ懷カスト云フヨリハ、明カニコチラカラシテ兩院同等

デアルト云フコトヲ形ノ上ニ於テ示シテ置ク方ガ却ツテ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ話合ガアツタデアリマス、ソレカラ又衆議院ハソレデ承知スルデアラウカト云フコトモ付テモ、私ガ確カ先輩諸君ニ御尋ネシタト思ヒマスガ、ソレハ多分承知スルダラウ、コチラダケノ但書デハ無論承知シナイガ衆議院ニモ同等デアルト云フコトデアレバ、コチラモ多少讓歩シタコトデアルシ、向ウモサウ何時マデモ頑張ラズニ、御互ニ讓歩妥協スル態度デ以テ此問題ヲ解決シヤウト云フコトデ、貴族院ガサウ云フ態度ヲ執ルナラバ、衆議院ノ可ナリ強硬ノ論者モサウ云フヤウニナルト云フダケハ、是ハ難話デ、何等サウ云フコトヲ仰シヤツタ方ニ根據ハナイト言ツテハオカシイデスガ、責任問題ヲ起スト云フノデハナイ、マア讓歩トデモ云ヒマスカ、見込トデモ云ヒマスカ、ソレハ兩院同様ノ但書ヲ附ケルナラバ、多分衆議院モ納得スルデアラウト斯ウ云フ話ハアリマシタ、モウ一ツ念ノ爲ニ申上ゲマス云フト、私モ其點ニ付テハ二月二十八日ニ此法案ガ本院ニ於テ初メテ取扱ハレマシタ時ニ、總理大臣ニ對シテ其點ヲ、懸念デアリマシタカラ、假定的デアアルガ、質問ヲ致シマシタ、其總理大臣ノ御答辯ハ速記録ニアリマスガ、其要點ヲ申シマス云フト、…今ノ點ニ付テ要點ヲ申シマス云フト、私ハ茲デ何トモ申上兼ネルノデアリマス、併シ兩院ノ間ガ…ト書イテアリマスガ、期間ガト云フ「期」ノ字ガ落ちて居ルノダラウト思フ、速記…誤植ダラウト思ヒマスガ、兩院ノ「期間ガ」ヲ「間ガ」ト書イテアリマスガ…同政ヤウナ規定デアリマシタナラバ、衆議院ニモ大シテ異議ハ無イデアラウカト想像イタシマス…即チ總理大臣モ衆議院ノコトヲ今更言フ譯ニ行カナイ

ガ、同等デアルト云フコトナラ衆議院モ無論承知スルダラウト云フコトヲ、此處デ答辯シ居ラレマスシ、其前ニ私ハコチラデ斯ウ云フ風ニ但書ヲ附ケタナラバト云フ想像ヲ致シマシテ、ソレニ對シテ政府ハ同意スルカト云フト…一々讀上ゲマセヌガ、政府ハ同意スル、ソレデハ更ニ積極的ニ衆議院ニ對シテ貴族院ノ趣旨ヲ能ク了解スルヤウニ努力シテ下サルカト云フコトニ對シテハ、ソレハ精々努力ヲ致シマス云フトヲ、總理大臣ガ明カニ答ヘラレテ居ルノデアリマス、デ要スルニ藤澤君ノ御心配ハ、私モ同ジタ心配イタシタ點デアリマシテ、其點ニ付テハ無論衆議院ノ決議ヲ私ガ何等申スコトハ出來マセヌガ、何等其コトニ考ヘ及バズシテ、斯ウ但書ヲ附ケタト云フコトデハナイコトダケヲ、申上ゲテ置キタイノデアリマス

高橋琢也君ハ左ノ再質疑ヲ爲シ近衛委員長之ニ應答ス

只今委員長ノ補足トシテ小野塚サントカ仰シヤル方カラ御辯明ガゴザイマシタ、之ニ對シテ委員長ニ伺ヒマス、只今小野塚サンノ御話ハドウヤラ速記モナク懇談會デ唯話シタコトガアルト斯ウ仰シヤルヤウニ承ル、ソレダト云フト此修正案ナルモノハ、唯小野塚サンノ御話ニ依ツテ出來タノデアツテ、委員會デ決議シタコトデモ何デモナイヤウニ伺ハレル、又何故ニ之ヲ速記ヲ置カズ委員會ニ諮ラズ唯一私人ノ懇

議會トシテソレレ御決メニナツタノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ
近衛委員長ノ應答

委員會ニ於キマシテハ、便宜上懇談會ノ形式ヲ採ツタノデアリマス、而シテ只今小野塚博士ノ御述ベニナ
リマシタコトハ、懇談會ニ於テ確カ御述ベニナツタコトデアラウト思ヒマス、其後懇談會ノミヲ以テ終ツ
タノデハナイノデアリマシテ、今日ハ正式ニ會議ヲ開キマシテ、討論イタシテ此決定ヲ見タノデアリマ
ス

次テ本案ハ第二議會ヲ開クニ決シ引續キ第二議會ヲ開キ高橋琢也君ハ左ノ如ク委員會報告ニ反對ノ演説ヲ
爲ス

私ハ先刻質問ノ場合ニモ申上ゲテ置キマシタ、此修正案即チ二十一日以後尙ホ延期ヲスルト云フ但書ノ
方ヲ削除スルト云フ意見デゴザイマスル、先以テ此委員長ニ御禮ヲ申上ゲマス、度々委員長ヲ御煩ハシ申
シテ誠ニ相濟ミマセヌ、伺ヒマスレバ、是程大切ナ議案ガ、餘リ十分ナ御審議ヲ御盡シニナラチカツタヤ
ウニゴザイマス、委員長ノ御報告ニ依リマスルト、多少御意見モ出タト云フヤウナコトデゴザイマスル
ガ、之ニ對シテ十分ナ御審議ハ御盡シニナラチカツタカノ感ガアル、是ハ誠ニ遺憾デアアル、又第二只今小

野塚君カラ先般本案ガ此議場ニ上ツタ場合ニ、期限ヲ延バスト云フコトノ御意見ヲ御出シニナツテ、之ニ
對シテ總理大臣ガ差支ナイヤウナ答辯ヲシタト、斯ウ云フヤウナ御話ガゴザイマシタ、總理大臣ノ仰シヤ
ルコトデアレバ誠ニ結構ナコトデアツテ、何デモ御承知ヲ遊バスカモ知レナイ、併シ議會モ第五十二議會
トナツテ居ル、今日貴族院ハ……人間ノ定命ハ五十二トアルガ、正ニ來年ハ人間ノ定命ニ當ル位ノ年度ヲ
經テ居ル、サウスレバ此間ニ貴族院ノ議員ノ頭ハ十二分ニ發達シテ居ル筈デアアル、論ハナイ、然ルニ衆議
院デハ二十一日、而モ初メテ出テ來タ豫算案デアアル、ソレヲイツデモ二十一日間デ議了シテシマフ、貴族
院ニ廻シテ來タ後ハ、イツデモ貴族院デハ殆ド議會ノ仕舞マデ此豫算案ヲ引張ル、ト言ツチャ語弊ガアル
ガ、兎ニ角ソレマデハ豫算案ハ貴族院ニ居ルノデアアル、甚シケレバ曩ニ、今晚ノ十二時ヲ過グレバ議會ハ
仕舞ニナルノデアアル、サウスレバ質問ヲ今ヨリ十時間續ケルナラバ、其時間ハ經過シテシマフ、サウスルト
豫算ハ不成立ニナルゾト言ツタヤウナ人ガアツタト聞イテ居リマス、誠ニ危険千萬ナコトデアアル、其ヤ
ウナコトヲセヌデモ、公明正大ニ豫算ガ惡ケレバドノヤウニモ修正ガ出來ルダケノ貴族院ハ其權能ヲ有
ツテ居ルノデアアル、惡イ所ハズン、削除シテ宜シイ、更正ヲシテ宜シイ、修正意見ヲ出シテ宜シイ、何ノ願
ミル所ガアツテ之ヲ長ク引張ツテ置ク、ソレハ、或ル部分ニハ、是ガ長ク引張ツテアル中ニハ何カ出テ來ルカ
モ知ラヌト云フヤウナ、變ナ心ヲ持ツテ居ル人ガ、是ハドウモ多數ノ議員ノ中ニハ無イトハ云ハレマスマイ

ガ、マサカ貴族院ノ中ニハサウ云フ人ハ骨チナイ筈デアアル、殊ニ正義高潔ナ人バカリヲ以テ組織シテ居ル貴族院デアアル、此間ニオカシナ考ヲ持ツテ居ル人ハ一人モアルマイト私ハ思フ、サスレバ何ヲ苦ンデ二十一日デ之ヲ議了スルコトガ出来ナイガ、貴族院ノ人ノ頭ハ、先ニモ言ウタ如ク、衆議院ノ人ノ頭ヨリ劣ツテ居ルカト云フクラ、劣ツテ居ナイト云フコトハ明カデアアルノミナラズ、寧ロ優ツテ居ル、優ツテ居ル頭ヲ以テ之ヲ審議スルノニ、ドウシテ多數ナ日子ガ掛カルカ、掛カル筈ガナイ、又嘗テ或ル議員ハ或ル新シイ事項デ、高橋君、是ハマア今ヨリ十年先キデナケレバ貴族院ハ通りマセヌゾト言ツタ御方ガアルガ、其案ハ翌年ツルリ貴族院ヲ通ツテシマツタ、中ニハ斯ウ云フ御方モアル、ダカラナカク、貴族院ノ議員ノ頭モ皆分析シテ見タラ色々デアアルデセウ、併シ今日トナツテハサウ舊イ頭ハナイ、恐ラクハ一番舊イノハ私ノ頭ガ一番舊イニ違ヒナイ、併シ如何ナ私ノ舊イ頭ヲ以テ見テモ、最早衆議院ト駈ケクラヲシテ負ケルヤウナ考ハ持ツテ居ナイ、ソレ故ニ若イ御方ナドハ尙ホ以テノ話、思想ガ我々ヨリ百段モ若イニ違ヒナイ、學者達ハ尙ホ以テノ話、ソレデアアルカラサウ云フ方ハ、二十一日ハ餘リ長過ギルカラ寧ロ十五日ニシヤウ、二週間ニシヤウト仰シヤルノデナイカト思ウテ居ルノニ、アベコベニモウ五日バカリモ長クシテ置カヌトドウモ安心ガ出来ナイ、貴族院議員デヤ是ハアブナイト仰シヤルノガ私ニ分ラナイ、ドウ云フ譯ダカ：…決シテ危クナイ、ソレ故ニ貴族院トシテモ衆議院ト同一ニ、二十一日ト立派ニ切ツテ御置キニナル方ガ宜カラウト思フ、併シイツ迄モ法律關係ノ先例ヲ言ハレテハ困ルカラ、是ハ別ニ御定メニナル機會ガアラウ

ト思フ、私ハソレヲ望ムノデアアル、貴族院ノ慣例ニ依レバ、イツデモ法案ガ決マラヌ以上ハ豫算ハ決メナイソコ、是ハ宜シクナイ、衆議院ガ既ニ先キニ決メル、衆議院ハ法案ハ後ニ残ツテ居ル、若シカ後デ其法案五ガ否決ニナツタリ握リ潰シニナツタリシカラ、其時ニソレニ關係ノ部分ダケノ豫算ヲ修正スレバソレデ宜イ、削除スレバ宜イ、何デモナイ話デアアル、之ヲ玉手箱見タイナコトヲシテ握ツテ居ル必要モ何モナイ、尙廷ツカリ握ツテ居ルト中カラ様々ナ傀儡ガ出テ來ル、ソレデアアルカラ私ハ斯様チコトヲ長ク言フ必要ハナイ、ドナタニモ判ツテ居ル話ダラウト思フカラ、此修正案ハ削除シテ、衆議院ノ原案通り可決シテ戴キ書タイ、私ハ簡單ニ意見ヲ述ベテ降リマス

(衆議院ニ於ケル議事ノ經過参照)

探決ノ結果委員會報告ノ通修正議決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第二讀會議決ノ通議決シ即日衆議院ニ回付ス

議院法中改正法律案(鷺野米太郎君外一名提出)

議院法中左ノ通改正ス

第十九條第四項中「五圓」ヲ「二十圓」ニ改ム

第五十二回議會 衆議院案 貴族院第二讀會 鷺野案

第二十五條 各議院ハ議會閉會ノ間委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシメ又ハ議院ノ職務權限ニ關係アル事項ヲ處理セザルコトヲ得

前項ニ關スル規程ハ各議院ニ於テ之ヲ定ム

理由 中野米太郎案(續前案) 續前案(續前案) 續前案(續前案)

現行法ハ單ニ提案中ノ議案ヲ議會閉會中ニテ審査セシムル爲繼續委員ヲ設ケ得ルニ止マルモ我カ國ニ於テハ議會ノ閉會期間長カラサルヲ以テ閉會ノ期間ヲ利用シ委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシメ之カ審議ヲ慎重ナラシムルノミナラス各般ノ法律ヲ改正スルノ必要ナキヤ否ヤ新ナル立法ヲ爲スノ必要ナキヤ否又立法事項ニ關セサルコトニ付テモ政府ニ建議質問ヲ要スルモノナキヤ否ヤ等ヲ調査セシメ政府ヨリ各種ノ報告ヲ受ケ其ノ他議院ノ權限ノ行使圓滑ナラシムルニ必要ナル事項ヲ處理セシムルコトヲ要ス之等ノ目的ヲ達スル爲議院法第二十五條ヲ改正セムトスルモノナリ

右議案ハ昭和二年一月二十八日提出二月十九日小川平吉君外二十六名提出議院法中改正法律案ト一括シテ第一號會ヲ開キ中野米太郎君ハ左ノ趣旨辯明ヲ爲ス

議院法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ御說明申上ゲマス、我が帝國議會ノ會期ハ通常三箇月デアリマシテ、之ヲ英國、米國、佛蘭西等ノ諸國ノ議會ノ會期ト比較シマスルト頗ル短期間デアリマス、斯様ナ短期間ノ會期デアラウト私ハ存ジマス、又今日マデ重要ナ案件ノ審議ガ會期中ニ十分ニ盡サレナカツタ實例モ少クナカツタコト、存ジマス、ソレ故ニ最近貴族院ニ於キマシテモ、又本院ニ於キマシテモ、此點ヨリ致シマシテ、繼續委員設置ノ問題ガ實際ノ問題ニナツテ居ル次第デアラウト存ジマス、然ルニ現在ノ規定デアラウハ繼續委員ヲ置クニハ政府ノ同意ヲ要スルコトニナツテ居リマスノデ、議院ガ之ヲ置カウト致シマシテモ、政府ガ同意ヲセナカツタナラバ、置クコトガ出來ナイノデアリマスカラ、私ハ茲ニ時勢ノ要求ニ鑑ミマシテ、議院法第二十五條ヲ改正シマシテ、繼續委員會ノ設置運用ヲ議院ガ自由ニ爲スコトヲ得セシメテ、之ニ依ツテ貴族院及衆議院ノ各議院ノ機能ヲ十分ニ發揮スルヤウニ致シタク、此改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、抑、我國ノ憲法ハ議會ノ會期ヲ三箇月ト御欽定ニナツテアリマスノデ、是ハ如何トモスルコトガ出來ナイノデゴザイマス、而シテ議會ノ會期ハ憲法ノ原則上ニ繼續ノモノデアリマスカラ、ソレデ議會ノ閉會ニ依ツテ總テノ案件ハ其議案タル所ノ法律上ノ效果ヲ失フコトハ、私ガ申スマデ

モチイコトデゴザイマシテ、憲法第三十五條ノ明ニ之ヲ定メテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ會期ヲ經過
 以テ所ノ總テノ議案ヲシテ、議案デアル所ノ效果ヲ發生セシメントスルナラバ、更ニ再ビ次ノ議會ニ改メ
 テ提案ヲセナケレバナラナイノデアリマス、是ハ米國ナドノ實際ト相違スル點デアリマス、皆様御承知
 ノ如ク米國ノ議會ニ於キマシテハ、會期ノ終リニ於テ議院ノ委員會ノ審査中ニ係ル所ノ總テノ案件ハ格
 モ閉會ガナカツタト同様ニ、同一議會ノ次ノ會期ノ初メニ於テ其審査ノ續行ヲ許スコトニナツテ居ル
 デアリマス、我國デハ唯、此場合議院法第二十五條ノ規定ニ依リマシテ、繼續委員ヲ設ケテ議案ノ審査ヲ
 繼續セシムルト云フコトノ出來ル規定デアリマスケレドモ今日マデドウモ其活用ヲ見マセナカツタコト、
 存ジマスガ、現行ノ規定ト致シマシテハ、閉會中議案ノ審査ヲ繼續スルノニハ政府ノ要求ニ依ル場合ト、
 議會自ラノ發意ニ依リマシテ、政府ガ之ニ同意ヲ爲シ之ヲ設置スル場合トニツノ場合ニナツテ居ルノデ
 アリマス、所ガ前ニ申上ゲタヤウニ、政府ハ議院ノ繼續審議ニ付キマシテ多クノ場合不同意ヲ表シマスル
 ノデ、此規定ハ議院ノ繼續審議ヲ實際ニ於テ拘束致シマシテ、事實上此規定ノ活用ガナイノデアリマ
 ス、願ミテ見マスルト云フト、國家ノ爲ニ實ニ私ハ遺憾至極ト存ゼラレマス、此拘束ヲ取ツテ除クト云フ
 ノガ私ノ提案ノ主眼點デアリマス、一體今日ノ議會ノ仕事ヲ通觀致シマスルト、明治二十二年頃ノ憲法
 御制定ノ當時ト、其仕事ノ内容及分量ガ非常ナ増加ヲ示シマシテ、豫算ハ普通會計十七億餘、特別會計ヲ
 以テ之ニ合計致シマスルチラバ、三十數億圓ノ大豫算デアリマシテ、之ヲ其當時ノ一億餘萬圓ノ豫算ト比較致

シマス、大ナル相違ガアルノデアリマス、而シテ議會ノ議ニ付セラルベキ所ノ案件ハ法律案、建議案、其
 他非常ナ多數ニ上ルノデアリマスガ、會期ハ依然トシテ三箇月デアリマス、之ヲ英、米、獨、佛等ノ議會
 ガ國務ノ中心勢力トナツテ活動シテ居ル所ノ實際ト較ベマスルト、非常ナ相違ガアルノデゴザイマス、英國
 ハ私ガ申上ゲルマデモナク、皆様御承知ノ通りデ、停會ノ命令ガナイ限リハ一箇年ブツ通シテ活動致シ
 マス、米國モ英國ト同様ニ殆ド一年中活動致シテ居リマス、獨逸モ大體同様ノ状態デアラウト存ジマス、
 佛國ノ如キモ憲法ノ規定ニ依リマシテ、少クトモ議會ノ會期ハ五箇月以上デナケレバナラヌト云フ規定
 ニナツテ居ルノデアリマス、又新シク興リマシタ所ノ「チエツク、スロバキヤ」國ノ如キハ、彼ノヤウナ小
 國デアリマスニモ拘ラズ、春ト秋ノ二回開會ヲ致シマシテ、國務ノ處理ヲ圓滑ニ致シテ居ルヤウナ實例モ
 アルノデアリマス、佛國ノ議會ハ新シク選舉ガ行ハレマシタ新議會ノ劈頭ニ當リマシテ、十九ノ常任大委
 員ヲ選定致シマシテ、是ガ議會政治ノ根幹トナツテ活動致シテ居ルノデアリマス、又米國ハ改選後ノ劈頭
 ニ於キマシテ、五十五ノ委員會ヲ選定致スノデアリマス、此中ニハ豫算委員トカ、外交委員トカ、陸軍委員
 トカ、海軍委員トカ、其他多數ノ委員會ニ岐レテ居ルノデアリマス、外交委員會ガ始終活動致シテ居ルト
 云フコトハ、皆様疾ニ御承知ノコト、存ジマス、獨逸ハドウカト申シマスルト、國會ヲ閉會中ハ勿論、議會ノ
 任期滿了後ニ於キマシテ國務ヲ處理スル爲ニ、絶大ノ權限ヲ有スル常任委員會ヲ設置致シマシテ、議會ノ
 權能ノ行使ヲ完全ニ致シテ居ル次第デアリマス、斯様ナ規定ニ「チエツク、スロバキヤ」及波蘭ノ新シイ憲法

邦議會の其の閉會中又ハ其ノ任期満了ノ時若ハ邦議會解散ノ時ヨリ新議會開會ニ至ルマデノ期間、内閣ニ對スル議會ノ機能ヲ防護スル爲ニ常任委員會ヲ設置スルト規定致シテ居ルノデアリマス、諸君、吾等議會ニ議席ヲ有スル者ハ、口ヲ開ケバ直ニ議會中心政治ノ確立ト申シマスルガ、議會ノ仕事ヲ多クシ、議會ノ働ク期間ヲ長クシテ、議會ノ機能ヲ發揮ヲ十分ニセズシテ、眞ノ議院政治ノ確立ガ果シテ出來ルデアリマセウカ、此點ハ大ニ吾等議員タルベキ者ガ注意シナケレバナラヌコト、存ジマス、私ヲシテ忌憚ナク言ハシメマスルナラバ、私ハ今日ノ私ガ帝國議會ノ實際ハ、英、米、佛、獨等ノ議會ガ、眞ニ議會トシテノ機能ヲ發揮シテ居リマスル實際ト比ベマシテ、私ハ日本ノ議會ハ政府ニ對スル一種ノ諮詢機關デアル所ノ形ヲ脱シテ居ラナイト言ハザラ得ナイノデアリマス、勿論是ハ譬喩デアリマスルケレドモ、如何ニモ我國ノ議會ハ其機能ヲ發揮ガ十分ニ出來テ居ラナイコトヲ確信致シテ居リマスルノデ、左様申上ゲル次第デアリマス、議會ノ活動ガ不十分デアルト云フコトハ、我國ノ政治思想ガ幼稚デアツテ、今日マデノ議會政治家ガ徒ニ形式論ヲ闘ハスノミデアリマシテ、議會ノ實際ノ仕事ヲ議會政治ノ目的ニ適フヤウニ廣ク且深クシナイノガ私ハ一ツノ大キナ原因ト存ジマス、而シテ是ハ又三箇月ト云フ短イ會期デ、而モ議會ノ實際ノ活動ノ日數ガ三箇月ノ會期中、事實ニ於テ四十日乃至五十日デアルト云フ短イ期間デアルト云フコトモ、是ガ一ツノ大ナル原因デアラウト存ジマス、諸君、三箇月ノ會期デ、實際ノ議會ノ活動ノ日數ガ

四十日乃至五十日デアリマシテ、貴族院又ハ衆議院ノ一院ニ於キマレテ、一ツノ議案ニ付テハ審議ハ十日乃至二十日ヲ出ナイ有様デアラウト存ジマスルガ、例ヘバ普選案ガ十分ノ審議ヲ盡サレナクシテ私ハ生レタモノト存ジマスルガ、是ガ爲ニ生レタ所ノ普選法ハ世間デハ色々ト非難ガアリマシテ世ニハ「バラツク」式トモ惡評ヲ試ミテ居ルノデアリマス、是ハ審議ノ十分デナカツタ結果デアラウト存ジマス、又訴訟法ノ如キ、關稅定率法ノ如キ、此改正ニ際シマシテモ、私ハ遺憾ナ點ガ澤山アツタヤウニ存ジテ居リマス、今後時勢ノ必要上幾多ノ重大ナル立法ヲ要シマス、現ニ貴族院ニ於キマシテ審議中ノ宗教法案ノ如キハ、最も慎重ナル審議ヲ要スル問題デアラウト存ジマス、又將來提案ヲ見ルベキ小作法案ノ如キ、又勞働法案ノ如キハ、何レモ皆重要ナ法案デ、審議ヲ十分ニセナケレバナラヌコト、存ジマス、此外我國ハ時勢ノ進運上幾多ノ法制ヲ新設改廢ヲ要シマスルガ、我國ノ憲法ノ現在ノ條章ノ範圍内ニ於キマシテ、議會ノ機能ヲ十分ニ發揮シ、完全ナル處置ヲ講ズルト云フコトハ、吾人立法府ニ在ル者ノ私ハ責務ト信ジマスルガ、此意味カラ致シマシテ、繼續委員ニ關スル規定ヲ改正案ノ如ク改正致シマシテ、實際ノ活用ニ便ナラシムルト云フコトガ之ニ對スル私ハ一番ノ捷徑デ、又最も急務デアラウト存ジマス、而シテ改正案ノ趣旨ハ、各議院ガ自己ノ發意ニ依リテ繼續委員ヲ設置シ、自由ニ議案ノ審査ヲ繼續セシムルノミナラズ、之ヲシテ兼テ議院ノ職務權限ニ關スル事項ニ付テ處理セシムルト云フ規定ニナツテ居ルノデアリマスルガ、議院ノ職務、權限ニ關スルコトハ憲法ノ定ムル所デアツテ、皆様御承知ノコトデアリマスルカラ、一切私ハ此處デハ申

上ダコセヌ、全部之ヲ省略致シマス、尤モ是等ノ議院ノ權限ガ全部繼續委員ニ付託スルコトガ出來ル性質ノモノデハアラマセヌ、事實上、事ノ性質上、例ハ豫算案ノ如キ、決算案ノ如キ、常任委員ニ付託セラルベキ性質ノモノハ、繼續審査ヲ許サナイコトハ勿論ノコトデアリマス、故ニ法律案ノ如キ、決議案ノ如キ、建議案ノ如キ、所謂特別委員ニ付託セラルベキ所ノ性質ノ案件ノミガ繼續審査ヲ許サレルノデアリマス、又繼續委員ニ權限ハ漫ニ廣汎ニ五ルベキ性質ノモノデアリマセズシテ、各議院ガ院議ヲ以テ繼續委員ニ付託スベキコトヲ決定致シマシタ所ノ特定ノ案件、又ハ事項ニ限定セラルベキモノデアラウト存ジマス、而シテ此繼續委員ノ性質ニ反セザル限リハ、前ニ申上ゲマシタ各議院ノ職務權限ニ關スル事項ニ付テハ、各議院ト致シマシテハ、例ハ各案ノ法律ヲ改正スル必要ハナイカドウカ、又新タナ法律ヲ制定スル必要ハナイカドウカ、又立法事項ニ關係致シマセヌ事ニ付テモ、政府ニ或ル重要ナ事ヲ建議スル必要ハナイカドウカヲ調査セシメ、又政府ヨリ各種ノ内外政務ニ關スル報告又ハ諸般ノ調査報告ヲ受ケマシテ、議院ノ職務權限ノ行使ヲ圓滑ナラシメ、議院ノ權能ノ發揮ヲ十分ナラシムル必要ナ事項ヲ、議會閉會中ニ處理セシムルコトガ出來ルヤウニ、議院法ノ規定ヲ改正スルト云フコトハ、獨逸「チエツク」スロバキヤ「其他新憲法」ノ制定セラレテ居リマス所ノ國ノ實際ヲ見ルモ、又英、米、佛、獨等ノ議會ノ活動ノ實際ニ鑑ミマシテモ、今日我國ノ議會ノ活動ノ不十分ナルコト、サウ云フ點カラ顯ミマシテ、最モ我國ノ今日時勢ノ要求スル所デアラウト存ジマス、而シテ之ニ順應スルガ爲メ、議院法第二十五條ヲ提案ノ如ク新様ニ改正セント

スル所以デアリマスルガ、是ガ細則ハ別ニ定メルコトニ致シマシテ、其細則ニ付テハ私ハ追テ提案致ス考デアリマス、尙ホ第十九條第三項ニ付テ委員ノ手當ヲ一日二十圓以下ト改メントシマシタノハ、議院法制定當時、即チ明治二十二年ノ物價ヲ標準トシテ定メタモノデアリマスルカラ、其後物價騰貴シマシタ爲ニ明治三十二年及大正九年ノ二回ニ互リマシテ、同條第一項ノ歳費ヲ増加サレマシタカラ、是ト權衡ヲ得マヌル爲ニ、第二十五條ノ委員ノ手當五圓ヲ二十圓ニ増加スルヲ至當ト認メマシテ、第十九條第三項ヲ改正致サントスルモノデアリマス、以上ハ本改正法律案ヲ提出スル所以ノ大體ノ趣意ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、諸君ハ時勢ノ要求ヲ御察シ下サツテ、慎重審議何卒本案ニ御賛成アラシコトヲ御願致シマス

貴族院

次テ本案ハ小川平吉君外二十六名提出議院法中改正法律案ト一括シテ十八名ノ委員ニ付託スルニ決ス

(委員氏名ハ小川平吉君外二十六名提出案委員參看) 附テ議會ノ議案ニ關スル事項ハ貴族院ノ議案ニ關スルモノトシテ、議院法第二十五條ノ委員ノ手當五圓ヲ二十圓ニ増加スルヲ至當ト認メマシテ、第十九條第三項ヲ改正致サントスルモノデアリマス、以上ハ本改正法律案ヲ提出スル所以ノ大體ノ趣意ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、諸君ハ時勢ノ要求ヲ御察シ下サツテ、慎重審議何卒本案ニ御賛成アラシコトヲ御願致シマス

衆議院

委員會ニ於ケル經過

(小川平吉君外二十六名提出議院法中改正法律案委員會ニ於ケル經過參看) 附テ議會ノ議案ニ關スル事項ハ貴族院ノ議案ニ關スルモノトシテ、議院法第二十五條ノ委員ノ手當五圓ヲ二十圓ニ増加スルヲ至當ト認メマシテ、第十九條第三項ヲ改正致サントスルモノデアリマス、以上ハ本改正法律案ヲ提出スル所以ノ大體ノ趣意ヲ申上ゲタノデゴザイマス

本案ハ委員會ノ報告ヲ總ルニ至ラス

第五十六回議會

(小川議院法中改正法律案(高橋光成君外五名提出)議事經過)

衆議院

昭和四年三月十九日 提出

同年同月二十二日 第一讀會ヲ開キ議會ノ順序ヲ省略シテ原案可決即日貴族院ニ提出

貴族院

昭和四年三月二十二日 衆議院ヨリ提出

同日 院議ニ上テ通過案ヲ對出スル議院大體ノ趨勢ヲ察シテ議院ニ對シテ

議院法中改正法律案(名川侃市君外三名提出)議事經過

衆議院

昭和四年三月二十三日 提出

同年同月二十五日 第一讀會ヲ開キ委員ニ付託シタルモ審査ニ着手スルニ至ラス

議院法中改正法律案(高橋光成君外五名提出)

議院法中左ノ通改正スルヲ以テ其理由ハ左ノ如キニシテ提出スルニ至ラス

第二章 議長書記官及經費」ヲ第二章 議長書記官圖書館及經費」ニ改メ

第十七條ノ二項 兩議院ニ共用ノ帝國議會圖書館ヲ置ク

第十八條中「兩議院」ノ下ニ「並帝國議會圖書館」ヲ加フ

兩院議員ノ各般國務研究ニ資スル爲兩議院共用ノ帝國議會圖書館ヲ設置スルハ立憲政治ヲ向上スルニ於テ

最必要トスル所ニシテ且出版法及新聞紙法ノ一部改正ニ伴ヒ一般圖書及新聞紙ノ納本アルヲ以テ之ヲ整備

保管スルニ付テモ圖書館ヲ設置スルノ要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

右議案ハ昭和四年三月十九日提出同月二十二日第一讀會ヲ開キ星島二郎君ハ左ノ趣旨辯明ヲ爲

簡單ニ其趣旨ヲ説明シタイト思フノデアリマス、殆ド全員一致ノ贊成ヲ得マシテ、之ガ提案ノ理由ヲ御説

明致シヤコトハ本員ノ最モ光榮トシ、且ツ前日本ノ議會ノ空氣ノ後ニ於キマシテ最モ愉快トスル次第
 スデアリマス、吾々ノ多年希望シテ居リマシタル帝國議會ノ議事堂ハ、今ヤ霞ケ關ニ實ニ堂々ト建築サレツ
 ヲツアルノデアリマシテ、東京驛ヨリモ長ク掛ナ、建築カラ申シマシテモ、實ニ東洋一ノ美觀ヲ呈セントシテ
 居ルノデアリマス、一刻モ早く此完成ヲ期シテ、此「バラック」建ノ議會カラ、之ニ移轉シタイト思フノハ
 吾々ノ熱望デアリマスルガ、併シ如何ニ外觀ガ立派ニナリマシテモ、其内容ノ充實ヲ圖ラナケレバイカヌ
 ト思フデアリマス、私共ハ其設計ヲ見マス下云フト、成程外觀ハ實ニ立派ニナルデアリマスルガ、其
 内容ニ於キマシテモ、廣クニ於キマシテモ、現在ノ議會ト餘リ變リハナイ、其他ノ點ニ付キマシテモ、マダ
 中々吾々ノ希望スル點ガ多イノデアリマス、例ヘバ換氣設備ヲ完全ニシマシテ、此議會ハ温度ガ高クシテ、
 下カラ冷マタイ空氣ガ入ツテ、來ルカラ臭氣狀態ヲ益々増サセルヤウニナツテ居ルガ、今度ノ議會デハ、是
 等ハ全ク洗淨シタル空氣ヲ注入シマシテ、議院ノ空氣ヲ清新ニシテ、議員ノ昂奮狀態ヲ靜メルト云フヤウ
 ナ設備ニスル、或ハ議會ノ近所ニ吾々ノ宿泊スベキ「アパートメント」ヲ設ケテ貰イタイトカ、其他附屬設
 備トシテ、色々ノ事ヲ考ヘ得ルト思フデアリマス、少々費用ガ掛リマシテモ、立憲政治ヲ圓滿ニ遂行スル
 爲ニ、爲スベキモノデアルト思フデアリマス、私共ハ歳費ノ値上ゲモ、或ル點ニ於キマシテハ必要デア
 リマスケレドモ、此議會ノ設備ヲ完全ニシ、モット住ミ好クシテ、愉快ニ此三箇月間ヲヤツテ行クコトハ
 最モ必要ト思ヒマスガ、其中デ一番必要ト思ヒマスノハ、吾々ノ研究者料トスベキ圖書ノ充實デアリマ

ス、今ノ設計ヲ見マスルト云フト、米ダ本設計ハ無イヤウデアリマスガ、議會圖書館ト云フモノハ未ダ
 設計サレテ居リマセヌ、此儘掘ツテ置キマスレバ、矢張現在ノト餘リ大シク差異ノナイ程度ノ圖書館ノ設
 備シカ出來ナイラシイノデアリマシテ、ソコデ是ハ貴衆兩院共用ノ圖書館ヲ設ケマシテ、之ニ相當ノ費用
 ヲ國庫カラ仰ギマシテ、平素ニ於キマシテ、政府ノ圖書ヲ成ベタ統一シテソレニ集メル、政府ニ於テ色々調
 査シタル所ノ資料ヲ能ク整理シテ置イテ置クトカ、尙ホ現在出版法、或ハ新聞紙法ニ依リマシテ、御互ハ
 二部宛ハ必ズ新シク出版シマシタ場合ニハ、之ヲ内務省ニ届出ヅルノデアリマスルガ、茲ニ私共ノ望ムノ
 田六、議院圖書館ト云フモノヲ新シク作りマシテ、二部ノ納付ヲスル外ニ、今一部ヲ加ヘマシテ、所謂議會圖
 書館ニ一部ヲ必ズ納付セシメルト云フノガ本案ノ骨子デアリマス、亞米利加ノ所謂「コングレスライブ
 エリ」レノ如クニハ、俄ニ經費ノ關係上望ムコトハムツカシイト思ヒマスケレドモ、セメテ今少シク之ニ
 費用ヲ加ヘマシテ、折角新シク議院ガ建築サレルノデアリマスカラ、出來上ラヌ前ニ此議院法ヲ改正シマ
 シテ、ツレガ出來ルヤウニシタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、丁度議院法ト、出版法ト、新聞紙法
 ト、此三案ガ出テ居リマスルガ、是ハ要スルニ新シク帝國議會圖書館ヲ設ケ、ソレニ新刊ノ圖書ヲ今内務
 省ニ二部納メテ居ルノヲ、今一部ヲ増シテ議會ノ圖書館ニ納メヤウト云フノガ本案ノ骨子デアリマス、尙
 ホ勿々ノ際ニ提出致シマシタノデ、議院法中改正法律案ノ中、一點字句ヲ訂正シタイト思フデアリマ
 スソレハ現行議院法第二章ニ「議長書記官長及經費」トアリマシテ、圖書館ト云フ文字ガアリマセヌカ

ラ、改正案ニ於テ之ヲ加ヘタイト云フノデアリマス、現在大體一萬三千部カラ二萬部ノ間ヲ上下シテ新刊ノ圖書ガ發行セラレツ、アリマスガ、ソレハ「パンフレット」其他色々ナモノヲ混ゼテ、サウナツテ居ルノデアリマシテ、實際三四千部ト云フノガ平均ニナツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ整理シ、其他色々ナ政府所有ノ圖書ヲ整理シテ置キマスコトハ、御互ノ便宜ト思ヒマスルシ、殊ニ御互ガ議會ノ開會中ダナク、平素ニ於キマシテ、其圖書館ニ出入ラシマシテ調査スルコトハ、最モ議會トノ親シモヲ付ケ、吾々ノ研究ニ最モ便宜ト思ヒマスノデ、願タハ公會一致御賛成アラシコトヲ御願スル次第デアリマス(本案ハ出版法中開法修正法律ト併セテ閣議ヲ編セリ)

田淵豊吉君ノ質疑ヲ爲シ星島君及山口大藏參事官之ニ應答ス

田淵豊吉君ノ質疑

私ハ此間中能ク聽イテ居ツタノデスケレドモ、直ニ今出ルト云フコトヲ知ラナカツタノデスガ、私先年亞米利加ノ議院ノ圖書館ヲ見マシテ、非常ニ色々ナ雜誌ダトカ本ナンカガアルノニ感心シマシタ、サウシテ、是ハ公開ニナツテ居ルヤウデアリマス、故ニ提案者ニ聞キタイノハ、之ヲ公開ニナサル御積リデアアルカドウカ、或ハ半分公開ニシテ、議員ノ紹介トカ、其他ノ特殊ノ人々ニ見セル積リデアアルカ、之ヲ聞キタイ、ソ

レカラ其金額ハドノ位ニスル積リデアアルカ、ソレモ重大ナル問題デアリマスカラ聞イテ置キタイ、今ノ御説明ヲ十分ニ聽キマセヌダシタガ、ドノ位ノ圖書ヲ寄セルノデアアルカ、是モ大體聞イテ見タイト思フ、第三カ第四ニナリマスノハ、一體議員デ英語トカ、露西亞語トカ、獨逸語トカ、伊太利語トカ、佛蘭西語トカヲ讀メル人ハ殆ド少イ、故ニ斯ウ云フヤウナ特殊ナ問題ヲ研究スル時ニ、之ニ通譯スベキ者ヲ附ケテ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲヤラセル必要ガアル、殊ニ議員ハ忙ガシイ、又常々十分研究スルト云フコトモ出來難イ、一方ニ於テハ偉イ人モアルカラ、サウ云フ人ヲシテ此本ヲ翻譯セシメテ、英吉利ノ議會ハドウナツテ居ル、亞米利加ノ議會ハ斯ウナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ問題ニ付テ、ドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトヲ調ベテ貰ヒタイト云フ時ニ、ソレニ應ズル翻譯官ガ居ツテ、之ヲ十分ニ整理スルト云フコトニスルノナラバ、五十萬ヤ百萬ノ豫算ヲ使ツテモ、吾々ノ利益ニナルト云フコトヲ常々思ツテ居ル、然ルニ今日政友會ノ調査部デモ、民政黨ノ調査部デモ、サウ云フヤウナ調査ハシテ居ラナイ、其調査ノ材料ハ非常ニ貧弱ナモノデアアル、此間ノ議院法ノ制定ニ當ツテモ、各國ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ十分ニ知ラナイデ、此壇上デ議論シテ居ルヤウナ状態デハ、如何ニモ日本ノ「パトリアメント」ノ活動ガ鈍クナルノハ當然デアラウト思フ、斯ウ云フヤウニ、圖書館ノ整備ノ一ツノ機關トシテ、人員ヲ増シテヤルトカ云フコトガ、非常ニ必要デヤナイカト常々考ヘテ居ル所デアリマス、サウシテ出版物ヲ一部宛此圖書館ヘ寄越セセル、或ハ秘密ニ互ルヤウナモノデモ、議院ニ備付ケ得ルト云フヤウナ權利ヲ議院ガ持ツテ行クト

云フコトモ、必要アルナカラウカト思フアリマス、此中ニ含ンデ居ルコトカ知レナイガ、ソレ等ノ點ニ於テ、私ハドウモ委員會ニ出席シマシテモ、經濟上、科學上、二十世紀ニ適當ナル所ノ設備機關ガナイ、故ニ非常ニ保守的ナ、古イ間違ツタ思想ヲ持ツテ居ル、此日進月歩ノ科學的ノ社會ヲ導カウトスル原動力ニテ、政治ノ中心トナラントスル所ノ此議會ガ、時代遅レデアルト云フコトヲ私ハ悲ムノデアアル、非常ニイケンナイ、委員會ガ成ツテ居ナイヤウナ状態ト吾々ハ失禮ナガラ考ヘテ居ル、故ニ斯ウ云フヤウナ所ニ科學的ノ知識ヲ吹込ミ、各國ノ議會ノ状態等ノ知識ヲ吹込ム所ガ即チ圖書館デアアル、其圖書館ニ於テ出版物ニ依リ、或ハ特別ニ各國ノ政府及議院カラ貰ツテ來タモノヲ翻譯セシメテ、必要ナル時ニソレヲ調べサシテ、吾等ニ自由ニ聞カセ、見サスト云フ機關ヲ造ツタナラバ、日本ノ議會モ非常ニ進歩スルモノデアナイカト思フデアアル、ソレデ吾々ハ一々外國語ヲ研究スルコトガ出來ナイカラ、斯ウ云フヤウチ知識ノ寶庫ガアツテ、自由自在ニソレ等ヲ取ウテ來ルヤウナコトヲシナケレバ、努力ヲ費ス所ガ多クテ、何等得ルコトガ少イノデアナイカト思フ、日本デモ、或ハ二委員ノ調查部トカ、三井ノ調查部ナドデハ、十萬圓モ二十萬圓モ出シテ、其日々々々新聞ノ切貼リマデチヤント出來テ居ルノニ、帝國ヲ最モ中心デアリ、一國ノ産業及生活、思想ノ全體ヨリ、最モ根本的ノ研究ヲスベキ所ノ議會ニ、何等此設備ガナイト云フコトハ、如何ニ帝國議會ガ遅レテ居ルカ、却テ資本家ガ十分ニソレヲ利用シテ居ルヤウナ状態デアナカラウカト私ハ思フ、故ニ議員ガ世界的知識ヲ應用スルト云フヤウナ點ニ於テモ、非常ニ缺クル所ガナイカ知ラント思フノデアアリ

マス、ソレデ此小サイ試ミガ、懸テハ大キナ計畫ニナルト云フコトヲ私ハ非常ニ望ンデ居ル、私ハ小サイ時カラ村ニ圖書館ヲ造ルト言フヤウナコトニ、小サイ盡力ヲシタ男デ、日本ニモ巡回圖書館ヲ置イテ、サウシテ教育機關ト相俟ツテ、勞働者モ働キツ、段々其知識ヲ得テ、サウシテ職務上ノ重要ナル知識、重要ナ才能ヲ發揮スルヤウニ、日本帝國ニ大ナル圖書館ノ整備ガ必要デアルト思ツテ居ル一人デアリマス、故ニ此立憲政治ノ今日ニ於テ、殆ド根幹ヲ成サントシツ、アル所ノ今日ニ於テ、此議會ニ科學的知識、道徳的知識、是等ノ重要ナル根幹トナル所ノ圖書館ヲ整備スルト云フヤウナ案ニハ、私ハ雙手ヲ擧ゲテ賛成シタイト思フ、故ニ是等ノ諸點ニ付キマシテ、政府ガ如何ナル覺悟ヲ持ツテ居ルカ、議員ガ如何ナル覺悟ヲ以テ之ニ當ラントスルカト云フコトヲ、國民ト共ニ之ヲ聽キタイ、又賛成シタイト思フノデゴザイマス、故ニ提案者竝ニ政府ガ斯ウ云フヤウナ點ニ付テ、私ノ質問ニ答ヘテ下サレルコトガ出來マシタナラバ、私ハ非常ニ喜ブ者デゴザイマス、サウシテ此圖書館ガ十分ニ發展シ、サウシテ吾々ニ實用的知識ト道徳トヲ與ヘルヤウナコトニシテ戴ケレバ、非常ニ結構デアルト私ハ思フヤウナ次第デアリマシテ、一寸御忙シイ折柄デアリマスガ、私ノ意見ヲ述ベマシテ御尋シ、サウシテ此壇ヲ降ル次第デアリマス

星島二郎君ノ應答

田淵君ノ御質問竝御希望ノ要旨ハ、洵ニ私モ同感デアリマス、唯帝國議會圖書館ヲ公開スベシト云フコト

田村キヤンシテハ、何レ色々研究シテ、最モ宜シキニ從フノハ當然デアリマス、成ベク公開ヲシタガ方宜カ
 星タト思フ、唯内務省ニ納付サルベキ圖書ハ、未ダ檢閲以前ノモノモアリマス、例ヘバ發賣禁止ニナルヤ
 ウナモノヲ含ンデ居ルノデアリマス、吾々ハ其圖書ヲモ納付ヲ受ケマシテ、サウシテ如何ナルモノガ發賣
 禁止ニナルカト云フコトヲ調査シ、研究スルト云フコトガ、議員トシテ最モ必要ト思ヒマスカラ、サウ云
 フ所カラ或ハ之ヲ紹介ヲ以テ特ニ見セルト云フ程度ガ宜シイカ知レナイガ、成ベク多クノ人ニ利用サレ
 ルノガ最モ結構デアリマスカラ、發賣禁止ニナル書物ハ別ニ人ヲ置イテ、其他ノモノハ公開シテモ宜イ
 思フノデアリマス、尙ホ圖書館ニ多クノ書記官ヲ置イテ、サウシテ是モ調査ヲシロト云フコトデ五六人ノ
 人ガ色々翻譯ヲスルノハ、洵ニ結構ナコト、思フ、私共ハ勿論跨リトスベキ外觀ノ美モ希望シマスガ、併チ
 ガラ石ガ「コンクリート」ニ變リマシテモ、專口其内容ノ充實ヲ圖リタイト思フ、米國ノ議會ノ如キ、實ニ
 一箇年八十萬弗ノ圖書購入費ト經費ヲ以テ、之ヲ經營致シテ居リマス、吾々ハ其處迄行カヌモシテモ、相
 當ノ金額ヲ以テ之ヲヤルト云フコトハ、最モ結構ナコト、思ヒマス、其他ノ點ニ付キマシテ、田淵君ノ御
 質問、御希望ハ、洵ニ當然ト思ヒマス、丁度此機會ニ山口參與官モ見エテ居リマスカラ、現在ノ議會ノ建
 築ノ經過、或ハ只今ノ御質問ニ對スル答辯ヲ得マスレバ、大體提案者トシテモ便宜トスル所デアリマス
 山口大藏參與官ノ應答

只今田淵君ヨリ議院ノ圖書館ヲ公開スルカドウカト云フ御尋デアリマシタガ、只今建築致シテ居リマス
 ル此議院ノ二千八百萬圓ノ豫算ノ中ニハ、圖書館ノ建築費ハ這入ツテ居ラスノデアリマス、是ハ第二計畫
 ノ中ニ這入ツテ居ルノデゴザイマシテ、只今ノ建築ノ中ニハ這入ツテ居ラスノデゴザイマス、又此圖書館
 ヲ公開スルカドウカト云フコトモ、只今ハ決メテ居リマセヌ、併ナガラ外國ニ於キマシテハ、圖書館ヲ公
 開シテ居リマスル所モアルヤウデアリマス、議員ノ御希望モ尊重致シマシテ、將來公開致スカドウカト云
 フコトヲ決定致シタイト考ヘテ居リマス

次テ本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ原案ヲ可決シ即日貴族院ニ提出ス

貴族院ニ於ケル議事ノ經過

昭和四年二月二十三日乃至二十五日ノ議事日程ニ掲載セラレタルモ議題トナルニ至ラス

臨時中議院法中改正法律案(名川侃市君外三名提出)

議院法中左ノ通改正ス

第七十七條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ當選後破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ此限ニ在ラス

理由

舊ニ破産法改正ノ結果トシテ舊法ニ依リ破産ノ宣告ヲ受ケタル者モ當然其ノ身上ノ效果ヲ排除セラレタルニ拘ラス特別法中今猶破産者ニ對シテ公ノ資格ヲ剝奪シ居ルハ全ク破産ヲ懲戒主義ニ取レル舊思想ノ遺物ニシテ斷シテ普通選舉ノ主義ト相容レズ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

右議案ハ昭和四年三月二十三日提出同月二十五日第一議會ヲ開キ名川侃市君ハ左ノ總旨辨明ヲ爲ス
破産者ガ被選舉權ヲ有シマセヌコトハ、衆議院議員選舉法第六條ニ規定シテアル通りデアリマス、又當

選致シマシタ後ニ破産ノ宣告ヲ受マシタナラバ、其資格ヲ失フコトハ議院法第七十七條ニ規定シテアルコトハ皆様ノ御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ破産ノ宣告ヲ受ケタル者、必シモ排斥スベキモノデハナイノデアアル、人格極メテ高クシテ、清貧ニ甘ンジテ居ルト云フ人ハ、世間ニ於テ澤山アル、殊ニ政治家ニ於テ其數ガ多イト私ハ思フノデアリマス、最近ノ學說ニ於キマシテモ、破産ノ宣告ガ人ノ身分上ニ效力ヲ及ボスト云フコトガ宜シクナイト云フコトハ、殆ド學說ノ一致シテ居ル所デアリマス、前ニ兒玉右二君其外數名、又土屋清二郎君其外數名ノ方々ヨリ衆議院議員選舉法改正案ヲ提出セラレマシテ、ソレガ委員會ニ於テ目下審議中ニ屬スルノデアリマス、而シテ委員會ニ於キマシテハ、破産者ニ被選舉權ヲ與ヘルノハ相當デアルト云フ所ノ意見ハ極メテ多イノデアリマスケレドモ、他ノ法律トノ比較上、色々ト攻究スベキモノガゴザリマスルカラ、會期切迫シテ居ル今日、之ヲ全部議了スルコトガ出来ズニ居ル次第デアリマス、併ナガラ一旦國民ノ輿望ヲ抱イテ當選致シマシタル衆議院議員ガ、破産ノ宣告ヲ受ケタルガ爲ニ、其資格ヲ失フト云フコトハ、是ハ國民ノ期待ニ背クノミナラズ、洵ニ氣ノ毒ナル事情ニ於テ此宣告ヲ受ケテ其資格ヲ失フト云フコトハ、實ニ堪ヘ忍ビヌ所デアリマス、又此被選資格ヲ失ヒ、隨テ衆議院議員ノ資格ヲ失フ所ノ法律ヲ極メテ執ツテ、貪慾飽クナキ高利貸ナドガ此規定ヲ惡用致シマシテ、不當ナル要求ヲスルト云フコトハ、世間ニ於テ其被害ガ決シテ少クナイノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、此衆議院議員選舉法改正ノ委員會ニ於キマシテ修正案ヲ出シテ、兎ニ角被選資格ヲ與ヘルカ與ヘヌカト云フコト

議院法中改正法律案(松本忠雄君外十二名提出)

議院法中左ノ通改正ス

第十九條第一項中「七千五百圓」ヲ「六千圓」ニ、「四千五百圓」ヲ「三千六百圓」ニ、「三千圓」ヲ「二千四百圓」ニ改ム

附則

本法ハ昭和六年七月分ヨリ之ヲ適用ス

理由

經濟界ノ實狀ト物價ノ低落セル事實ニ順ミ高級官吏ノ俸給引下ト共ニ帝國議會兩院ノ議長副議長及議員ノ歳費ヲモ減額スルノ必要アリト認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

案文

右議案ハ昭和六年三月十八日提出同月二十四日第一讀會ヲ開キ趣旨辯明ヲ省略シテ川島正次郎君外九名提出關稅定率法中改正法律案外十七件委員ニ併セ付託スルニ決シタルモ委員會ハ審査ニ著手スルニ至ラス

第五十(委員長)永田善三郎君

西脇

晉君

(理事)手代木隆吉君

(理事)多田滿長君

前田房之助君

高瀬梅吉君

土倉宗明君

木暮武太夫君

飯塚春太郎君

末松備一郎君

板谷順助君

岡田忠彦君

津崎尙武君

松井文太郎君

小野耕一郎君

今井健彦君

(理事)岩本武助君

村田不二三君

案文

同 第四十八日 第一讀會ヲ開キ趣旨辯明ヲ省略シテ川島正次郎君外九名提出關稅定率法中改正法律案外十七件委員ニ併セ付託スルニ決シタルモ委員會ハ審査ニ著手スルニ至ラス

案文

議院法中改正法律案(松本忠雄君外十二名提出)案文

第六十四回議會

第六十四回議會

議院法中改正法律案(久原房之助君外五十五名提出)議事經過

衆議院

昭和八年二月十七日 提出

同年同月十八日 第一讀會ヲ開キ讀會ノ順序ヲ省略シテ原案可決即日貴族院ニ提出

貴族院

昭和八年二月十八日 衆議院ヨリ提出

同年同月二十一日 第一讀會ヲ開キ委員付託

委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス

土倉 宗 四三

岡田 忠 三三

(西井)保 本 友 四三

林田 不二三 三三

議院法中改正法律案(久原房之助君外五十五名提出)議事經過

議院法中改正法律案(久原房之助君外五十五名提出)議事經過

議院法中左ノ通改正ス

第一條中「四十日」ヲ「二十日」ニ改メ

第二條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各候補者ヲ選舉シ上奏勅裁ヲ請フヘシ

議長副議長ノ任命ハ親任式ヲ以テ之ヲ行フ

議長副議長ノ親任セラルルハマテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フヘシ

第四條 衆議院ノ議長ハ其ノ院ニ於テ各候補者ヲ選舉シ上奏勅裁ヲ請フヘシ

第七條 各議院ノ議長ハ一員副議長ハ二員トス

第十二條中「常任委員會」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「及常設委員會」ヲ加フ

第十五條 衆議院ノ議長ハ其ノ院ニ於テ各候補者ヲ選舉シ上奏勅裁ヲ請フヘシ

第十九條第一項但書ヲ削リ第一項ノ末ニ左ノ一項ヲ加フ

議長副議長及議員ニシテ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス但シ死亡シタル者ハ當月マテノ歳費ヲ受ク

同條第三項中「官吏」ヲ「有給官吏」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム

常置委員ハ第一項歳費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ閉會中一日五圓ヨリ多カラサル手當ヲ受クハマシム

第二十條 各議院ノ委員ハ本院委員常任委員特別委員及常置委員ノ四類トス

第二十條ノ二 全院委員ハ議院ノ全員ヲ以テ委員ト爲スモノトス

常任委員ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ數科ニ分割シ負擔ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ一會期中其

任ニ在ルモノトス

特別委員ハ一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選舉ヲ以テ特ニ付託ヲ受クルモノトス

第二十條ノ三 常置委員ハ左ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ次ノ常會ニ於テ改選セラル、マテ其

任ニ在ルモノトス

第一 政府ヨリ閉會後引續キ審査ヲ要求シタル議案

第二 議院ニ於テ閉會後引續キ審査ヲ要スト議決シタル議案

第三 閉會中政府ヨリ審査ヲ要求シタル事項

常置委員會ハ審査スヘキ事件ノ有無ニ拘ラス政府ニ出席説明ヲ求ムルコトヲ得

第二十條ノ四 政府ハ前條第一項第三號ノ事項ニ付兩院各別ニ其ノ審査ヲ要求スルコトヲ得

第二十一條第二項中「常任委員長」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員長」ノ下ニ「及常置委員長」ヲ加フ

第二十二條中「常任委員會」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「及常置委員會」ヲ加フ

第二十三條中「全院委員會」ハ傍聽ヲ禁ス

常任委員會特別委員會及常置委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スル

コトヲ得

第二十五條 削除

第二十六條第二項中「政府ノ同意ヲ得タルトキ」ノ下ニ「又ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタ

ルトキ」ヲ加フ

第二十八條中「政府ノ要求ニ由ルモノ」ノ下ニ「又ハ常置委員ノ審査ヲ經タルモノ」ヲ加フ

第三十條中「何時タリトモ」ヲ削リ左ノ但書ヲ加フ

但シ兩議院ノ一ニ於テ議決ヲ經タルトキハ其ノ院ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第三十五條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ常置委員ニ付託シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 閉會ノ日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ兩議院合會ニ於テ閉院式ヲ行フヘシ

第三十八條中「議長ハ直ニ傍聽人ヲ退去セシメ」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ發議アリタル場合ニ於テ議長必要ト認ムルトキハ直ニ傍聽人ヲ退去セシムルコトヲ得

ヲ爲スハ、議院各派ノ協同提案ニ係リマスル議院法中改正法律案ニ關シマシテ、聊カ提案ノ趣旨ヲ辨明致シマス、現行議院法ハ帝國憲法ト同時ニ發布セラレマシテ、憲政運用ノ上ニ於テ多大ノ貢獻ヲ致シマシタガ、何分ニモ、實施以來既に四十有餘年ノ歲月ヲ重ネマシテ、其規定ノ中ニハ往々ニシテ時代ノ趨勢ト相副ハヌモノガアリマスル、是ハ洵ニ遺憾ノ點ガ尠ナカラヌノデアリマス、仍テ昨年ノ六月以來衆議院各派ニ於テ、議長ノ發議ニ依リマシテ、議院振興委員會ヲ設ケマシタ、各派ヨリ委員ヲ舉ゲ、相集リマシテ議院法ノ改正其他之ニ關聯スル所ノ諸種ノ問題ヲ調査研究致シタノデアリマス、是ハ皆サン既ニ御承知ノ通りデアリマス、而シテ委員會ハ懇談熟議ノ結果、議院振興ヲ基調ト致シマシテ、議院法ニ改正ヲ加フルコトニ意見ガ全然一致致シタノデアリマス、其結果一ツノ成案ヲ得タ次第デアリマスルガ、只今議題ニ上ツテ居リマスル所ノ議院法中改正法律案ハ、即チ之ヲ具體化シタモノデアリマス、其内容ハ相當多岐ニ五ツテ居リマスルガ、其中ノ重要ナル點ニ付テ、其大綱ヲ說明致シタイト思ヒマス、第一ハ召集詔書公布ノ日ヨリ召集日迄ノ期間ヲ短縮致シマシテ二十日ト致シマスルコトハ、議會政治ノ發達ニ伴ヒ、四十日ヲ經ナケレバ議會ヲ召集スルコトガ出來ナイト云フ如キハ、時代ノ進展ニ伴ハヌ所ノモノデアルト云フ考カラザアリマス、第二ハ副議長ノ増員、此事ニ付キマシテハ、議院ノ事務ガ年ヲ逐ウテ繁劇ヲ加ヘテ來ルノミナラズ、常置委員ヲ設ケマシテ、閉會中ト雖モ委員會ヲ開會スルヤウニナリマスレバ議長、副議長ノ職務ハ更

ニ繁劇ヲ加ヘマスルカラ、副議長一名ヲ以テシテハ不便ガ洵ニ尠ナカラヌモノガアリマス、故ニ副議長ヲ増員致シマシテ、議事ノ圓滿ヲ圖ラントスルノデアリマス、第三ハ部屬ノ廢止デアリマス、是ハ今日ノ實際カラ見マスルト云フト、事實部制ハ存在ノ價值ナイモノデアリマスルカラ、之ヲ削除セントスルモノデアリマス、第四是ハ本改正案中ノ最モ重要ナルモノデアリマシテ、即チ常置委員設置ニ關スル件デアリマス、此事項ハ實ニ議會振興ノ大眼目トモ稱スベキモノデアリマシテ、現行制度ニ於キマシテハ、御承知ノ通り議會ノ會期ハ二箇月ニ過ギヌノデアリマス、憲政創始以來四十有餘年間、人口ハ増加シテ、領土ハ擴張セラレ、且ツ政治上、經濟上、社會上、各般ノ關係ハ益々複雑多岐ヲ加ヘテ來テ居リマス、現ニ豫算案ノ如キモ、最近非常ニ膨脹ヲ來シマシテ、昭和八年度ニ於キマシテハ、實ニ二十幾億ト云フ未曾有ノ巨額ニ達シテ居リマス、從來政府提出ノ議案ノミデモ、其數百件ニ垂々トスル状態デアリマシテ、到底此短キ會期ヲ以テシテハ、十分ナル所ノ審議ヲ盡スコト困難ナルハ一般ノ認ムル所デアリマス、併チカラ議會ノ會期ハ憲法ノ規定デアリマスルガ故ニ、是ガ改正ヲ爲スハ容易ナラザルコトハ申ス迄モアリマセヌ、而シテ會期延長、茲ニ之ニ代ルベキ所ノ方法ニ付テ考慮ヲ重ネマシタガ、從來會期終ノ間際ニ於ケル會期延長ハ、審査中ノ一ツカニツノ議案ヲ通過ヲ圖ル爲ニ過ギナイノデアリマス、故ニ前ニ申述ベマシタ通りニ、根本的ノ趣旨目的ニハ副ウテ居ラヌノデアリマス、或ハ會期ヲ一箇月、若クハ二箇月延長スベシト云フ所ノ議論ヲ爲サル方モアリマスルガ、審査中ノ議案ナキニ拘ラズ、會期ノ終了セントスル時ニ當リ、將來

政府並ニ議員ガ提出スルコトアルベシト豫想致シマシテ、會期ノ延長ヲスル如キコトハ、如何ナモノデア
 リマセウカ、結局是ハ意味ヲ爲サヌコトニナルデアリマス、故ニ常置委員ノ制度ヲ設ケ、議會中審査未
 了ニ終リシ所ノ議案ハ勿論ノコト、政府ニ於テ閉會中調査完了ノ上ニ、次期議會ニ提案セントスル所ノ議
 案ヲ、豫メ審査ニ付スルト云フコトガ、會期ノ短キヲ償フ所ノ唯一ノ良法デアリカト信ズルデアリマ
 ス、外國ノ立法例ヨリ見マシテモ、獨逸ニアリマシテハ、外交並ニ國民ノ權利保護及其他ニ關スル件ニ付
 キマシテハ、閉會中活動スル委員ヲ設ケ、甚シキハ議會ノ解散セラレタル後ト雖モ、其活動ヲ爲スコトガ
 出來ルヤウニナツテ居リマス、「チニツコスロバキヤ」、「メキシコ」、「プロイセン」等ハ、閉會中委員會ガ存
 シマシテ、ソレトテ活動ヲ致シテ居ルデアリマス、斯様子例ヲ參酌致シマシテ、我國ニ於テハ閉會中委員
 會ヲ開催シ得ルコトハ、スルノガ、其趣旨ニナツテ居ルデアリマス、固ヨリ委員會デアリマスカラ、議案
 ノ審査ニ當ルヲ目的トスルデアリマシテ、何等外部ニ對シマシテハ拘束力ヲ有クシテモウト致スモノ
 デハアリマセヌ、憲政ノ圓滿ナル運用ヲ期シ、議會振肅ノ實ヲ舉グルニ最モ適切ナル所ノ制度トシマシ
 テ、切ニ其實施ヲ希望致ス次第デアリマス、第五ハ、繼續委員ハ常置委員設置ノ結果ト致シマシテ、當然之
 ヲ廢止セントスルデアリマス、第六ハ議長ノ權限擴張ノコトデアリマス、即チ議會振肅ノ實ヲ舉グルニ
 ハ、議長ヲシテ院內警察及秩序ニ關シマシテハ、ヨリ大ナル權能ヲ持タセナケレバナラヌコトヲ思ヒマ
 ス、是ガ爲ニハ改正案ニアツテハ議長ニ短期ノ登院停止權ヲ與ヘ、院內警察權行使ノ場所ヲ擴張致シマシ

テ、且ツ其期間ヲ延長セントスルデアリマス、右ノ外政府案ノ撤回ニ付テ、一院ヲ通過シタ後ハ、單ニ政
 府ノ意思ノミニ依ツテ之ヲ爲スハ、議院ヲ輕視スルノ嫌アルヲ以テマシテ、少クトモ其院ノ同意ヲ經ルヲ
 要スルコトハシマシタ、又議員提出案ニ致シマシテモ、出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決致シマ
 シタ時ハ、政府ノ同意ヲ俟タナイデ、政府案ニ先ンジテ審議スルコトヲ得ルヤウニ改ムルコトニナツテ
 居リマス、尙又議事手續ニ關スル改正及懲罰ニ關スル改正等モゴザイマスルガ、議事手續ニ關シマスル
 モノハ、議事手續ノ便宜ノ爲デアツテ、懲罰ニ關シマスルモノハ、懲罰ノ徹底ヲ期セントスルニアルノ
 デデアリマス、以上議院法中改正案ノ大體デゴザイマス、何卒滿場御一致御賛成アラシコトヲ希望致シマ
 ス

討論ニ入り富田幸次郎君、野田文一郎君及安部磯雄君ハ孰レモ賛成ノ演説ヲ爲ス者ナシ、會中發言人ハ二名ニ
 富田幸次郎君ノ賛成演説、及野田文一郎君ノ演説ニ止リ、其後發言人ハ無シ、會中發言人ハ無シ、會中發言人ハ無シ、
 只今上程中ノ議院法中改正法律案ハ、熊谷君御説明ノ通り、時代ノ進運ニ伴ヒ、議會政治ノ向上發展ヲ期
 スル上ニ於テ、妥當ニシテ適切ナル改正案ト考ヘマスカラ、吾々モ之ニ全然賛成ヲ表スル者デアリマス、
 簡單ニ一言賛成ノ意思ヲ闡明致シマス

野田文十郎君ノ贊成演說

議院ノ機能ヲ十分ニ發揮致シヤシテ、議會ノ信用ヲ高メ、議會政治ノ向上發達ヲ圖ルコトガ今日ノ急務
 デアルト云フコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、其議會政治ノ向上發達ヲ圖ルノ途ハ色々ゴザイマセウケレ
 ドモ、時代ノ進運ニ伴ヒマシテ、最モ現在ニ適切ナル議院法ノ改正ヲスルト云フコトハ、確ニ重要ナル部
 分ヲ占メテ居ルト存ジマス、此意味ニ於キマシテ、本改正案ニ付キマシテハ、各派ノ有力ナル人々ニ依ツ
 テ十分ニ振應委員會ニ於テ審議ヲ盡サレマシタ、仍テ出來タ此成案ハ、吾々モ亦妥當ナリト信ズルノデア
 リマス、本來斯ノ如キ案ヲ審議スルニ當リマシテハ、委員會ニ付託ヲ致シマシテ、十分ニ審議ヲスルト云
 フ形式ヲ取ルコトガ極メテ肝要デアルト云テ説モアリマシタ、吾々モ一應此説モ尤デアルト信ジマシタ
 ガ、併シ今申上ダレ通りニ、各派ノ有力ナル人々ニ依ツテ十分ニ審議ヲ盡サシテ、其案ハ既ニ新聞紙上ニ
 於テモ公表モセラレテ居リマスノデ、議員各位ハ勿論ノコト、天下ニ發表セラレタ案デアリマスルカラ、
 單ニ形式的ニ流レマシテ、委員付託ニスルト云フヤウナコトハ事口必要ガナイト信ジマスノデ、本會議ニ
 於テ直チニ即決可決ヲスルコトガ妥當デアルト信ズルノデアリマス、尙ホ此際一言申シテ置キマスルガ、
 改正ノ理由ハ、只今熊谷君ニ依ツテ十分説明ガゴザイマシタガ、之ニ附加ヘテ少シ補ツテ置キタイト存ジ
 マスルコトハ、會期ノ短イガ爲ニ、議會ノ審議ガ動モスレバ形式ニ流ル、ノ憾ミナシトシナイト存ジマ

ス、今日ハ國務ノ範圍モ頗ル擴大ヲサレマシテ、又案ノ内容ニ付キマシテモ、複雑困難ヲ極メルモノガ多ク
 ナツテ參ツテ居リマスルカラ、短イ期間ニ於テ總テノモノヲ議了スルト云フコトハ、到底不可能デアリマ
 スルカラ、勢ヒ形式ニ流レザルヲ得ナイノデアリマス、形式ニ流レル結果ト致シマシテハ、ドウシテモ大臣
 ニナリ、政務官ニナリ、政權ヲ取ラナケレバ、議員各自ガ色々ナ意見ヲ有ツテ居リマシテモ、之ヲ實
 現スルコトハ困難デアルト云フコトモ事實デアリマス、若シ此案ノ骨子タル所ノ常置委員ト云フヤウナモ
 ノガ設ケラレマスルナラバ、議會ノ閉會中ニ、此常置委員會ニ於テ腹藏ナク十分ニ審議ヲ盡サレテ、議員各
 自ノ有ツテ居リマスル政見ガ、此機關ヲ通ジテ實現スルコトガ容易ニナリマスルカラ、此點カラ見マスル
 干預、徒ニ政爭ノ熾烈ニナルト云フコトヲ避ケル一ツノ方法ニナルトモ考ヘマス、何レノ點カラ考ヘマシテ
 モ、本案ハ最モ今日ノ急務ニ應ズル改正案ト信ズルノデアリマスカラ、之ニ贊成ヲ致シマシテ、即決可決
 セラレンコトヲ望ム者デアリマス

安部磯雄君ノ贊成演說

此改正法律案ニ對シマシテハ、第一控室ノ議員ハ全部贊成ノ意ヲ表シマス

次テ本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ全會一致原案ヲ可決シ即日貴族院ニ提出ス

夫之本家へ歸會へ即ちマ省制ニテ全會一選風采マ百夫ノ明日貴族院ニ提出ス

貴族院ニ於ケル議事ノ經過

昭和八年二月二十一日日本案ノ第一讀會ヲ開キ大河内輝耕君ハ質疑ヲ爲シ堀切内閣書記官長之ニ應答ス

子爵大河内輝耕君ノ質疑

議ニ長クナリテ恐入りマスガ、讀メト云フコトニテマシタカク仕方ゴザイマセヌカテ讀ミマス、第一ニ政府ニ對シテ質問ヲ致シタイノハ、此度、只今議場ニ提出ナレマシタカク制度改正案ゴザイマスガ、此點ハ貴族院ノ制度調査會ノ報告ト云フモノゴザイマス、茲ニ色々書イテゴザイマスガ、是ハ勿論法制局長官ハ御承知デラウト思ヒマス、併シ之ヲ讀ミマセヌト云フト私ノ質問ガ分ラオオツテシマヒマス、今議長ニ伺フタノデスガ、速記録ニ載セテヤイケナイト云フデゴザイマスカラ、仕方ゴザイマセヌカラ之ヲ讀マナケレバナリマセヌハ、ソレデハ、制度調査會報告ト致シマシテ、(一)議長副議長ニ關スル事項、

- 一、議長ノ權限ヲ擴張スルコトハ、調査ノ結果ハ「默」トアリマス、二、議長副議長ノ地位ヲ高ムルコト「同」、
- 三、副議長ヲ二名トスルコト「賛成」、(二)立法院經費ニ關スル事項、四、立法院ノ豫算ハ之ヲ大藏省所管ヨリ獨立セシムルコト「否認」、四ノ二、議長副議長及議員歳費並有鐵道無賃乗車ニ關スルコト「默」、
- (三)議會ノ召集ニ關スル事項、五、召集證書公布ノ日ヨリ召集日迄ノ期間ヲ「短縮シ」二十日爲スコト「賛成」、(四)會期ニ關スル事項、六、會期延長及之ニ代ル方法ヲ講スルコト、其結果ハ、他ニ會期運用ノ方法ヲ講スルコトヲ可トシ、常置委員ノ新設ニ付テハ慎重考究ヲ要ス、(五)部屬及委員ニ關スル事項、七、部屬ハ之ヲ廢止スルコト、「部屬ハ存置スルヲ可トス」、八、全院委員會ノ制度ヲ改正シ其ノ活用ヲ爲サシムルコト「默」、九、常置委員ヲ設クルコト、「六ノ後段ニ同ジ」、十、繼續委員ヲ廢止スルコト、「專口繼續委員ノ利用ヲ可トス」、十一、建議案處理ノ常任委員ヲ設クルコト、「貴族院ノ現状ニ於テハ其ノ必要ヲ認メス」、(六)議案ニ關スル事項、十二、議案提出ノ賛成者其ノ他ノ員數ヲ二十名ニ改ムルコト「賛成」、十三、議員提出ノ議案及質問ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ議決シタルトキハ政府ノ同意ヲ經ス政府案ニ先テ議題トナシ得ルヤウ改ムルコト「默」、十三ノ二、政府提出案ノ修正又ハ撤回ノ場合ニ制限ヲ附スルコト「同」、十三ノ三、議案奏上ノ手續ニ關スルコト「同」、(七)議事ニ關スル事項、十四、議事進行ノ發言ニ相當制限ヲ附スルコト「同」、十五、一切ノ動議ヲ封スルノ動議ヲ禁スルコト「同」、十五ノ二、秘密會議ニ於テ傍聽人ヲ退去セシムル時機ニ關スルコト、「要綱四十二頁」トアリマス、是ハ「賛成」、十六、

豫算不可分ノ原則ヲ緩和スルコト、同、各特別會計分離ノ意味ニ於テ、(八)請願ニ關スル事項、十七、政府ヲシテ請願處理ノ經過ヲ毎年報告セシムルコト、同、(九)秩序ニ關スル事項、十八、議院内ニ酒類搬入、販賣ヲ禁止スルコト、(十)通院徽章ニ關スル事項、十九、前代議士元代議士及政黨事務員ノ通院徽章ノ數ハ相當整理スルコト、同、二十、政黨事務員ハ議事堂内ノ指定區域外ニ出入ヲ禁ズルコト、同、二十一、政府委員隨員ノ徽章ヲ相當整理スルコト、(十二)傍聽ニ關スル事項、二十二、傍聽券ニ紹介者ノ氏名ヲ印刷スルコト、(十三)臨時傍聽券ノ交付方ヲ改正スルコト、同、(十四)懲罰ニ關スル事項、二十四、懲罰委員會ノ權威ヲ發揚スルコト、同、二十五、懲罰權ヲ議院構内全部ニ及ホスコト、同、二十六、出席停止ヲ登院停止ニ改ムルコト、同、(十五)設備ニ關スル事項、二十七、議場ノ構造ヲ改メ議事ヲ懇談的ニ進行セシメ得ルヤウ爲スコト、同、二十八、委員會ノ座席ヲ改造シ出入者ニ相當制限ヲ付スルコト、同、二十九、議長席及演壇ニ擴聲機ヲ備付ク必要アル場合ニ之ヲ使用スルコト、(十六)四)議院ノ品位ニ關スル事項、三十、議院内ノ犯罪ニ依リ懲罰セラレタル者ハ議員タルト否トニ拘ラス一定ノ期間衆議院議員選舉權被選舉權ヲ停止スルコト、(十七)懲罰ニ關スル事項、三十一、議院内ニ於テ暴行ヲ爲シ騷擾ノ主因ヲ爲シタル者ハ政黨ノ役員タラシメサルコト、同、三十二、黨議拘束ノ程度ヲ緩和スルコト、同、以上、此中ニハ色々ナノゴザイマス、(十八)ト云フノ何ツテ見ルト、默殺トカ、默認トカ色々アルサウデアリマスガ、サウ云フコトハ申シマセヌ、此中ニハ政府ノ御考ヲ聞クノモ變ダト思フモノモ澤山入ツテ居リマ

ス、併シ概括イタシマシテ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス、是ガ質問ノ第二點デアリマス

堀切内閣書記官長ノ應答

只今ノ大河内子爵ノ御質疑ニ御答ヲ申上ダマス、議院法ノ改正案ニ對シマシテハ、政府ハ同意ナリヤ否ヤ大ト云フ御質疑ニ對シマシテハ、此議院法中改正法律案ハ非常ニ澤山ノ箇條ニ互ツテ居リマシテ、此箇條ノ中ニハ政府ガ賛成ヲ惜マナイ點モ相當ニアルノデゴザイマスガ、中ニハ餘程慎重ノ調査ヲ要スルト考ヘラレル點ガアリマシテ、今俄ニ賛成シ難イ點モアルノデアリマス、一概ニ申シマシテ、此改正法案全部ニ對シテ直ニ賛成スルト云フコトヲ躊躇スル次第デアリマス、ソレカラ第二ノ御質疑ノ貴族院ニ於キマスル制度調査會ノ報告ハ、私モ非公式ニ載イテ色々研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此度貴族院ニ回付ニ相成リマシタ議院法中改正法律案ハ當初ノ案ト幾分か違ツテ居ル點モアルヤウデアリマシテ、此制度調査會ノ報告ニ對シマシテ、只今直ニ意見ヲ申上ゲルコトハ少シ困難デアリマスコトヲ御了承願ヒタイト思ヒマス、大體トシテ申上ゲマスレバ、矢張り第一ニ付キマシテ申上ゲマシタ通り、之ニ政府ト致シマシテ賛成ノ點モアリマスルシ、十分慎重ノ研究ヲ要スルト考ヘテ居ル點モアルノデアリマス、本院ニ於カレマシテ大ハ此議院法中改正法律案ニ付キマシテハ、何卒慎重ニ十分ニ御審議ヲ盡サレムコトヲ希望イタシテ已マナイ次第デアリマス

二月二十四日

委員長(侯爵佐木行忠君)

開會イタシマス、議院法中改正法律案ヲ御審議ヲ願ヒマスガ、本案ハ其改正要項ガ相當多岐ニ互リ且ツ條文モ多ク改正セラルルヤウニ拜見イタシマスルカラ、審査ノ便宜上事務局ニ於テ現行ノ議院法ト對照シタル所ノモノヲ作ツテ載ルマシテ、皆様ノ御便宜ヲ圖リタイト思ヒマス

子爵前田利定君

私ハ自分一個ダケノ希望デゴザイマスガ、ソレヲ申上グタイト思ヒマス、即チ此委員會ノ議事ヲ進行上ニ付テノ希望デゴザイマス、幸ニ御多數ノ御賛成者ヲ得マスレバ仕合セデスガ、試ニ申上グテ見マスガ、甚ダ勝手ガマシイヤウナコトデゴザイマスガ、私ハ豫算分科ノ主査ヲ引受ケテ居リマス關係上、多分今日大豫算會ノ末尾ニ分科ニ豫算ヲ移サレルノデヤナカラウカト考ヘマス、サウ致シマススト云フト、明日カラ分科ノ方ノ審査ヲ進行イタサセナケレバナラヌコトニナリマス、此議院法中改正ニ關スル本委員會ノ問題ニ付キマシテハ、慎重ニ考ラナケレバナラヌ關係上、數ニハナリマセヌデモ、矢張り御審議中ニ加ハツテ居リタイト斯ウ思フテ居リマスガ、何分委員會ノ主査ヲヤツテ居リマスカラ、分科ノ豫算ノ審議終了マデハサウツト席ヲ離レ兼テ事柄モゴザイマス、大體今ハ豫算ヲ分科ニ移ストシマスレバ、大體分科ノ審査期間ハ四日間位デアラウト思ヒマス、其後ニ豫算總會ガ二日アリマシテモ、先ヅ一週間ト見レバ間

違ヒナカラウト思ヒマスルノデ、只今御話ノ通り委員長カラノ御調べ物ノ御調製ノコトモゴザイマスルシ、旁々今日カラ一週間程休會ヲ願ヒマシテ、來月ノ五六日頃カラデアリマスルカ、其頃カラデモ御進行下セルヤウニ願ヒマスレバ、大變仕合セニ存ジマス、是ハ唯自分一個ノ勝手デゴザイマスルケレドモ、

松本丞治君

私モ賛成イタシマス、私ハ豫算ニハ何等關係ゴザイマセヌガ、委員諸君ノ相當多數ノ方ガ豫算ノ方ニ御關係ガアルト思ヒマス、御事情ハ甚ダ御尤ト思フ、且ツ前田子爵ノ仰セノヤウニ、委員長ノ御話ノ印刷物ノ如キモ、サウ即日ニ出來ルモノデハナカラウト思フ、是モ相當ノ日子ヲ要スルコトト思ヒマス、尙ホ私ハ附テ願ヒタイト思ヒマスゴトハ、此議案ハ言フ迄モナク非常ニ重大ナモノト思フ、且ツ衆議院ニ於キマシテ全會一致可決セラレテ來タモノト承知シテ居リマスガ、當院ニ於キマシテ之ヲ議スルニ當リマシテハ、十分慎重ニ審議シタイト思ヒマス、從ツテ此審議ノ内容ニ入りマシタナラバ、政府ノ御意見ナドモ各條ニ付テ伺アベキコトモアラウト思ヒマス、就イテハ其便宜上政府ニ於テ何等カ議院法ニ關シ御調ベニナツタ材料ガアリマスルナラバ、必シモ此改正ノ條項ニ直接關係ナイモノデアリマシテモ、之ヲ御配付ヲ我我ニ願ヒマシテ、只今ノヤウナ愈々審議ニ入りマスル前ニ、一週間ト云フヤウナ日子ガアリマスレバ、ソレヲ利用シテ研究ヲシタイト私ハ考ヘマス、其點ナドハ研究ヲイタシマスニ付キマシテモ、其位大間ヲ置イテ

官カラ、常置委員ニ付テハ實ハ贊成ヲ表シ難イト云フコトヲ仰シヤツテイテシツタズデアリマスカラ、反對ノ理由ト申スベキ調査ハ必ズアルダラウト思ヒマス、ノミナラズ常置委員ノ制度ハ、組織形式等ハ變ツテ居ルカモ知レマセヌガ、他所ノ國ニハ澤山アルノデアリマスカラ、他所デハドウ云フヤウニ常置委員ヲ置イテ居ルカ、而シテソレガ何故日本デハ出來ナイノデアアルカ、政府ガドウシテモ常置委員ヲ許スベキモノデナイト言ハルルノハ、他所デヤ斯ウ云フモノヲ許シテ居ルガ、日本ノ議院法ニ於テハ斯ウ云フモノヲ許ス譯ニハ行カヌトカ何トカ、ソレハ理由ガアルダラウト思フノデアリマス、其理由ヲ調べタモノヲ是非御出シ願ヒタイト思ヒマス、又法律文デナクテモ、例ヘバ行政政府ニ對シテ立法府ノ壓迫ガ餘リセドクナル虞レガアルト云フヤウナコトガ若シ一ツノ理由デアルト致シマシタナラバ、此政治上ノ理由ニ付テモ、各國デドウ云フ弊害ガアツタ、此處デハ斯ウ云フコトガアツタ、日本デハ斯ウ云フ弊害ガアルダラウト云フヤウナ、政治上ノ御觀察ニ付テハ何カ御調べニナツタモノガアルダラウト思ヒマス、ソレヲ一應御出シ願ヒタイト思ヒマス、私ノ特ニ御願ヒスルノハ、常置委員ニ關スル問題ガ、衆議院トノ間ニムヅカシイ關係ヲ起スカモ知レヌト思ヒマスカラ、之ニ關係ノアル材料ハ是非澤山十分ニ御出シ願ヒタイト云フコトヲ御願ヒシタイ、ソレカラ此委員會ヲ一時休會スルニ付テハ、前田子爵ノ仰シヤル通り是非サウ御願ヒ致シタイト思ヒマス、
 政府委員(堀切善次郎君)

只今ノ御話ノ材料ハ、出來ルダケ調べマシテ御差出シ致シタイト思ヒマス、
 子爵渡邊千冬君
 前田子爵ノ御話ノコトニ皆サン御贊成デゴザイマス、事實關ケナイト思ヒマス、御尤ト思ヒマスカラ、二週間下限リマセヌデ、適當ノ時期マデ延期シテ開クコトニ致シマス、唯本日何カ政府ニ對シテデモ、事務局ニデモ御註文ガゴザイマスレバ、承ツテ置イタ方ガ便利ト思ヒマス、
 委員長(侯爵佐佐木行忠君)
 前田子爵ノ御話ノコトニ皆サン御贊成デゴザイマス、事實關ケナイト思ヒマス、御尤ト思ヒマスカラ、二週間下限リマセヌデ、適當ノ時期マデ延期シテ開クコトニ致シマス、唯本日何カ政府ニ對シテデモ、事務局ニデモ御註文ガゴザイマスレバ、承ツテ置イタ方ガ便利ト思ヒマス、
 食知鐵吉君

モウ一ツ政府ノ方ニ御願ヒ致シタイコトガアリマスガ、先達テ本會議議法制局長官ノ御話デゴザイマシタガ、此案ノ中ニハ贊成スルコトモアルガ贊成シナイコトモアルト云テ御話、詳シネコトハ後デ委員會ヲ開イタ時デ宜シイカラ、第何條ハ贊成ダトカ第何條ハ反對ダト云フヤウナコトヲ表カ何カニシテ御差出シ下サレバ大變都合好イト思ヒマス、ソレハ出來マセヌデセウカ
 政府委員(堀切善次郎君)

承知イタシマシタ、大體申上ゲマスト、今ノ常置委員ニ關スル條文ガ方々ニ互ツテ居リマスガ、其點、ソレ五ラ鵜澤サンカラ御話ノアリマシタ第二條ノ中ノ第二項ノ規定、ソレカラ後ハ細カナコトニナリマスガ、第
 第六十四回議會 衆議院 貴族院委員會
 一二四九

二十六條ノ第二項上カ、第三十條、二十六條ハ議事日程ノ順序ノ變更デゴザイマス、第三十條ハ政府ノ議案撤回ノ權限ニ關スル所デアリマス、ソレカラアトハ第八十七條ノ三、四トアリマスガ、是ハ多少ドウダラウカト云フ疑問ヲ少シ持ツテ居リマス、サウ云フヤウナ點デアリマスガ、尙ホ各條ニ付キマシテ書イテ差上ゲルコトニ致シマス

松本蒸治君

只今ノ御話デ極メテ大體ノコトデアリマスガ、政府ノ御考モ伺ヘテ結構デアリマス、只今ノ最後ニ多少ノ疑ヲ持ツテ居ルト仰セテシテ登院停止ノ關係デゴザイマス、是ハ私ハ相當疑ヲ強ク持ツテ居リマス、此議長ノ命令ノ登院停止ト登院ノ登院停止トノ間ノ關係差異ト云フヤウナコトハ、甚ダ分リ愛ネル點ト、ソレカラ八十七條ノ三ノ登院停止ヲ命ゼラレタ者ガ又ヤツテ來タヤウナ時ニ登院ヲ停止スル、此停止スルト云フヤウナコトハ是バドウ云フ手續デヤルノカ、登院デヤルノカドウカ、サウ云フヤウナコトハ甚ダ分リ愛ネルヤウニ實ハ考ヘル、斯ウ云フ事實ヲ判斷スルト云フコトハ相當調査ヲ要スルコトデアルノデ、如何ニシテ之ヲ判斷シテ、如何ニシテ斯ウ云フ決定ヲスルカト云フヤウナコトハ、法律的ニ見テ相當私ハ強ク疑問ヲ持ツテ居リマス、只今政府モ幾ラカ考ヘテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、尙ホ十分ニ是等ノ細カイ此動キニ付キマシテ、法律的ニ御考察ヲ願フツテ、私共ガ或ハ細カイコトヲ政府ノ御考ヲ伺フコトモアルカモ知レスカラ、御準備ヲ願フツテ置キタイト思ヒマス、外ハ點ハマア大體反對カ或ハ餘程強イ疑ヲ持ツテ居

ル、此點ハ多少持ツテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ是ハ多少以上ニ、他ノ方ニ相當疑ヲ持ツテ御研究置キテ豫メ願ヒタイト云フ事ヲ申上ゲテ置キマス、此點ハ私ハ大體反對カ或ハ餘程強イ疑ヲ持ツテ居

政府委員(堀切善次郎君) 尙此第九十三條ニモ同様ノ疑ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ此際申上ゲテ置キマスノハ、此議院法ノ改正ハ御承知ノ如ク憲法附屬ノ法律デアリマシテ、樞密院ノ方ノ御諮詢ヲ受クルヤウニモナリマスルシ、サウ云フ關係上政府ト致シマシテモ十分ニ意見ヲ申上ゲ、十分ニ御審議ヲ願ヒタイト考ヘテ居ル點デアリマス、其點ヲ此機會ニ申上ゲテ置タ次第デアリマス

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

ドウゾ政府ノ方デ御調べニナツタラ、成ルタケ速カニ願ヒタイト思ヒマス、他ニ本日御發言ガナケレバ、本日は是デ止メマシテ、大同ハ委員長ニ於テ決定イタシマシテ御通知イタシマス、ソレデハ本日は是デ散會イタシマス

三月七日

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

開會イタシマス、議院法中改正法律案ニ關シ、若シ皆サシニ於テ大體ノ御質問ガゴザイマスレバ、先ヅ

其方ヲ願ヒマシテ、後ハ便宜、事ノ順序ニテモ依リマシテ御審議願フタラバ便宜カト考ヘマスガ、本日ハ先ヅ大體ノ御質問ヲ願フタラ如何カト思ヒマス
倉知鐵吉君

私ハ政府ノ方ニ御伺ヒ致シタイコトガアリマスガ、此法案ガ貴族院ニ廻付サレマシタ時ニ、政府カラ本會議ニ於テ、此規定中ノ或ル條項ニハ賛成スルニ躊躇スルト云フコトヲ述ベラレテ居リマスシ、又此委員會ニ於キマシテモ同様ナコトヲ述ベテ居リマスガ、一體此法案ガ衆議院ヲ通過スルニ先ダツテ、一應政府ノ意見ヲ衆議院ニ御傳ヘニセラルベキモノカト思フノデアリマスガ、衆議院ニ於テハ政府ノ意見ヲ發表セラルルコトナクシテ、貴族院ニ來テカラ恰モ卒然反對ノ意ヲ發表セラルルヤウナ形ニナツテ居リマスガ、何カ御事情ガアルダラウト思ヒマスガ、ドウ云フコトデアリマスカ、チヨット考ヘマスル所デアリ、衆議院ノ通過ニ先ダツテ同意シ難イ點ガアルト云フコトヲ、少クドモ表明ササルガ相當ダラウト思フデアリマスガ、ソレガナカツタハドウ云フ次第デアリマスカト云フコトヲ、一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又衆議院デハ即決可決シタノデアリマスカ、委員會ニ付スル場合モ尤カクテ承知シテ居リマスガ、此問題ハ衆議院デハ、大分久シイ間ノ懸案ニナツテ居ルノデアリマシテ、此準備調査等ノ時期モ相當長カツタノデアリマスカラ、今回戴イタヤウナ反對意見ガゴザイマスナラバ、案ノ公然衆議院ニ提出セラレルニ先ダツテ、是等ノ意見ヲ御通ジナサル方ガ、政府トシテハ相當ノロトデアリ、又御親切

大ヤリ方ダラウト思フノデアリマスガ、サウ云フコトデアツタメデアリマセウカ、政府ノ意見ヲ傳ヘタニモ拘ラズ、衆議院ハ之ヲ無視シテ、自分ノ案ヲ強行可決シタト云フ次第デアリマスカ、ソレ故ニ貴族院ニ來テ反對ノ意思ヲ表明ナサレタト云フ次第デアリマセウカ、或ハ初メカラ斯ウ云フモノハ御覽ニスレナイデ、衆議院デ自由ニ進マシテ、進行ヲサセテ置キマシテ、サウシテ衆議院ガ可決シタ時ニナツテ、突然反對ノ意思ヲ貴族院デ發表セラレタト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカ、少シ了解シ難イメデアリマス、ソコ等ノ所ヲ少シ詳シク御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

政府委員(堀切善太郎君)

御尤ノ御質疑デアリマスガ、政府ノ方ト致シマシテハ、衆議院ノ方デ此案ガ段々ト問題共ナクテ居リマス間ニ、之ニ對シマシテノ準備ノ調査ヲ色々トヤツテ居タノデアリマス、併シ是ガドウ云フ風ナ順序デドウ云フ風ナ形式ノ提出ニナルカト云フコトモ、狀況ガ全ク分リマセヌ譯デゴザイマシタ、其間ニ急ニ提出セラレ、急ニ上程セラレ、即決可決セラレルコトニナリマシテ、全ク意見ヲ言フ時機ヲ失シマシタニ過ギナイノデアリマス、外ニ格別ノ事情ハアリマセヌ、意見ヲ言フ時機ヲ失シマシタ次第デアリマス、從ツテ是ガ提出サレマス前、政府ノ意見トシテ斯ウク云フ意見デアルト云フコトヲ公然ト向フノ方ニ提出者側ノ方ニ通達スル機會モ別ニナカツタヤウナ次第デアリマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマシタ、ドウゾ其コトヲ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

松本丞治君

私ハ此議院法ノ改正案ト貴族院令トノ關係ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、事ハ第三條一條ニ關スルヤウ
 ニハ見エマスルガ、此第三條ノ改正ノ結果貴族院令ノ改正ヲ必要トスルニ至ルノデアナイカ、若シサウ
 ナルト致シマスレバ、政府ハ如何ニ考ヘラレテ居ルカト云フコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス、第三條ニ
 於キマシテハ、從來ノ規定ノ二項ノ其中ニ一ツ項ヲ加ヘマシテ「議長副議長ノ任命ハ親任式ヲ以テ之ヲ
 行フ」ト云フ第二項ヲ加ヘマシテ、而シテ其結果第三項ノ「議長副議長ノ勅任セラルルマテ」ト云フノハ
 「親任セラル、マテ」ト云フコトニ改メヤウト云フコトニナツテ居リマス、尙ホ第一項ニモ改正ガアタマ
 スルガ、私ノ貴族院令ニ關係アリトシテ伺フコトハ、第二項ニ外ナラナイノデアリマス、此改正案ノ規定
 ハ、是ハ勿論衆議院ダケノ議長副議長ノ規定デアルト私ハ思ヒマス、即チ貴族院ノ議長副議長ニ付キマ
 シテハ、御承知ノ如ク貴族院令第十一條中ニ規定ガアルノデアリマス、此規定ノミヲ以テ足りテ居ルノ
 デアリマス、議院法ノ第三條ノ規定ハ、是ハ當然衆議院ノ議長副議長ダケノ規定デアル、貴族院ノ議長副
 議長トハ何等關係ガナイコトト思ヒマス、現行法ノ第二項ノ規定ノ如キモ、是ハ衆議院ニノミ必要ナ規
 定デアリマシテ、貴族院ニハ必要ナ規定デナイト思フノデアリマス、左様ニ解シマスルコトモ當
 否ニ付キマシテハ、或ハ政府ノ御意見ガ違フネカモ知レマセヌノデ、是モ伺ヒタイノデアリマスガ、私
 ハ左様ニ先ヅ解シテ質問ヲ進メテ參リタイノデアリマス、サウナリマスルト、此第三條ノ改正ニ依リマ

シテ、衆議院ノ「議長副議長ノ任命ハ親任式ヲ以テ之ヲ行フ」ト云フコトニナリマス、然ルニ貴族院ノ方
 ニハサウ云フ規定ハナイ、又衆議院ノ方デハ議長副議長ノ親任ト云フ文字ヲ使ヒマス、併ナガラ貴族院
 令ノ方ハ勅任ト云フ文字シカナイト云フコトニナリマス、是ハ不權衡ヲ極メタコトニナルト思フノデア
 リマス、然ラバ、此不權衡ヲ除ク爲ニ、議院法ノ方デ、貴族院令第十一條ヲ或ル意味ニ於テ補充變更スル
 方如キ規定ヲ設ケルカドウカト云フコトヲ申シマス、是ハ私ハサウ云フコトハ出來ヌト思ヒマス、此
 點ニ付キマシテモ、政府ノ御意見ヲ伺フテ見タイノデアリマスガ、私ノ考ヘル所デハ憲法第三十四條ニ
 依リマシテ、貴族院令ハ此貴族院ノ關係ニ於キマシテハ、議院法ト同一ノ效力ヲ有ツテ居ルノデアリマ
 シテ、尙ホ貴族院令ノ第十二條ニ依リマシテモ、「此ノ勅令ニ定ムルモノノ外ハ總テ議院法ノ條規ニ依ル」
 ト云フコトニ言ツテ居リマス、先ヅ貴族院關係ニ付テハ、貴族院令ノ定ムル所ニ依ルノデアリマス、之ニ
 規定ナキ點ニ付テノミ議院法ノ規定ノ適用ガアルノデアリマス、果シテ然ラバ此第十一條ヲ變ヘマセヌ
 以上ハ、立法ノ手段ニ依リマシテ、議院法中改正案ノ第三條第二項第三項ノ改正ト權衡ヲ失シナイ所ノ規
 定ヲ設クルト云フコトハ出來ナイコトト私ハ考ヘルノデアリマス、先ヅ此點ニ付キマシテ政府ハ如何ニ
 考ヘラレテ居ルカト云フコトヲ伺フト同時ニ、モウ一ツ伺ヒタイコトハ、若シ此議院法中改正案ノ第三
 條ノ規定ガ此儘兩院ヲ通過イタシマシタヤウナ場合ニ於キマシテ、政府ハ貴族院令第十一條ニ對シマシ
 テハ之ニ適應スルヤウナ改正ヲ加ヘル、サウ云フ勅令ヲ出サレマシテ、更ニ貴族院ノ議ニ付セラレレル御考

ガアルカドウカト云フコトデアリマス、御承知ノ如ク貴族院令改正ハ、政府ノ一存ダケデアラ出来ヌヤウデアリマス、貴族院令第十三條ニ依リマスレバ、必ズ貴族院ノ議決ヲ經ナケレバナラヌト思ヒマス、若シ貴族院モシテ此改正案ノ第三條第二項ヲ可決イタシマシタナラバ、政府ノ發案ガアレバ、恐ラクハ貴族院ハ之ニ對應スル貴族院令中ノ改正ニモ贊成可決スルコトト思ヒマスガ、併シ此貴族院ノ議決ヲ得ルコトガ必要デアリマスル以上ハ、其貴族院ニ發案ヲシテ提案ヲサレマスル、ソレガ終リマスル迄ノ間ハ、ドウシテモ議院法ノ方トノ間ニハ權衡ヲ失シタ所ガ出来ルノデアリマス、ソレ迄ノ間ハ議院法ノ方ノ改正ハ、少クトモ此點ニ於キマシテハ御裁可ハ御請ヒマシラヌコトト私ハ考ヘルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、政府ハ如何ニ御考ヘニナルカ、即チ之ヲ略言イタシマスレバ、第一ニ議院法中改正案ノ第三條第二項第三項ノ改正案ガ假ニ法律トナルト假定イタシマスレバ、貴族院令第十一條ヲ改正スルニアラザレバ權衡ヲ失シテ來ルト云フコトヲ、政府ハ御認メニナルカドウカ、第二トシマシテハ、之ヲ御認メニナルト致シマシタナラバ、假ニ議院法第三條ノ改正案ガ兩院ヲ通過イタシマシタナラバ、政府ハ直チニ貴族院令第十一條ノ改正案ヲ御作リニナツテ、貴族院ニ御出シニナル積リデアアルカドウカ、此二點ニ付テ尙ツテ見タイト思ヒマス、

政府委員(堀切善次郎君)

此度ノ議院法中改正案ノ第三條第二項第三項ハ第三條全體カラ讀ンデ參リマシテ、衆議院ノ議長副議長

ニ關スルモノノヤウニ讀マレマス、サウ致シマスレバ只今ノ此改正案ハ、御説ノ如ク貴族院令ノ第十一條ト權衡ヲ失スルコトニナルト存ジマス、議院法ノ第三條第二項第三項ノ改正案ニ對シマシテハ、政府ト致シマシテハ、此改正案ニ贊成ハ致シニクイソデアリマス、反對意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、從ツテ此改正案ガ貴族院令ノ第十一條ノ規定ト權衡ヲ得ナイ結果ニナルト云フコトニ對シマシテ、此第三條ノ二項三項ノ改正ニ贊成イタシ兼ネルノデアリマス、若シ此議院法ノ第三條ノ二項三項ノ改正案ガ假ニ通過ツタ場合ニハドウスルカト云フコトニ對シマシテハ、其通過ツタ場合ノ處置トシテ考ヘル次第デアリマシテ、只今カラソレヲ豫想シテ申上ゲルコトハ、甚ダ申上ゲニクイ譯デアリマスガ、此儘デ此改正案ト現行法トノ間ニ權衡ヲ失スルコトニナリ、此議院法ト貴族院令トノ間ニ權衡ヲ失スルト云フコトハ、甚ダ好マシクナイコトデアリマシテ、是ハ兩方同ジヤウナ風ニ規定サレルノガ本當デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナ意味ヲ以テマシテ、此第三條ノ二項三項ノ改正案ハ通過シナイコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス、

松本丞治君

只今ノ御説明デ能ク御趣意ガ分リマシタ、實ハ政府ノ御意見デハナイノデアリマスルガ、參考ニ出テ居リマスル材料ハ、只今私ノ述べタノト違フヤウナ考ニナツテ居ルヤウデアリマス、即チ此改正案ノ第二項及第三項ハ貴族院ニモ亦適用ノアルカノ如ク認メラレテ、意見ガ述べテアルヤウニ見エマス、其趣意

又常置委員ノ規定ニ反對セラレル趣旨ヲ承リタイノデアリマス。然レモ、此ノ規定ハ、議院ノ組織ニ對シテ、委員長(侯爵佐佐木行忠君)

鶴澤サンニテモツト申上ダマスガ、大體ノ順序ヲ逐ウテ願ツタラドカカト考ヘテ居ルノデゴザイマス。鶴澤總明君

イヤ私ハ反對意見ダケ先ニ承ツテ置キタイト思ツタデアリマスガ、當今ノ議會ニ對シテ、委員長(侯爵佐佐木行忠君)

サウデスカ、若シ皆サンガサウ云フ方ガ御便利ナラシムルニ、委員長(侯爵佐佐木行忠君)ノ意見ニ對シテ、鶴澤總明君

ホヤ私ハドチラデモ宜シイノデアリマス。然レモ、此ノ規定ハ、議院ノ組織ニ對シテ、委員長(侯爵佐佐木行忠君)

政府委員(堀切善次郎君) 常置委員ニ關シマスル制度ハ、憲法ノ會期ニ關スル規定、開會、閉會、停會、召集ニ關シマスル規定トド

ウ云フ關係ヲ持ツダラウカト云フコトニ付キマシテ、非常ニ疑問ガ多イノデアリマス。議會ハ會期ノ開

議會上ニ於テ活動ハ出來ル譯デアリマスガ、憲法ニハ其會期ガ定メラレテアルノデアリマシテ、此會期

以外ニ於テ議會トシテ働タト云フコトハ、憲法上不可能ナラシムルノデアリマス。憲法

上ノ機關トシテ働クコトガ不可能トスレバ、此常置委員ト云フモノヲ議院法デ認メタ場合ニ、是ガ如何

ナル働キニテモノデアラウカト云フ點ガ、又問題ニナルト思フノデアリマスガ、憲法上ノ議會トシテ

働キト關係ノナイ常置委員ノ制度ヲ設クルト云フコトガ、果シテ適當デアルカドウカト云フコトニ付

テ、大ニ疑問ニ致スノデアリマス。憲法上ノ機關デアイトハ、働キガ出來ナイノデアリマス。憲法上

ト、實際上此常置委員ハ、事實上ニ於テ必要ガアルデアラウカト云フコトヲ考ヘマス。今日ニ於

キ緊急處分ノ途モ開カレテ居リマスルシ、殊ニ近頃ニ於キマシテハ、臨時議會モ可ナリ頻繁ニ行ハレルヤウ

大風潮ニモナラズテ居リマスルシ、又問題ニ依リマシテハ、貴衆兩院議員ヲ包含イタシマシタ委員會ノ組織

等ニ依リマシテ、其問題ヲ研究シテ行クト云フヤウナヤリ方モ實際ニ於テ非常ニ能ク運用セラレテ居ル

次第デアリマスルカラ、ソレ等ニ依リマシテ、働クコトニ致シマスレバ、必シモ常置委員ノ制度ヲ必要ト

シナイノデハナカラウカ、常置委員ノ制度ヲ置キマシタ結果、是ガ議會ニ於キマシテノ働キト同ジヤウナ

政治上ノ考ヲ人ガ持チマシテ、政府ト致シマシテモ此方ニ對シテノ應酬ニ相當時間ト頭トヲ費サナケレ

バナラナイト云フヤウナコトニナル虞ガアリ、國政ヲ圓滿ニ運用シテ行ク上ニ付キマシテ、却テ障礙ニ

ナリハシナイダラウカ、是等ノ點ヲ色々周到ナ注意ヲ加ヘテ帝國憲法ガ制定サレテ、會期ノ制度ガ出來

テ居ルノデハアルマイカト云フヤウニ考ヘマス。此制度ニ對シマシテ賛成イタシ難イト考ヘテ居ル

次第デアリマス

石塚英藏君

チ無ツト之ニ關係イタシマスカラニ此繼續委員ト云フ制度ガ今日現行法ニアルガ、是デハ間ニ合ハ
 ナイカラ、詰リ之ヲ廢メテ、常置委員ニシヤウト云フノガ、是ガ衆議院ノ考ヘ方ダラウト思ヒマス、ソレ
 デ繼續委員會上云フノハ、トシテ風ニ機能ヲ發揮セタシムガアルカ、ドウモ私ハ一向承知セズ、ソレ
 マス、文書ニモ記録ノ上ニモ別ニ無イヤウニ思フマデアリマスガ、シテ見ルト、繼續委員デハドウシテモ
 イカス、常置委員デナケレバナラヌト云フコトガ、無論其働キノ範圍ハ違ヒマスケレドモ、極ク大體カ
 ラ言ツテ、繼續委員デハ間ニ合ハナイト云フコトヲ玆ニ斷言スルノニ、マダ少ク早クナイカト云フ感ジ
 ラ持ツテ居ルノデアリマス、又政府ノ方ニ何カ之ニ付テ參考トナルヤウナ材料ヲ御持テニナツテ居ルマ
 スカ、伺ツテ見タイノデアリマス、又國會ニ於テ決議イタシマシタ場合ハ要求ノ有無ニ拘ラ
 政府委員(堀切善次郎君)モ、然レマス、然レニ改定ニ付テモ、ハ、繼續委員ニ付テハ、委員會ハ繼續
 繼續委員ノ制度ハ、從來未ダ一度モ運用ナレタコトガ無イキタデアリマシテ、今日差上ゲマシタニ故バ
 カラノモノニ、從來ノ沿革ヲ書キマシテ差上ゲタ次第デアリマス、此度ノ常置委員ハ、此繼續委員ト趣ガ
 違ヒマスルノハ、繼續委員ノ方ハ政府ノ要求或ハ政府ノ同意スル場合ニ限ツテ居ルノデアリマスガ、此
 度ノ常置委員ノ制度ハ、政府ノ要求アル場合、又議會ニ於テ決議イタシマシタ場合ハ要求ノ有無ニ拘ラ
 ズ、ヤレルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ更ニ、問題ガ無クモ繼續委員ヲヤリ得
 ス

ルト云フコトニ、非常ニ廣イ範圍ニ於テ此常置委員ヲ働カサウト云フ趣意ニナツテ居ルヤウデアリマス、
 デ從來ノ繼續委員ガドウシテ働カナカッタカ、實際ニ運用セラレナカッタモノデアラウカト云フ點
 付キマシテ、色々調べ見マシタガ、ソレ等ノ實際ノ實情ハ能ク分リマセヌ、或ハ先刻私ノ申上ゲマシ
 タヤウナニ、此常置委員ニ對シマシテ申上ゲマシタヤウナ趣意ガ、ソレニアルノデハ大カクウカト云フ
 ヤウナ氣ガ致シマスガ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、能ク調べマシテモ、明瞭イタサナイノデアリマ
 ス

石塚英藏君

仄カニ聞ク所ニ依ルト、此繼續委員ヲ設ケタイト云フ議員ノ方ニ希望ガアツテモ、ソレハ同意サレナカ
 ツタトカ何ト云フコトヲ、是ハドウモ傳ヘ聞キニ聞イテ居ルノデ、何も書イタモノニアル譯デヤナ
 ノデ、ソレナ御記憶ハアリマセヌカ、是ダケデスカ、此印刷物ニアルダケデスカ、唯一度ダケ
 デスナ、サウスルト、是ハ議員ノ方ノ側デモ到底政府ノ同意シナイモノト見テ發議ヲシナカッタト云フ
 ノデスカ、サウ云フ場合ハ起ツテ來大カクツタノデスネ、サウシテ衆議院デハ今度ハ常置委員デナケレバ
 カスト云フコトデ、非常ニ飛躍レタ所ノ議論ヲ持ツテ來タ、斯ウ云フコトデスネ、是以上ノコトハアリマ
 セヌネ、ソレイヤソレデハ宜ウゴザイマス、

馬場鉄一君

議院大體ノコトデ伺ヒタイノデスガ、此議院法ノ改正ニ付テ、若クハ議院法ニ含マレテ居ル中デ、議院法ノ改正ニ依ラズシテ、例ニ先程ノ議長、副議長ノ任命様式ナリ、或ハ其宮中席次等ニ付テデアリマエガ、大體ニ於テ、衆議院ノ意向ノアル所ニ此法律案ヲ分ツテ居ルガ、貴族院ハマダ之ニ對シテ法律的ノ意見ハ決マツテ居ラヌケレドモ、大體貴族院ニ於ケル非公式ノ意見モ略々御察シニサツテ居ル譯デアラト思ヒマエガ、假ニ... 假定ノ問題ヲ御答ニ甚難カモ知レヌガ、茲ニ議會ニ於テハ議院法ト云フモノノ改正ヲ成置セテカツタ場合ニ於テハ、政府トシテ適當ナ機會ニ若クハ成ルベク速ニ議院法ト云フ改正、若クハ議院法ニ含マレテ居ル相當ナ改正ヲ要スベキ點、例ヘバ今申シタ宮中席次ナリ任命ナリノ件デスガ、ソレヲ改正スル御意ガアルノデモウカ、是ハ政府委員單獨ノ御答デハ、私トシテモマダソレハ決然ト譯ニハ參リマセヌガ、大體ソレ等ニ付テ政府ノ御意向ガ決マツテ居ルナラ伺ヒタイト思ヒマエ

政府委員(堀切善次郎君)

只今ノ御示シタル問題ニ付キマシテハ、關聯スル所ガチカク、澤山アリマシテ、ソレニ對シテ今政府府ガドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、直ニ申上ゲテ出ルナリ状態ニ於テ居ル次第デアリマス、其外ノ色々ナ規定ニ付テ、此議院法ニ付テ、政府ノ方カラ改正ヲ計畫シテハト云ク意味ノ御質問ト存ジマスガ、此衆議院ノ方デ改正ノ眼目ト考ヘテ居リマス當委員ノ制度ト云フヤウナ點ニ付キ

マシテ、政府ノ方デハ反對ノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、其外ノ問題ハトチラカト申シマス、寧ろ輕微ナ問題ニナルト存ジマスガ、ソレダケヲ政府案トシテ考ヘルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、少シ考慮ヲ要スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

馬場鎮一君

其考慮ハ、考慮ト云フ答辯デ此議會中御通シニナルヲデスガ、ソレトモ考慮ハ上改メテ總理大臣カラデモ御考ヲ承ルコトガ出來ル意味ノ考慮デスカ、念ノ爲伺ツテ置キタカ

政府委員(堀切善次郎君)

此議會ハ會期モ餘程切迫シテ居リマスカラ、此議會中ニソレヲ解決スルト云フコトハ、少シ困難デハナカラウカト存ジマス、若シ政府ノ方カラ提案イタスト云フコトニナリマスレバ、是ハ樞密院ノ御諮詢モ經テタテムナリマセヌシ、相當ノ準備期間ガ要ルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

馬場鎮一君

私ソレデアルカラ、先程申シタ質問ハ、此議會ニ提案ト云フコトヲ少シモ註文シタノデヤナイ、茲ニ衆議院ノ法律的意见ガアル、貴族院ニモ或ル程度ノ意見ノ茲ニ表明サレテ居ルモノモ非公式ナガラアル、政府モ賛成サレタ點モアル、斯様ナ場合ニ於テ適當ナ機會ニ於テ、ソレノ手續ヲ經テ政府カラ議院法ノ改正ヲ提案サレル御考ガナルカドウカ、斯ク云フコトヲ實ハ伺ツテ居ル、此議會ハ法トヲ申上ゲルノデ

バナイ、ソレハ考慮中ダト云フコトデ此議會ヲ御通シニナルナラ、又ソレニ依ツテ私モ考ヘナケレバナ
ラス、其意味デ私ハ伺ツタ、勿論此議會ニ提案ト云フコトデハ勿論ナイ

政府委員(堀切善次郎君)

此議會デナイ問題ト致シマシテ、考慮イタシタイト考ヘテ居リマス、其意味ハ...

馬場鏡一君

提案スルカシナイカラ考慮シタイ、斯ウ云フ意味デスカ、其意味ハ...

政府委員(堀切善次郎君)

サウデゴザイマス

子爵前田利定君

今ノ馬場君ノ質問ニ極ク直接關聯シタコトデスカ、今政府委員ノ御話デハ、議院法中改正案ヲ提案スル
カドウカ考慮中ダト仰セラレマシタケレドモ、モウ此議會モ二十五六日デ終ル譯デアリマシテ、二週間
ナルカナイカデス、今考慮中ト云フコトハ、詰リ此議會ニハ事實今考ヘテ居ルヤウデハ、到底提出ノ運
ビニナラナイノデアリマスカラ、此議會中ニハ提出ニナラナイ、然ラバ此次ノ近イ議會ニデモ御決定ヲ
見ルコトニナル譯ナラデスカ

政府委員(堀切善次郎君)

此議會ニハ會期ガ餘日モアリマセヌノデ、到底問題ニナラナイト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、
男爵黒田長和君

大ニ改テト簡單ニ...

改正スル必要ヲ御認メニナリマスカ

政府委員(堀切善次郎君)

其點ヲ慎重ニ考究イタシタイト思フノデアリマス、其意味ハ...

倉知鐵吉君

私モ今ノ問題ニ關聯シテ伺ヒタイノデスカ、政府ハ此案ガ否決ニナルコトヲ御希望ナラデスカ、ソレト
モ政府ノ言ハレル通り、直セバ通ルコトヲ希望サレルノデアリマスカ、ソレヲハツキキリ言ツテ戴キタイ、
衆議院デハシナイデ、貴族院ニ於テ反對ヲ表明セラレタノデアリマスカ、今ノ點ヲ伺ツテ居ナイト云ス
ト、チヨット審議スルノニ不便ガアルノデアリマス

水野鍊太郎君

是ハ衆議院ノ各派一致デシタノデスカラ、出來得ベクンバ我々モ賛成シタイト思フノデス、併シ内容ニ涉
ルト大分重大ナ問題ガアリマスカ、政府ノ意見デモ考慮シヤウト云フ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、
此問題ニ付テハ我々モ慎重ニ考慮研究シタラドウカト思フノデス、衆議院ノ提案デスカラ、政府ノ意見ヲ

御イテモ、ドウモハツキナシク御答がナイ、事口政府ハ露骨ニ言ヘテ、極端ニシテ貴ヒクハ人ナク、ナ
イカト思フノデ、ナウ云スマウナ程度デ我々ハ研究シタテ宜カテウチ思ヒマス、政府モソノナヤウ
去御答がナイデスガ、モウモウ出来ルハ、是非ハ貴會ニモトイ思ヒ、マス、相ノ内容ニ將
伊澤多喜男君

段々ノ御意見ガアル通りデアリマスガ、矢張り今各議員カラシテ色々御註文ガ出テ居ルノデスガ、詰リ
衆議院ガ通り、貴族院モ制度調査會ト云フモノヲ作ツテ、非公式ニ段々研究シテ、大體此ニ致スル所ハ
時分ツテ居ルデスカラシテ、相當ニ政府ノ御參考ニナルノダラウト思ヒマスガ、今馬場君ノ言ハレル
通りニ、ソレヲ御参考ニサレテ、サウシテ或ル時期ニ於テ、政府ガ提案サレルト云フコトガ、私適當ナ方法
ダト思フノデアリマス、ソレデドウナサルカト聽クト云フト、出スコトモ出サスコトモ考慮スルト云フ、斯
ウ云フ御答デモガラ、ソレデハ少々我々共之ヲ審査シテ行ク上ニ困リマスノデ、今日ハ此程度デ御答ハ
結構デモウガ、一應矢張り委員會ニ斯ウ云フ空氣ガアルト云フコトヲ總理大臣ニモ御報告下サツテ、此
次ニモウ少シ進シダコトヲ御答ヲ願ヒタイト、斯ウ私ハ希望イタシマス
水野健太郎君

此案ノ重要ナル點ハ、常置委員ヲ置クト云フコトデアリマスガ、是ハ色々ノ問題デ考究ヲ要スルコトト
思フノデスガ、政府ニ於テモ研究ヲサレタ上デ、是ハ反對デアル、若クハ斯ウ云フ風ニスレバ贊成デア

ルト云フヤウナ點ハ、政府ノ確タル意見ヲ二遍御研究ノ上ニ、何時デモ宜シウゴザイマスガ、御答辯ヲ願
ヒタイト思ヒマス

馬場健一君
私ハ今伊澤君大リ水野君ヨリ色々御註文ガ出タ、政府ノ詰リ答辯次第ニ依ツテ我々ノ態度ヲ決スルヨ
リ仕方がナイ、政府ガ其答辯ノ出來ル機會ニモウ一遍此委員會ヲ開イテ戴キタイ、此質問ハ何モ政府ニ
聽ク必要ガナイ、案ノ内容ニ付テ政府ニ聽ク理由ガナイ、今ノ御答辯ガハツキリ出來ル迄、此委員會ヲ
延バシテ戴キタイ、政府ガサウ云フ答辯ガ出來ルト云フ機會ニ、モウ一度此委員會ヲ召集シテ戴キタイ
ト思ヒマス

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

只今馬場委員ノ御申出ノ件ニ御贊成モアリマシタガ、皆サン御贊成ガ御多數ナラバ、委員長ニ於テモ異

議アリマセヌガ……

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

ソレデハ左様ニ決シマス、政府ノ返答ヲ待チマシテ、適當ノ時期ニ開クト云フコトニ致シマス、本日ハ散
會イタシマス

三月十六日

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

開會イタシマス、政府ヨリ説明ヲ致サレタイ趣デアリマスカラ、先ヅ政府委員ニ説明ヲ求メマス
政府委員(堀切善次郎君)

此前ノ會議ニ於キマシテ、此法案ニ對スル政府ノ態度ヲ明カニスルヤウニト云フ御話ガ出マシテ、ソレニ
付キマシテ考究ヲ重ネタノデアリマシテ、ソレニ關聯シテ申上ゲマスニ付キマシテ、此衆議院ノ方カラ送
付ニナツテ居リマス此案ニ付キマシテ先ヅ政府ノ只今マデ考ヘテ居リマスル所ヲ、一ト通り申上ゲタイ
ト思ヒマスノデアリマス、少シ長クナルカモ知レマセヌデスガ、各條ニ付キマシテ先ヅ申上ゲルコトヲ許
シテ戴キタイト思ヒマス、政府ノ考ヘテ居リマス所デハ、此度ノ改正案ノ第一條ニ關シマシテハ改正案ハ
別ニ異議ヲ有ツテ居リマセヌソレカラ第二條ニ對シマシテハ改正ニ付キマシテハ、此親任式ヲ以テ行ハ
レト云フコトニ付キマシテハ、此前モ申上ゲマシタヤウニ、貴族院令トノ關係モアリ、皇室令ノ宮中席
次トノ關係ヲモ自然ニ有ツコトナリマスルノデ、ソレ等ノ關係ヲ皆併セテ考慮イタシマシテ、同様ナ進
ミ方ニナラナケレバ權衡ヲ得ナイト考ヘマスノデ、此點ニ付キマシテハ贊成イタシ兼ホル考ヘ有ツテ居

ルンデアリマス、唯副議長ヲ二人ニスルト云フ點ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ格別反對ノ意見ハ
有ツテ居リマセヌ、ソレカラ第四條ノ改正ニ付キマシテハ、是ハ常任委員ノ選舉ト關聯スルヤウデア
リマシテ、衆議院ノ方デハ此規定ヲ削除シテ差支ナイト考ヘテ居ルヤウデアリマスガ、貴族院ノ方ノ實際ニ
於キマシテハ此規定ノ存續スル方ガ都合ガ好イヤウニモ伺ツテ居リマスノデ、第四條ニ對シテ何レトモ
政府ハ格別ノ意見ヲ有ツテ居リマセヌ、兩院ノ御都合ノ好イ所ニ贊成ラシテ差支ナイ考ヘ有ツテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ第七條ノ副議長ノ員數ニ付キマシテハ先刻申上ゲタ通りデアリマス、ソレカラ第十二
條ノ改正ハ常置委員會ニ伴フ改正デアリマスノデ、常置委員會ノ所デ申上ゲタイト思ヒマス、第十五條ニ
關スル規定ハ、第十五條ノ改正案ハ果シテ此規定ヲ削除シテシマウガ宜イカ、現在ノ體ニシテ置クノニ
モ理由ガアルヤウデアリマシテ、任期ガ盡キマシタ後ニ、矢張り議長副議長ニ職務ヲ繼續シテ戴ク方ガ宜イ
カ、或ハ此仕事ヲ官吏デアル書記官長ニ代理ラサセルト云フ方ガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、少シク
疑ガアルヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第十九條ノ改正ニ付キマシテモ、是モ強ヒテ政府ニ
於テハ之ニ反對スル考ヘ有ツテ居リマセヌ、唯現在ノ規定モ亦一通リ筋道ハ整ツテ居ルノデ、強ヒテ改正ス
ル程ノ必要モナイノデハナイカト云フ程度ニ考ヘテ居リマスガ、是ハ併シ此改正ヲスルト致シマシテモ
強ヒテ反對ノ意思ヲ有ツテ居ルモノデハナイノデアリマス、ソレカラ從來ノ第三項ノ「官吏」ヲ「有給官
吏」トスルト云フ意味ノ改正ハ、是ハ差支ナイコトト考ヘテ居リマスガ、言葉ノ用ヒ方ガ有給官吏ダケデ盡

カ、ルカドウカ下云云云ト云付キ、又別ニ書面ヲ調ベテ書イテ差上ゲテアリマス、ソレモ御對照
願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第十九條ノ末項ノ規定ハ、是ハ常置委員設置ニ伴フモノデアリマス、
常置委員ノ制度ト同ジセウニ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス、第二十條ノ改正ハ常置委員ノ設置デア
リマス、第二十條ノ三、第二十條ノ四、是ハ常置委員ニ關係スル問題デアリマスガ、此常置委員ニ付キマシ
テ前ニ申上ゲマシタヤウハ、憲法上ノ解釋ト致シマシテモ疑義ガアリオスルシ、又之ヲ實際ノ方面ヲ考
ヘテ見ヤシテモ、此常置委員ノ制度ニハ政府ト致シマシテハ贊成イタシ兼ネルイデアリマス、今日ノ實情
カ、見マシテ議會ヲ開會中デアリマス、政府モ殆ド全力ヲ擧ゲテ此議會對策ニ汲頭スルヤウナ形ニ
ナリマス、今日ノ實情今日ニ於キマシテ、已ムヲ得ナイ、大第オノデアリマス、從ツテ此間一般行政事務ノ
進行ニ對シテハ、勸力ヲズ、不便ヲ感ズル實情デアリマス、オウ云フオウナ大第デアリマス、此常置委
員ノ制度ガ設ケラレマシテ、議會ノ開會中ニ於キマシテモ矢張り政府ト致シマシテ、此常置委員ニ對ス
ル折衝等ノ仕事ヲ生ジマスルコトハ、一般行政事務ヲ進メル官廳ノ能率ヲ擧ゲルト云フ點カラ考ヘテ見
オシテ、實際ニ於キマシテモ政府トシテハ困ルト思フデアリマス、此常置委員ノ制度ニハ反對ノ考ヲ
有ツテ居ルイデアリマス、第二十條ノ第三項ノ規定ハ、常任各部ノ部ノ制度ト關聯スルヤウデアリマ
スカラ、是ハ前ノ第四條ノ規定ト關聯スルモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二十條ノ三、第二十條ノ四
ハ今申上ゲタヤウナ大第デアリマス、第二十一條モ常置委員ニ伴フ改正デアリマシテ、前申上ゲマシタヤ

ウナ趣意ヲ政府トシテハ贊成イタシ兼ネルイデアリマス、第二十二條モ同様デアリマス、ソレカラ第二十
三條ニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテ、此改正案ニ反對ノ意見ハ持ツテ居リマセヌ、此改正案ニ贊成
イタシ兼ネルイデアリマス、第二十三條ノ第二項ノ規定ハ、常置委員會ニ關係スルキウデアリマス、カ
ラ、此分ニ付キマシテハ、前ノ常置委員ニ對スル意見ヲ及ボシテ來ルコトニナル譯デアリマス、ソレカラ第
二十五條ノ改正モ、是モ常置委員ト關聯スル規定ノヤウデアリマシテ、ソレト併セテ考ヘルベキ問題ト考
ヘテ居ル、大第デアリマス、ソレカラ第二十六條ノ規定ニ付キマシテハ、議事日程ノ順序ノ變更ノ問題デゴ
ザイマスガ、是ハ政府ト致シマシテ改正案ニ贊成イタシ兼ネルイデアリマス、或ハ此現在ノ規定ノ方ガ宜
イト考ヘマスノデ、或ハ此改正案ノヤウニ改正イタシマスレバ、場合ニ依リマシテハ、政府案ノ進行ガ非常
ナ支障ヲ生ジテ來ヤシナイカ、政府案ハ何ト申シマシテモ政府ノ方デ最モ其必要ヲ考ヘテ提出シテ居ル
大第デアリマス、此議事ノ審議ノ順序ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ、此改正案ノヤウニナ
リマシテハ困ル場合ガ起リハシナイカト云フコトヲ心配イタシマスノデ、此改正案ニハ贊成イタシ兼ネ
ルイデアリマス、ソレカラ第二十八條、此二十八條ノ規定ハ、是モ常置委員ノ設置ヲ前提トスルモノデアリ
マスカラ、常置委員會ニ反對イタシマスル關係上、此改正案ニモ反對ラヌルコトニナル譯デアリマス、ソ
レカラ第三十條ヲ改正ハ、是モ政府ノ議案撤回權ノ制限ニナル譯デアリマシテ、政府ト致シマシテハ、矢張り
此政策ガ變テ議案ヲ撤回シタイト云フヤウナ時ニハソレヲ撤回シ得ル現在ノ規定ノ方ガ宜イト考ヘテ

居リマスノデ、此改正案ニ對シテモ賛成ヲ致シ兼ネルノデアリマス、ソレカラ第三十五條ニ付キマシテハ、常置委員會ニ關係スル問題デアリマスカラ、常置委員會ト同ジ議論ヲ行クコトニナル譯デアリマス、第三十六條ノ改正ハ、是モ現行法デ差支ナシ、又現行法ガ便宜デアラウト考ヘテ居リマスノデ、之ヲ改正スルコトニ付キマシテモ、如何デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三十八條ノ改正ニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテ、此改正案ニ何等異議ハアリヤセヌ、第四十一條ニ付キマシテモ、改正案ニ政府ト致シマシテ何等異議ヲ有ツテ居ナイノデアリマス、ソレカラ第四十四條ノ改正ニ付キマシテハ、是ハ政府ト致シマシテハ、矢張り現在ノ規定ノ方ガ宜イヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ實情ニ於キマシテモ、委員會ノ方デハ、モウ殆ド國務大臣ノ出席ヲ絶エズ要求サレマシテ、ソレニ應ジテ居ルヤウナカ第デアリマシテ、殆ド要求ニ應ジ切レナイヤウナ現在ノ實情ニナツテ居リマスノデ、之ニ對シテ政府ノ方カラ違フデ、此改正案ニ對シテ賛成スルト云フ考ニハ、只今ノ所ナツテ居ナイノデアリマス、ソレカラ第十四條ニ付キマシテハ、是ハ削除ニナツテモ何等差支ナイト政府ハ考ヘテ居リマス、是ハアツテモナクモ差支ガナイ規定ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、四十六條ハ常置委員會ト關係スル規定デアリマス、四十八條ノ改正ニ付キマシテハ、賛成者ガ二十八ニナリマスコトニ付テ、政府ハ何モ反對ノ意見ヲ有ツテ居リヤセヌ、改正ニ賛成シテ差支ナイト思ツテ居ルノデアリマス、第五十二條ニ付キマシテモ同様デアリマス、ソレカラ第五十四條ニ付キマシテハ、是ハ第三十條ノ改正ニ伴フ改正ニナツテ居リマスノデ、第三十條

ニ對スル意見ト同様ニナルノデアリマス、次ハ六十四條デアリマシテ、此六十四條ニ對シマシテモ、政府ト致シマシテ反對ノ意見ヲ有ツテ居リヤセヌ、第六十五條ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ格別反對ノ意見ヲ有ツテ居ナイノデアリマスガ、唯此意見書ノ送付ヲ受ケマシテ、處理ノ經過ヲ毎年議院ニ報告シマスニ付キマシテ、非常ニ詳細ナ經過ヲ要求サレマス、各省ノ仕事ノ方ニ大分影響シマシナイカト思ツテ居リマスガ、從來デモ此請願ニ對スル處理ノ事實ニ於テ兩院ニ報告シテ居リマス、アノ程度ノモノデ差支ナイト云フコトデアリマス、此改正ニ格別異議ヲ有ツテ居ラナイノデアリマス、第六十八條ノ改正ハ、政府モ同意シテ差支ナイモノト思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ハ第八十五條ニナリマス、是ハ常置委員會ノ設置ニ伴フ規定ノヤウニ考ヘラレマスノデ、常置委員會ノ決定ニ從ハムケレバナラナイカト存ジマス、ソレカラ八十七條ノ二、是ハ登院ノ停止ヲ命ゼラレルト云フコトハ、差支ナイノデハナイカ、此規定ニハ賛成シテモ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、八十七條ノ三、八十七條ノ四、此二箇條ニ付キマシテハ、此内容ニ付キマシテ、斯ウ云フヤウナ處理ヲセラレルト云フコトハ、結構ナコトノヤウニ存ジヤスガ、唯是ヲ此處ノ規定ニ置クガ宜イカ、或ハ是ヲ懲罰ノ方ニ持ツテ行クガ宜イノデハナイカト云フハ、取扱方ノ形ニ於キマシテ、少シ考究ガ要ルヤウニ存ジテ居ルノデアリマスガ、内容ニ付キマシテハ格別異議ヲ有ツテハ居ナイノデアリマス、ソレカラ九十三條ノ規定ハ、少シ行き過ギテ居ルヤウニ思ヒマスノデ、是ハ現行法ノ方ガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ九十五條ノ改正ハ、矢張り第四條ノ規則

ノ廢止ニ伴フ規定ノヤウデゴザイマスカラ、四條ノ規定ニ伴フコトノヤウニ思ヒマス、九十六條ノ改正ハ、此改正ハ差支ヘナイモノノヤウニ思ツテ居ルノデアリマス、デ各條ニ付キマシテ政府ノ考ヘテ居リマ
 不在、只今大體申上ゲマシタヤウニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ、此改正案ヲ政府カラ提案スルカドウ
 カト云フ質問ニ對シマシテハ、若シ提案スルト致シマスレバ、今申上ゲマシタ程度ノモノヲ提案スルコト
 ト考ヘルコトニナル譯デアリマス、是等ノモノニ付キマシテハ、ソレヲ提案スルコトガ、果シテ兩
 院ノ御趣意ニ合フモノデアラウカドウカ、衆議院ノ方ニ於キマシテハ、根本ノ考トシテ、殊ニ常置委員ノ制
 度ト云フコトニ非常ニ重キヲ置イテ居ラレルカノヤウニ考ヘラレマス、其ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致
 事マシテハ、反對ノ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、サウ云フ風ニ關係デ政府ノ提案スルト云フコト
 又考ヘマスレバ、何カ衆議院ノ方カラ出サレマシタ原案ノ趣旨ヲ取ルモノカノヤウナ誤解ガナイトモ限
 ラナイノデアリマス、政府ノ考ヘテ居リマス點ハ、今ノ程度ニナル譯デアリマシテ、此程度ニナリマ
 スト云フハ、折衷ヲカト申シマスレバ、内容ガ專口輕微ナコトニナリマシテ、割合ニ是ダケノ輕微ナ内容
 ニ付テ提案スルカドウカト云フコトハ、少シ慎重ノ研究ガ要ルト云フヤウナ風ニ考ヘテ居リマ
 事マシテ、サウ云フヤウナ風ニ考ヘテ居リマスノデ、此問題ニ付キマシテハ、尙ホ慎重ニ研究イ
 イト云フコトヲ申上ゲル程度ニ止マル次第デアリマス、其理由ハ、今各條ニ付キマシテハ申上
 事大次第デアリマス、其點ヲ御諒承願ヒタイト思フ次第デアリマス、第六十四回議會 衆議院 農林部

松本蒸治君

只今ノ政府委員ノ御説明ニ對シマシテ、一ツ伺ヒタイト思ヒマス、只今ノ御話デハ、此衆議院ヲ通
 テ來マシタ所ノ改正案ニ對シテハ、政府ノ御意見ガ大體分ツタノデアリマス、併ナガラ、假ニ政府ガ議院
 法人改正案ヲ自ラ出サレルト云フコトヲ考ヘテ、想像シテ見マスレバ、其際ニハ此衆議院ノ改正案ノ觸
 テ居ラヌ所ノ規定ニ觸レテ居ラヌ所ノ事項ニ付キマシテモ、勿論其改正ノ必要アリヤ否ヤ、即チ觸レテ居
 テヌ所ノ條項ニ付テ變更ノ必要ガアリヤ否ヤ、又今迄條項ノナイコトニ付キマシテ更ニ條項ヲ添ヘテ
 ケレバナラヌモノガアリハモエカト云フコトヲ、御研究ニナラナケレバ私ハナクマイト思フ、只今ノ御話
 デ此出テ居ル案ノ條項ダケニ付キマシテノ御意見ハ能ク分リマシタ、出テ居ラヌモノニ付テハ毫モ改正
 ノ要ナシト政府デハ認メラレテ居ルノガドウカ、其コトヲ伺ヒタイ

政府委員(堀切善次郎君)

只今御質問ノ點ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ政府ノ方デ改正ノ必要ナル點ヲ認メテ居リマセヌ、ソレ
 等ノコトニ付キマシテハ、尙十分ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

松本蒸治君

只今ノ御答ガ少シ不明ナデ、十分ニ研究シテ見タイト仰ツタ方ガ本當デアルカ、或ハ既ニ研究ヲシテ見
 タガ毫モ改正ノ要ハナイノダ、仍テ若シ改正案ヲ出セバ此衆議院ノ出シタ所ノ改正案ノ極ク一小部分シ

カ出ゼタイ、ソレテ非常ニ詰ラヌモノニナルカト云フヤウナ、マア先程ノ御話デアリマシタガ、只今ノ後ハ御答ハ衆議院ノ觸レテ居ラヌ所ニハ全然改正ノ必要ハナイト、政府ガ固ク認メラレテ居ルノカ、或ハソレハ研究ノ餘地ガ非常ニアルト云フ御話デアルカ、ドツチカ明カニ伺ツテ置キタイ

政府委員(堀切善次郎君)

改正ノ必要ハ認メテ居リマセヌ、只今ノ限マシテ、海軍ノ式ヲ改メ、必要ノモノヲ改メ、其ノ他ノモノハ、倉知鐵吉君(四善大頭)

私ハ是ヨリ各條ノ質問ニ御導入リニナルカト思ヒマスカラ、其前ニ一言申述ベタイト思ヒマス、第一ハ本案ニ對スル我々委員會ノ態度ノコトデゴザイマス、本案ハ衆議院各派ノ熱心ナル提唱ニ出タモノデゴザイマシテ、同院各派ニ於テ長時間ニ互リ調査ニ調査ヲ重ネタ結果、議會振興ノ一方法トシテ提議シタモノデゴザイマスルシ、又合シテ各派カラ貴族院ノ制度調査委員會及貴族院有志議員等ニ會見ヲ申込シテ、親シク改正ノ趣旨ヲ申述ベタコトモアルノデゴザイマスカラ、此案ハ調ハレ、衆議院トシテハ極メテ熱誠ヲ單メテ提案シタモノト思フノデゴザイマス、從ヒマシテ私共ニ於キマシテ此案ヲ審議スルニ際シテハ、大體先ヅ此法案ニ敬意ヲ表シテ掛ラナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、敬意ヲ表スルト申シマシテモ、何モ賛成シナイコトヲ賛成スルト云フ意味デアリマセヌ、賛成シテ宜イコトナラバ、モウ快ク賛成スルガ宜イ、反對スベキコトハ色々ナ外ノ迂回シタ理由ヲ附ケナイデ、明瞭ニ反對シタ方が宜イト思

フ、是ガ敬意ヲ表スル所以ダト思フ、又事柄ガ貴族院ニ餘リ關係スルコトガ多クナイト云フ理由デ、制度調査委員會等ニ於テハ所謂「黙」ト云フ字ヲ附ケタモノデアリマシテモ、既ニ衆議院カラ公然提案ニナツタ以上ハ、本院ノ關係ニ於テ差支ナイ限リハ矢張り是ハ賛成スルノガ當リ前ダト思フ、私ハ先ヅ大體サウ云フヤウナ方針デ此案ヲ審議シナケレバナラヌト、斯ウ私ハ思ツテ居リマス、皆サンノ御考ハドウカ知りマセヌガ、私ダケノ考ハサウデアリマス、次ニ本案ニ對スル政府當局ノ態度ノコトデゴザイマスガ、是モ私甚ダ政府當局ノ態度ハ其宜シキヲ得ナイト思フ、過日モ申上ゲマシタ通り、本案ハ衆議院各派ニ於テ、永ク研究ヲ重ネタ問題デアリマスルノミナラズ、本會議ニ於テハ決議ノ際ニ提案者ノ説明ヲ致シマシタ外ニ、各派カラ各一人づツ代表者ヲ出シテ發言ヲセシメテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ時間ガナカツタト云フコトハ決シテナイノデアリマス、若シ政府當局ニ於テ、意見ヲ述ベヤウト云フ御考ガアツタナラバ、各派間ニ審議ヲシテ居ル際ニ御述ベニナル機會モアリマスシ、又本會議ニ入ツタ後デモ、討論ノ間ニ相當ノ時間ガアツタノデゴザイマスカラ、十分ニ意見ヲ御述ベニナル機會ガアツタラウト思ヒマス、先達テ當局ノ方デハ機會ヲ失シタト云フ御話デアリマスガ、別ニ無カツタ譯ヂヤナイ、殊更ニ機會ヲ失セラレタノデアリマシテ、機會ガナカツタカラ已ムヲ得ズ意見ヲ述ベナカツタト云フノヂヤナイト私ハ確信イタシマス、是ハ甚ダ不都合ナ事ダト思フノデアリマス、斯ノ如クニシテ政府當局ハ衆議院ニ於テ何等意見ヲ御述ベニナラナイデ、其儘案ヲ通過セシメラレ、一旦貴族院ニ廻ツテ來タ時ニナリマス、率然トシ

ヲ反對ノ意味ヲ述ベラレテ、且ツ當委員會ニ於キマシテモ此條項ハ不賛成ダ、此條項ハ留保スルンダト、殆ト完膚ナキマデニ本案ヲ攻撃サレテ居ルノデアリマスガ、其態度ト云フモノハ甚ダ面白クナイコトト
 思フノデアリマス、私共考ヘマスルニ、本案ハ衆議院ノ提案デアリマシテ、我々ハ別ニ政府ノ意見ヲ聽イ
 テ、其意見ニ依ツテ賛否ヲ決スルト云フモノデアリマセケレドモ、併ナガラ元々憲法附屬ノ法律デア
 リヤカテ、特ニ重大ノ理由ガナイ限りハ、政府ノ反對ヲ押切ツテ決議スルト云フコトハ面白クナイト
 思ヒマスカラ、ソレデ政府ノ意見モ御伺ヒスルノデアリマス、又此案ガ兩院ヲ通過シタ曉、御裁可ニ先ツテ
 樞密院ニ諮詢セラルル關係ガアリマスカラ、是等ノ事ヲ考ヘテ政府ノ意見ヲ伺ツテ居ルノデアリマス、ド
 ヲモ私共ハ政府ノ態度ハ、今日迄ノ所ハ甚ダ遺憾千萬ト思フノデアリマス、今日當局カラ各條ニ付テノ御
 意見モアリマシタガ、私ハ其態度ノ本ガ面白クナイト思フノデス、衆議院ニ於テ熱心ニ此案ヲ主張シテ、
 既ニ本院通過ヲ來タノデアリマスカラ、枝葉末節ニ付テ強ヒテ缺點ヲ見出シテ反對ヲチクルト云フコ
 リハ、例ヘバ二例ヲ申シマスレバ、此議長副議長ノ地位ヲ高メルト云フノ意ヲ見テアリマスカラ、ソレガ
 賛成ガ反對カト云フコトヲ御聽キシタイノデ、反對サレバソレデ宜シイ、賛成ナラバドクモソレバ二番其目
 的ヲ達スルカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマスガ、俄制令ガドクドカ、身分令ガドクドカ、サツ
 云フ事ハ唯衆議院ハ得手デナイノデアリマスカラ、孰レ氣ノ付カヌコトモアラウト思フ、サツ云フ枝葉末
 節ノ意見ヲ述ベラレナイデ、之ガ宜インダトカ、惡オトカ、惡オカラ反對ダ、斯ク明瞭ニ仰ツシヤレバ宜イ

デスガ、賛成ノ方ト反對ノ方ト、法律ハ此條項ニ觸ルノデハナイカ、アノ條項ニ觸ルノデナイカト云
 フコトヲ口實ニサレルノハ、私ハ甚ダ當テ得ナイト思フ、其他ノ條項デモサウダ、衆議院ノ案ハ大體荒ッ
 ボク出來テ居リマスノデ、法文ノ整理ノ上カラ見マスレバ多少ノ缺點ハ方々ニアルヤウニ思フノデアリ
 マスガ、其點ヲ擱ヘテ、斯ウナツテ居ルカライカヌ、ア、ナツテハイカヌト斯ウ仰ツシヤルノハ、私ハ政府
 ノ態度トシテハ面白クナイト思フ、此事柄ガ惡イカラ反對ダ、是ハ事柄ガ宜インダカラ條文ハ斯ウナツテ
 居ルケレドモ、斯ウ直セバ其目的ヲ達スルト、斯ウ云フ風ニ私ハ言ツテ載キタイモノダト思フノデアリマ
 ス、ソレデ是カラ各條項ニ付テ審議スルニ當ツテモ、今ノ政府ノ態度デハ衆議院ニ對スル敬意ヲ失シテ
 居ル、甚ダ面白クナイ御態度デアルト思フノデアリマス、別ニ御答辯ヲ載ク譯デアリマセヌガ、私ハサ
 ウ云フ風ニ感ジテ居ルト云フコトヲ、一言申上ダテ置キマス、

馬場鎮一君

先程政府委員ノ御答辯ハ要約スルト斯ウ云フコトデアリマスガ、衆議院ノ提案中政府ガ同意スベキ點ハ
 茲ニ今述ベタガ、其點ダケダト云フト議院法ノ改正トシテハ、極メテマア輕微ナ改正ニナルノダト政府ハ
 見ル、故ニ其點ダケニ付テダト政府ハ次ノ議會ナリ、何ナリニ提案スル考ハ今有ツテ居ラヌトサウ云フ風
 ナ意味ニトツテ宜シイノデスカ

政府委員(堀切善次郎君)

大體御話ノヤウデアリマスガ、次ノ議會ニ提案スルカドウカト云フコトニ付キマシテ、更ニモウ少シ慎重ニ考慮ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

馬場鉄一君

私共ハ此案ニ付テハ先刻會知委員ヨリ述べラレタヤウニ、衆議院ノ兎ニ角各派一致ノ熱心ナル提案デアツテ、貴族院トシテモ之ヲ扱フニハ相當ニ慎重ニ扱ヒ、且ツ我々共モ贊成シテ宜イ點ハ相當アル人デアリマス。カエ、サウ云フ點ダケハ出來ルナラバ之ヲ成立サセタイト思フノデアリマスケレドモ、例ヘバ副議長ノ問題ノ如キハ、豫算ガナクテハ是ハ置ケナイヤウナコトニナルノデヤナイカト思ヒマスシ、其點デ之ヲドウ扱フカニ付テハ餘程考ヘナクテヤナラヌト思ヒマスケレドモ、先達テ私ノ質問シタノハ事口、政府ハドウスルカ、提案ヲスルカシナイカト云フコトヲデモ、實ハ伺フ積リデ質問シタト私ハ思ツテ居ル、今日マデモソレモマダ考ヘルノダ、斯ウ云フノダトデモ、實ハ非常ニ我々モ取扱ヒニ困難ヲスル、唯漫然此案ヲ水ニ流スト云フ譯ニモ行カナイヤウニ私ハナルノデヤナイカト思フ、何故ナレバ貴族院ハ貴族院トシテ、非公式ナガラモ相當此案ニ付テハ前カラ研究シテ來テ居ルノデ、政府ガ之ヲ兩院ノ意見人アル所ヲ十分ニ考察シ、更ニ議院法ノ他ノ點ニ付テモ篤ト攻究ヲ遂ゲテ、政府ノ然ルベキト思フ案ヲ次ノ議會ニ提案ヲスル、斯ウ言ハルルナラバ、言ハルルヤウニ我々ハ扱ヒ様ガアル、ソレガ出來ヌト云フナラバ、言ハレルヤウニ我々ハ扱ハナクテヤナラヌ、唯政府ガ在再トウスルカマダ分ラヌト云フヤウナコトデ私ハ日ヲ送ラ

マテハ、非常ニ此委員會ノ態度ヲ決メルノニ困ルト思フノデス、外ノ諸君ハドウオ考ヘニナルカ知レヤセ共ガ、私ハ貴族院ノ今ノ立場ガサウ云フ立場ニアルノデヤナイカト思フテ居ル、故ニ先達テ政府委員ニオ尋ネマテ、既ニ恐ラクハ十日位ハ經テ居ルノデヤナイカト思フノデアリマス、併シ今御答辯ガアリ、ソレダケノ案デハ提案スルカドウカモ知レヌ、シナイトモ言ヘヌ、スルトモ言ヘヌ、斯ウ云フ曖昧ナ説明デハ、私ハ非常ニ此委員會ノ立場ニ困ルト思フノデス、最近ニ其決定ノ意思ヲ更ニ表示サルルコトガ出來ナオナラバ、出來ナイヤウニ私ハ外ノ提議ヲシタイト思ヒマスカラ、モウ一度念メ爲メニ政府委員ニ伺ヒ

政府委員(堀切善次郎君)

與今ノ所デハ前申上ゲマシタヤウニ、マダ政府ノ方カラ提案スルトモシナイトモ申上ゲ兼ネル次第デアリマス

馬場鉄一君

委員長懇談會ニ願ヒマス

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

ソレデハ速記ハ後デ御呼ビシマス

午後二時二十一分懇談會ヲ移ル

午後二時四十五分懇談會ヲ終ル

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

ソレデハ懇談會ヲ閉ヂマシテ開會イタシマス、本日ハ此程度ニ止メマシテ、次回ハ明後十八日午後一時半ヨリ開會イタシマス、デハ散會イタシマス

三月十八日

委員長(侯爵佐佐木行忠君)

開會イタシマス

馬場鉄一君

本日ハ總理大臣ノ御出席ヲ得マシタズ、御質問ヲ致シタイト思ヒマス、今回ハ衆議院提出ノ議院法中改正法律案ハ豫ネテ衆議院ニ於テ議會振興各派委員會ヲ研究セラレマシテ、可ナリナリニテヲ費シテ成案ヲ得ラレ、而シテ法律案トシテ衆議院ヨリ提出ニ相成ツタメデアリマス、豫ネテヨリ議會振興各派委員會ニ於テ作ラレマシタ議會振興要項ナルモノハ、衆議院ヨリノ内議ニ基キマシテ、貴族院ニ於キマシテモ、非公式ト申シマスルカ、半公式デアリマスルカ、各派ヨリソレノ委員ガ出マシテ研究ヲ遂ゲツ、アツタ譯デアリマス、而シテ今回會議院法中改正法律案トシテ、衆議院ニ於キマシテハ、全會一致此案ヲ貴族

院ニ送付イタシマシタニ付キマシテハ、貴族院ト致シマシテモ、餘程慎重ニ之ヲ扱セマセヌケレバ相成ラヌ筋合ヒト考ヘマシテ、同僚諸君ト熱心ノ研究ヲ遂ゲツ、アツタ譯デアリマス、而シテ政府ヨリモ、此案議院案ニ付テハソレノ研究セラレマシテ、賛成ノ點、或ハ不賛成ノ點、尙ホ大イニ講究スベキ點ト云フヤウナコトハ先般御示シニナツタノデアリマスガ、翻ツテ考ヘ見マスルト云フ、議院法ノ改正案ノ如キモノハ、相成ルベキ限リハ、政府ニ於テ立案ヲセラレマシテ、樞密院ニ御諮詢ニ相成ツテ兩院ニ御提出ニナル筋合ヒノ本來、モノデハナイカト思ウヲ居リマス、ソレデ只今申上ゲマシタ如ク、衆議院ノ考ヘ此法律案トシテ現レテ居リマスシ、又貴族院ニ於キマシテハ、勿論院議ヲ以テ決シタ譯デアリマセヌケレドモ、各派ヨリ出マシタ者ガ研究ヲ遂ゲ、各派ニ於テモ其研究ヲ遂ゲタ結果ニ付テハ大體ニ異存ノナイ所デアルノデアリマス、其貴族院ノ衆議院案ニ對シマスル考ナルモノハ、半公式ニハ政府ニ於テモ御承知ニ相成ツテ居ルヤウナ譯デアリマスルノデ、私共ノ考ト致シマシテハ、此案議院ノ案竝ニ貴族院ノ大イニ政府ニ御參考ニナルベキ所謂制度調査ナルモノ、案等ヲ御參照ニ相成リマシタナラバ、自カラソコニ政府ノ立案セラルベキ筋ガ定マルモノト思フノデアリマス、カルガ故ニ斯様ナル法律案ノ先ヅ普通ノ場合ニ執ラルベキ手續ヲ執ラレマシテ、次ノ議會アタリニ此議院法ノ改正ヲ御提出ニ相成ルベキガ、最モ當ヲ得タル手段ダト私共ハ考ヘマスルノデ、政府ニ於カレマシテハ、左様ナ手續ヲ執ラルルコトニ御努力ニ相成リマスルノデアリマスルカ、或ハ政府ハ議院法ノ改正ニ付テハ、政府トシテ改正ノ必要モ認メナイカラ、議

院ガ爲スガ儘ニ委モルト云テ之ヲ御考アリラレドアアヲマシカ、其政府ノ御方針ニ此場合奉リ奉
イト存ズルノヲアリマス、其旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、ソレ故
國務大臣(子爵齋藤實君)

此問題ニ付キマシテハ、既ニ政府委員ヨリ御聽キ下サレテ、只今御話ヲ如ク政府ノ意請ヲ御承知ト奉ル
ノガアリマス、貴族院ニ於テ只今此委員會ニ於テ御考ノコトハ、海軍省ノ御考ト私ハ考ヘマス、ソレ故
ニ政府ト致シマシテモ考慮イタシテ然ルベキ事ト思ヒマスガ、何分モ此議會ハ其期日ニアリマス
スレバアリマスカラ、若シ之ヲ政府ガアルトシマスレバ、水ノ議會ト云フ外ニ任儀アリナク、本國ナ
マス、唯一面、此間衆議院ノ議長ガ來テ此問題ニ付テ本會御會々ノ御考ヲ御促シテアリマス、ソレ故
府委員カラ御承知ニナツテ居ルカ知リマスガ、ソレ故ニ此問題ニ付テドウナリマス、カト云フニ、
委員會ノ方ニモ御考ネシタカトモ思ツテ居リマス、デアリマスガ、今斯ク云フ事ヲ御話ニナリマス、
アリマスカラ、政府ト致シマシテハ、矢張り議院法ノ改正ハ其重要ナル事柄デアリマス、カ、御話ノ如キ
ヤウナ順序ニ進ムガ方ガ穩當デハナイカト思ヒマス、果シテ此委員會ノ御意請ガ其所ニアリマスレバ、
政府ト致シマシテモ考慮イタシタイト考ヘマス、其旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、
馬場鐵一君

又ノデアリマスガ、成ルベク速カナル機會、即チ次ノ通常議會迄二十分ニ御研究ヲ遂ゲラレ、貴衆兩院ノ
意ノ在所ヲ御酌取リ下サイマシテ、ソレノ手續キラ經ラレテ御提出ニナルト云フ御考ガアルモノト
承知イタシテ宜シウゴザイマス、尙ホ念ノ爲ニ御伺ヒ致シマス、本會ニ於テ散會イタシマス
國務大臣(子爵齋藤實君)

左様御承知下サツテ差支アリマス、又御考ノ御旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、
馬場鐵一君

諒承イタシマシタ、其旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、
委員長(侯爵佐佐木行忠君)

他ニ御質問ハゴザイマセヌカ、其旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、
委員長(侯爵佐佐木行忠君)

皆様ニ御話リ致シマスガ、速記ヲ止メテ御懇談ヲ願ツタヲ如何カト思ヒマスガ、御意請ヲ遂ゲラレ、
委員長(侯爵佐佐木行忠君)

ソレデハ速記ハ止メマス、其旨ニ從ヒテハ、式部省ノ御考ト私ハ考ヘマス、
委員長(侯爵佐佐木行忠君)

午後一時五十分速記中止

第六十五回議會

議院法中改正法律案(今井健彦君外六十名提出)議事經過

衆議院

昭和九年三月十九日 提出

同 年同月二十日 第一讀會ヲ開キ讀會ノ順序ヲ省略シテ原案可決即日貴族院ニ提出

貴族院

昭和九年三月二十日 衆議院ヨリ提出

同 年同月二十二日 第一讀會ヲ開キ委員ニ付託シタルモ審査ニ着手スルニ至ラス

委員長(今井健彦君外六十名提出)

第二十一號 議院法中改正法律案(今井健彦君外六十名提出)ノ審査ヲ要求スルニ至ラス

議院法中左ノ通改正ス審査ヲ要求スルニ至ラス

第一條中「四十日」ヲ「二十日」ニ改ム

第三條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各候補者ヲ選舉シ上奏勅裁ヲ請フヘシ

議長副議長ノ親任セラル、マテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フ

第七條 各議院ノ議長ハ一員副議長ハ二員トス

第十二條中「常任委員會」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員會」ノ下「及」設置委員會ヲ加フ

第十九條第一項但書ヲ削リ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

同條第三項中「官吏」ヲ「有給官吏」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム

常置委員ハ第一項歳費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ閉會中一日五圓ヨリ多カラサル手當ヲ受クハ一モ、

第二十條 各議院ノ委員ハ全院委員常任委員特別委員及常置委員ノ四類トス

第二十條ノ二 全院委員ハ議院ノ全員ヲ以テ委員ト爲スモノトス

常任委員ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ數科ニ分割シ負擔ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ一會期中其

任ニ在ルモノトス

特別委員ハ一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選舉ヲ以テ特ニ付託ヲ受クルモノトス

第二十條ノ三 常置委員ハ左ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ次ノ常會ニ於テ改選セラル、マテ其

任ニ在ルモノトス

第一 政府ヨリ閉會後引續キ審査ヲ要求シタル議案

第二 議院ニ於テ閉會後引續キ審査ヲ要スト議決シタル議案

第三 閉會中政府ヨリ審査ヲ要求シタル事項

常置委員會ハ審査スヘキ事件ノ有無ニ拘ラス政府ニ出席説明ヲ求ムルコトヲ得

第二十條ノ四 政府ハ前條第一項第三號ノ事項ニ付兩院各別ニ其ノ審査ヲ要求スルコトヲ得

第二十一條第二項中「常任委員長」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員長」ノ下ニ「及常置委員長」ヲ加フ

第二十二條中「常任委員會」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「及常置委員會」ヲ加フ

第二十三條中「全院委員會」ハ傍聽ヲ禁ス

常任委員會特別委員會及常置委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スル

コトヲ得

第二十五條 削 除

第二十六條第二項中「政府ノ同意ヲ得タルトキ」ノ下ニ「又ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタ

ルトキ」ヲ加フ

第二十八條中「政府ノ要求ニ由ルモノ」ノ下ニ「又ハ常置委員ノ審査ヲ經タルモノ」ヲ加フ

第三十條中「何時タリトモ」ヲ削リ左ノ如ク改ム

但シ兩議院ノ一ニ於テ議決ヲ經タルトキハ其ノ院ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第三十五條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ常置委員ニ付託シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 閉會ノ日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ兩議院合會ニ於テ閉院式ヲ行フヘシ

第三十八條中「議長ハ直ニ傍聽人ヲ退去セシメ」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ發議アリタル場合ニ於テ議長必要ト認ムルトキハ直ニ傍聽人ヲ退去セシムルコトヲ得

第四十一條 削除
 第四十四條中「經由シテ」ノ下ニ「國務大臣及」ヲ加フ
 第四十五條 削除
 第四十六條中「常任委員會」ノ下「又ハ」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「又ハ常置委員會」ヲ加フ
 第四十八條中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ム
 第五十二條中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ム
 第五十四條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
 兩議院之一ニ於テ議決シタル政府ノ議案ノ撤回ニ同意シタルトキハ之ヲ他ノ議院ニ通知スヘシ
 第六十四條第二項中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ム
 第六十五條中「政府ニ送付シ事宜ニ依リ報告ヲ求ムルコトヲ得」ヲ「政府ニ送付スヘシ」ニ改メ同條左ノ一項ヲ加フ
 政府ハ請願處理ノ經過ヲ毎年各議院ニ報告スヘシ
 第六十八條中「哀願ノ體式ヲ用ク」ヲ「相當ノ敬禮ヲ守ル」ニ改メ「體式ニ違フ」ヲ「體式ヲ守ラサル」ニ改ム
 第八十五條中「閉會中」ヲ削リ
 第八十七條ノ二「議長ヨリ議場外ニ退去ヲ命セラレタル者其ノ命ニ服セサルトキハ議長ハ登院停止ヲ命スルコトヲ得」

ルコトヲ得
 前項ノ登院停止ノ期間ハ三日トス
 第八十七條ノ三「登院停止ヲ命セラレタル者議院外ニ退去セス又ハ登院停止中登院シタルトキハ會期中登院ヲ停止ス」
 第八十七條ノ四「懲罰事犯ニ由リ登院停止ニ處セラレタル者議院外ニ退去セス又ハ登院停止中登院シタルトキハ前條ノ例ニ依ル」
 第九十三條中「議院又ハ委員會」ヲ「議院内」ニ改ム
 第九十五條第三項中「各委員會」ノ下「又ハ各部」及「委員長」ノ下「又ハ部長」ヲ削リ
 第九十六條第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム
 三 一定ノ期間登院ヲ停止ス
 理由
 現行議院法實施以來既ニ四十餘年ヲ閱シ其ノ規定中往往時代ノ進運ト相副ハサルモノアルヲ以テ茲ニ之ヲ改正シ登議會政治ノ發達ニ資スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ
 右議案ハ昭和九年三月十九日提出翌二十日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ開キ濱田國松君ハ左ノ趣旨辯
 第六十五回議會 今并案 第一讀會 趣旨辯明
 一一九五

關係ヲ圓滑ナラシメ、議會政治完成ノ一階梯ト致シタイト云フノガ、此制度新設ノ眼目デアリマス。世
 出ニハ吾々ノ熱望タル常置委員ノ制度ニ付テ、憲法上ノ疑義アリナド、云フ反對論ヲ承ルコトガアリマ
 ス。是レ現行議院法ニ、憲法制定ト同時ニ、繼續委員ナル制度ガ明定サレテ居ルノデアリマス。吾等ノ新ニ
 要求スル所ノ常置委員制度ハ、名ハ異ツテ居リマスガ、繼續ト云ヒ、常設ト云ヒ、議案ノ審査準備ト云ヒ、
 憲法附明ノ再検討ト云ヒ、實際ノ機能ニ於テハ、既ニ特ニ議院法ニ定ムル所ノ繼續委員ト、餘リ大差ノカ
 生モノデアリマス。之ヲ憲法上ノ疑義アリトシテ非難セラルルハ、吾々ノ解セザル所ノモノデアリマ
 ス。尙又實際政治ノ必要觀カラ申シマシテモ、之ニ付テハ既ニ定論ガアリマス。昨年ノ議會ニ於テハ、現内閣
 必有力ナル關係高橋大藏大臣ハ、造幣局工場新營ニ關スル法律案ノ委員會ニ於テ明ニ我ガ議院ニ常設委
 員ヲ設タルノ必要ヲ明言ラシテ居ラレル。高橋大藏大臣ノ言明セラレタル所ハ、議院ト云ラモノハ立法府デ
 ハアルガ、唯法律ヲ作ルト云フバカリデハイケン、矢張立法府トシテハ、准行政權ヲ有ツテ居ルト云フ
 者ヲ議テヤラナケレバ、國家ノ爲ニ十分ニ盡スコトハ出来ヌト思フ。故ニ願タル議院之中ニ財政經濟ニ付
 テハ常置委員ナドガ出来タナラバ宜シカラウト私ハ考ヘル。是等ハ何レ其時ガ來ツテハ其人ガアツテ、初メ
 テサウ云フコトモ企テラレルダラウト思ヒマス。私ハ議院ト云フモノハ、准行政權アリト云フ觀念ノ下
 ニ、國政ニ參與シテ實ニマウニナツタナラバ宜シカラウト、斯ウ云フ者ヲ有ツテ居ル云々ト述ベラレテ居ル
 ノデアリマス。洵ニ立法府ト行政府トノ間ニ於ケル微妙ナル政治關係ニ付テ、時代ノ進歩ニ伴フ透徹シタ

ル意見ヲ有セラレルモノデアルト感服ノ外ナイ譯デアリマス故ニ私ハ此場合斷言ヲ致シタイ、高橋大
 藏大臣ノ所稱時ハ、多事ナル我ガ議會政治ノ現状ガ、既ニ之ヲ要求致シテ居ルノデアリマス。高橋大藏
 大臣ノ所稱其人ハ、國民ノ代表者タル衆議院ノ全員、即チ吾々提案者、國民ノ代表ノ全部ガ既ニ之ヲ
 要求ヲ致シテ居ルノデアリマス此點ハ何卒政府モ、且又議會政治ノ完成ニ付テハ、常ニ親切ナル誠意
 ヲ拂ハル、貴族院ノ諸公モ、何卒本案ノ措置ニ付キマシテハ、熱誠ナル考慮ヲ與ヘラレンコトヲ、此場
 合ニ於テ切ニ希望ヲ致ス次第デアリマス尙ホ細目ノ一二ニ付テ簡單ニ説明ヲ致シマス、只今申述ベマ
 シタ常置委員ノ制度ガ設置セラレルニ至リマシタナラバ、議會閉會中ト雖モ、議會ノ職務ヲ激増スルト
 云フコトハ自然ノ歸趨デアリマス、之ガ爲ニ執務ノ必要上、副議長ヲ一名ニ増員セント致スノデアリマ
 ス。又常置委員ガ設置セラレルバ、繼續委員ノ必要ハナイノデアリマスカラ、隨テ之ヲ廢止セントスルノ
 デアリマス。更ニ議會ノ機能ヲ現時ノ國民生活ニ適應セシムル爲ニハ、從來ヨリハ數多ク臨時議會ヲ開會
 スルノ必要ガ起ラウト存ズルノデアリマス。故ニ議會ノ召集ニ付テモ、詔書公布ノ日ヨリ召集期日ニ至ル
 期間ヲ短縮スルコトニ、改定ヲ致シタイノデアリマス。尙ホ政黨ノ發達セル今日、院内ニ於ケル部屬ノ必
 要ハナイノデアリマシテ、既ニ告期ノ縮羊ト相成ツテ居ルノデアリマス。此有名無實ノ制度ヲ、本案ニ於テ
 廢止致シタイト存ズルノデアリマス。更ニ議會ノ機能ヲ完全ニ發達セシメ議會政治ノ實績ヲ舉グルニ付
 テハ、議會ノ威信ヲ増進シナケレバナリマセヌコトハ、申スマデモナイ譯デアリマス。是ガ爲ニ議長ノ權

限ヲ擴張スル必要ガアラウト存ジマス、改正案ニハ之ニ付テ二事ノ新ナル改正ヲ加ヘタラデアリマス、更ニ議會ノ向上ト、其信用維持ノ爲ニハ、議會ノ代表者デアリマス議長又ハ副議長ノ待遇ヲ、改善スル必要ガアラウト思フデアリマス、世界各國何レノ議院制度ヲ調ベマシテモ、我國ノ如ク國民代表ノ機關ニ對シテ、今日ノ如キ低キ待遇ヲ與ヘテ居ル國柄ハ、餘リ多ク其類ヲ見ナイト存ジマス以上ハ本案改正ノ主要ナル點ニ付テ、簡單ニ御説明申シタラデアリマスガ、此改正案ハ、昨年ノ議會中、貴族院ニ於キマシテ齋藤首相ヨリ、所謂政界ノ淨化ヲ組閣ノ一大使命トナシ、議會政治ノ振奮ヲ以テ現内閣ノ政綱トセラレル趣意ニ基イテ、當六十五議會ニハ必ズ之ヲ提出スベキ言明ヲ與ヘラレテ居ルデアリマス、然ルニ會期終了ニ近キ今日ニ至ルマデ、何故デアリマスルカ、政府ハ之ヲ提案スルノ模様ガナイノデアリマス、政府ノ提出セラレタル衆議院議員選舉法ノ改正案ハ、帝國議會構成ニ關スル外部的必要法案デアリマス、是ガ議會ニ提出セラレテ居リマスル場合ニ於テ、議會ノ内容的運用方法タル所ノ議院法ノ改正ヲ、必要トスベキハ當然ノ結果デアリマス、吾々ハ此改正ノ一日モ緊要ナルコトヲ痛感致シマシテ、茲ニ當院各派全部交渉ノ上デ、此改正案ヲ提出ヲ致シタ譯デアリマス、何卒滿場一致ヲ以テ、速ニ御決議アラントラ希望シテ説明ヲ終リマス、

工藤鐵男君ハ左ノ質疑ヲ爲シ齋藤内閣總理大臣之ニ應答ス

議長ノ仰セニ從ツテ、成ベク總理大臣ニ徹底スルヤウニ、近間ニ於テ質問ヲ申上ゲマス、本案ノ重要ナルコト、竝ニ極メテ可能的經過ノアツタト云フコトハ、濱田君ガ提案ノ趣旨辯明ニ依ツテ明瞭デアリマスルカラ、間近ニ居リマスル總理大臣モ、十分ナル御諒解ノアツタコト、思フノデアリマス、前議會ニ於テ言明シタニ拘ラズ、會期切迫セルニ拘ラズ、尙ホ本議場ニ此案ノ現ハレ來ラザルコトヲ、洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、總理大臣ハ昨年御言明セラレマシタル、本院ノ意思ニ基イテ、政府案トシテ今期議會ニ速ニ御提出ニ相成ル御意思アリヤ否ヤ、又其御意思ガアルトシタナラバ、何時マデニ御出シニナルノデアルカ、是ガ第一點、又折角手續中デアルガ、果シテ此議會ニ間ニ合フコトガ出來ルカドウカニ付テ危ンデ居ルナラバ、其手續ヲ執ツテ居ル經過ノ御詳細ヲ承リタイノデアリマス、會期モ切迫シテ居リマスルシ、本案ヲ委員會ニ付スルヤ否ヤ、又之ニ對シテ十分討論審議シナケレバナラヌ重大ナル案デアリマスルカラ、前議會ニ既ニ盡サレテ居ルトハ申シナガラ、政府ノ御態度如何ニ依ツテハ、此審議上相當ノ影響ガアリマスルカラ、特ニ此點ヲ總理大臣ニ御質問ヲ申上ゲマスルカラ、ドウゾ御遠慮ヲ十分ニ御心事ヲ披瀝アラントラ特ニ希望致シマス

齋藤内閣總理大臣ノ應答

貴族院改訂案大ニ此議院法改正案ニ付キマシテノ趣旨ハ、既ニ濱田君ヨリ詳細ニ御述ニナリマシタ通りデアリマシテ、政府ニ於キマシテハ、此本案ノ或ル諸點ヲ研究致シマシテ、本議會ニ提出スル意思ヲ以テ進ミ來タキアリテシタノデアリマス、然ルニ政府ノミテ決メルコトガ出來ナイコトハ、御承知ノ通りデアリマシテ、ハコト決定ニ至ツテ居リマシマス爲ニ提出致シ兼ネタ、ソレデ洵ニ遺憾ナガラ、本議會ニ於テ政府ノ持ヘマシタ議院法改正案ハ、出シ兼ネルト考ヘテ居リマス、洵ニ遺憾ノ至リデアリマスガ、手續上未結了ノ爲ニ左様ナ状態ニアリマスト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、

夫大本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ全會一致原案ヲ可決シ即日貴族院ニ提出ス、

昭和九年三月二十二日日本案ノ第一議會ヲ開キ政府提出案議院議員選舉法中改正法律案委員ニ伊ヲ付託スルニ決シタルモ委員會ハ審査ニ着手スルニ至ラス

貴族院ニ於ケル議事ノ經過

(委員長) 侯爵佐佐木行忠君
(副委員長) 子爵前田利定君

侯爵松平康昌君

伯爵酒井忠正君

子爵渡邊千冬君

子爵岡部長景君

織田萬君

男爵東久世秀雄君

松村真一郎君

岡喜七郎君

伊澤多喜男君

川崎卓吉君

塚本清治君

山川端夫君

男爵黒田長和君

男爵今國貞君

男爵矢吹省三君

男爵伊江朝助君

宮田光雄君

馬場鉄一君

古島一雄君

貴州淵高鳥順作君

久米田新太郎君

濱口儀兵衛君

同 青木才次郎君

昭和三十二年三月二日 提出

衆議院

議院中第五十五回議會(前田米森君第五十五回提出)議事録

第六十五回議會

第六十五回議會 衆議院案 貴族院第一議會 委員付託

同條第三項中「官吏」ヲ「有給官吏」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム

常置委員ハ第一項歳費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ閉會中一日五圓ヨリ多カラサル手當ヲ受テ日々ハ

第二十條 各議院ノ委員ハ本院委員常任委員特別委員及常置委員ノ四類トス

第二十二條ノ二 本院委員ハ議院ノ全員ヲ以テ委員ト爲スモノトス

常任委員ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ數科ニ分割シ負擔ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ一會期中其

特別委員ハ一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選舉ヲ以テ特ニ付託ヲ受クルモノトス

第二十條ノ三 常置委員ハ左ノ事件ヲ審査スル爲ニ議院ニ於テ選舉シ次ノ常會ニ於テ改選セラルハマテ其

任在ルモノトス

第三十一條 政府ヨリ閉會後引續キ審査ヲ要求シタル議案ハ

第二十二條ニ於テ閉會後引續キ審査ヲ要求シタル議案

第三十二條 閉會中政府ヨリ審査ヲ要求シタル事項

常置委員會ハ審査スヘキ事件ノ有無ニ拘ラス政府ニ出席説明ヲ求ムルコトヲ得

第二十條ノ四 政府ハ前條第三項第三號ノ事項ニ付兩院各別ニ其ノ審査ヲ要求スルコトヲ得

第二十一條第二項中「常任委員長」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員長」ノ下ニ「及常置委員長」ヲ加フ

第二十二條中「常任委員會」ノ下「及」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「及常置委員會」ヲ加フ

第二十三條中「本院委員會」ハ傍聽ヲ禁ス

常任委員會特別委員會及常置委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スル

第三十條ヲ得與照照ノ辭裁マ 第三十條ニ附書スヘシ

第二十五條 削 除

第二十六條第二項中「政府」ノ同意ヲ得タルトキハ「下」ニ「及」ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタ

ルモノトシ「加フ」ニ「三十人」モ「二十人」ニ改ム

第二十八條中「政府」ノ要求ニ由ルモノハ「下」ニ「及」ハ常置委員ノ審査ヲ經タルモノヲ加フ

第三十條中「何時タリトモ」ヲ削リ左ノ如ク改ム

第三十五條但書ヲ左ノ如ク改ム

第三十六條 閉會ノ日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ兩議院合會ニ於テ閉院式ヲ行フヘシ

第三十八條中「議長ハ直ニ傍聽人ヲ退去セシメ」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ發議アリタル場合ニ於テ議長必要ト認ムルトキハ直ニ傍聽人ヲ退去セシムルコトヲ得

第六十七回議會 前因案

一三〇七

第四十一條 削除 混合ニ於テ議決ニ要スル多數ハ直ニ選舉人ニ委注サレムルコトヲ得
第四十四條中「經由シテ」ノ下ニ「國務大臣及」ヲ加テ「同議ニ決スル」ニ改ム

第四十五條 削除 混合ニ於テ議決ニ要スル多數ハ直ニ選舉人ニ委注サレムルコトヲ得
第四十六條中「常任委員會」ノ下「又ハ」ヲ削リ「特別委員會」ノ下ニ「又ハ常置委員會」ヲ加フ

第四十八條中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ム
第五十二條中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ムキハ其ノ詞ハ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
兩議院ノ一ニ於テ議決シタル政府ノ議案ノ撤回ニ同意シタルトキハ之ヲ他ノ議院ニ通知スヘシ

第六十四條第二項中「三十人」ヲ「二十人」ニ改ム
第六十五條中「政府ニ送付シ事宜ニ依リ報告ヲ求ムル」ト得「政府ニ送付スヘシ」ニ改メ同條左ノ一項ヲ加フ

政府ハ請願處理ノ經過ヲ毎年各議院ニ報告スヘシ
第六十八條中「哀願ノ體式ヲ用ク」ヲ「相當ノ敬禮ヲ守ル」ニ「體式ニ違フ」ヲ「體式ヲ守ラサル」ニ改ム

第八十五條中「開會中」ヲ削ル
第八十七條ノ二「議長ヨリ議場外ニ退去ヲ命セラレタル者其ノ命ニ服セサルキハ議長ハ登院停止ヲ命ス

ルコトヲ得

前項ノ登院停止ノ期間ハ三日トス

第八十七條ノ三 登院停止ヲ命セラレタル者議院外ニ退去セス又ハ登院停止中登院シタルトキハ會期中登院ヲ停止ス

第八十七條ノ四 懲罰事犯ニ由リ登院停止ニ處セラレタル者議院外ニ退去セス又ハ登院停止中登院シタルトキハ前條ノ例ニ依ル

第九十三條中「議院又ハ委員會」ヲ「議院内」ニ改ム
第九十五條第三項中「各委員會」ノ下「又ハ各部」及「委員長」ノ下「又ハ部長」ヲ削ル

第九十六條第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム
三ノ一定ノ期間登院ヲ停止ス

理由 由
現行議院法實施以來既ニ四十餘年ヲ閱シ其ノ規定中往々時代ノ進運ト相副ハサルモノアルヲ以テ茲ニ之ヲ改正シ益シ議會政治ノ發達ニ資スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

右議案ハ昭和十年三月二日提出同月六日第二讀會ヲ開キ贊成者植原悦二郎君ハ左ノ趣旨辯明ヲ爲ス

私ハ茲ニ諸君ノ御許ヲ得マシテ、衆議院ニ於ケル各黨各派各員ヲ代表シ、只今上程セラレマシタル議院法中改正法律案提案ノ趣旨ヲ説明シヨウト思ヒマス、暫ク御清聴ヲ煩シマス、申ス迄モナク本案ハ、衆議院各派ノ代表者ニ依ツテ周到ナル調査研究ヲ遂ゲラレ、成案サレタモノデアリマス、其結果第六十四議會ニ於テハ初メテ是ガ提案セラレ、衆議院ハ滿場一致之ヲ可決シ、貴族院ニ送付致サレマシタ、當時貴族院ニ於テハ之ヲ審議シ、其審議ノ途上一部ノ者ガ、本家中ニ規定セル常置委員ノ設置ニ付キ、或ハ憲法上疑義ヲ有スルモノニ非ザルカノ如キ説ヲ爲シマシテ、此審議ニ付キ熱意ヲ示サズ、遂ニ本案ハ審議未了トナリマシタ、御承知ノ如ク現行議院法ハ憲法附屬ノ法律トシテ、憲法ト同時ニ發布サレタモノデアリマスガ、此議院法中ニ繼續委員ノ設置ヲ認メテ居リマス、常置委員ト繼續委員トハ、範圍ニ於テ差アルモ、其趣意ハ一デアリマス、随ツテ憲法上ノ疑義ノ如キハ自ラ氷解スルモノト私ハ確信致シテ居リマス、而シテ衆議院ハ再ビ本案ヲ第六十五議會ニ提出シ、滿場一致之ヲ可決シ貴族院ニ送付致サレマシタ、此際貴族院ハ本案ニ付キ政府ノ所見ヲ質シマシタ、當時齋藤首相ハ、本案ニ付テハ政府モ亦考慮スル旨ヲ聲明セラレタノデ、貴族院ハ之ニ基キ本案ノ審議ヲ未了ニ付シタノデアリマス、諸君、本案ハ既ニ一回衆議院ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決サレテ居リマス、今回ハ第三回目ノ提案デアリマス、英國ニ於テハ、如何ナル法律案モ三回引續キ衆議院ヲ通過スレバ、貴族院ノ同意ヲ得ルコトナシニ 陛下ノ御裁可ヲ經テ直チニ法律トシテ公布サレ得ルノデアリマス、是ガ立憲國ニ於ケル民意ノ暢達ト申スモノデアリマス我國ニ於テモ國民ノ意思

ヲ組織的ニ代表シ、之ヲ表現シ得ルモノハ、獨リ衆議院アルノミデアリマス、随ツテ衆議院各黨各派各員一致ノ意見ハ、即チ國民ノ意思ノ代表、國民ノ綜合意思ト解釋スベキモノデアリマス、本案ニ付キ政府ハ宜シク之ヲ玩味セラルベキデアリマス、本案ニ於テ、現行議院法ヲ改正セントスル主ナル點ハ、大體四點ニ歸著致シマス、即チ第一ハ部屬ノ廢止デアリマス、現在政黨派ノ發達ニ依リ、部屬ノ存在ハ殆ド其意味ヲ失ウテ居リマスルガ故ニ、此形骸ヲ除去セントスルモノデアリマス、第二ニハ議會召集期日ノ短縮デアリマス、現時ノ複雑ナル國民生活ニ議會ノ機能ヲ適應セシメ、從來ヨリ一層屢、臨時議會ノ召集ヲ必要トスルコトハ論ヲ俟タヌ所デアリマス、而シテ國內ノ交通機關モ著シク發達致シマシテ、隨テ議會召集詔書公布ノ日ヨリ召集日マデ、現行法ノ如ク四十日ノ期間ヲ設クル必要ナク、之ヲ二十日間ニ短縮セントスルノデアリマス、第三ハ常置委員設置ト副議長ノ増員、第四ハ正副議長ノ待遇改善デアリマス、此二點ニ付キマシテハ、私ハ吾々ノ主張ヲ此場合ニ更ニ闡明シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、言フ迄モナク日本帝國ノ國體ヲ擁護シ、時代ノ進運ニ伴ヒ、國家民人ノ福利ヲ増進セントスレバ、先ヅ我ガ建國ノ精神ニ則リ、帝國憲法ノ章條ニ照シ、君民一致ノ政治ノ實現ヲ期サネバナリマセヌ、是ニハ憲政運用ノ圓滑ヲ圖ルコトガ、何ヨリモ先決問題デアリマス、御承知ノ如ク現行議院法ハ帝國憲法ト同時ニ發布サレタモノデ、謂ハハ憲法附帶ノ一重要法令デアリマス、憲法ハ帝國不磨ノ大典、之ヲ改訂スルコトハ容易デアリマセヌ、又是ハ容易ク爲スベキモノデモナイノデアリマス、然ルニ國運ノ進歩發達ハ實ニ顯著ニシテ、驚クベ

キ快速力ヲ有シテ居リマス、隨テ此國運ノ進展ニ國政ヲ順應セシメントスレバ、憲法ノ圓滑ナル運用ヲ圖ル爲ニ、憲法附帶ノ法令ヲ、必要ニ應ジテ逐次改訂シ、以テ時代ノ進運ニ適從セシメネバナリマセヌ過去四十年間、選舉法ガ屢改正セラレマシタノハ、蓋シ是ガ爲ニ外ナラヌノデアリマス、憲政創始以來四十有餘年間、此間我が帝國ノ領土ハ著シク擴張セラレ、人口ハ約三倍ニ激増シ、衆議院議員ノ數モ亦三百名ヨリ四百六十六名ニ増加致シマシタ、實ニ驚クベキ國力ノ進展ニシテ、産業經濟ノ發達モ亦然リデアリマス、而シテ國民生活ハ政治上、經濟上、社會上、極メテ複雜多岐ノモノトナリマシタ、隨テ幾多ノ法律案ハ、各議會毎ニ實ニ山積シテ居リマス、而シテ第一回帝國議會ニ於テ審議サレタル我國ノ財政計畫、即チ總豫算ハ八千三百餘萬圓デアリマシタガ、最近是ハ二十億圓ヲ遙ニ突破シテ居リマス、然ルニ議會ノ會期ハ依然トシテ三箇月、此短期間ニ於テ是等各案ノ審議檢討ヲ慎重ナラシムルコトハ、殆ト不可能デアリマス、併シ既ニ申上ダタ通り、憲法ノ改正ハ容易ク企テ得ルモノデアリマセヌ、故ニ時代ノ進運ニ伴ヒ、憲法附帶ノ法律及制度ヲ改訂シテ、議會ノ機能ヲ全カラシメ、國民生活ニ順應スベキ政治ノ實現ヲ期スルニ遺憾ナカラシメネバナリマセヌ是ガ吾々ノ最モ重要視スルモノハ常置委員ノ設置デアリマス、現下ニ於ケル複雜ナル國際關係、多岐ナル國民生活、纏綿セル産業及經濟組織、急速度ニ變化變遷シツ、アル社會狀態等ニ適應スル國家ノ諸施設、諸政策、政治工作ノ實現、及ビ法律制度ノ制定ニ付キ、議會ト政府トノ折衝ガ、僅々

三箇月ニシテ國民ト政府トノ間ニ十分ナル諒解ヲ遂ゲシメ、國策ノ圓滿ナル實施ヲ圖ラントスルコトハ、殆ト人事ノ能ク爲シ能フ所デアリマセヌ、然ルニ議會ノ會期ハ憲法ニ依リテ一箇年中唯三箇月間ニ限定セラレ、臨時議會ノ召集モ亦簡單ニハ參リマセヌ、我が議會制度ノ此缺陷ヲ補フ爲ニ、吾々ハ差當リ常置委員ノ設置ヨリ外ニ良策ナシト考フル者デアリマス、常置委員ノ組織ハ各黨各派ヲ網羅シ、其代表者ヲ以テ之ヲ構成シ、議會閉會中ニ於キマシテモ常ニ政府ト折衝シ、其國策遂行ニ付キ意思ノ疏通ヲ圖リ、議會ノ機能ヲ全カラシムベク、基礎工作ニ寄與アラシメントスルノデアリマス、而シテ吾々ハ之ニ依ツテ議會短期ノ缺陷ヲ補ヒ、議會ト政府トノ關係ヲ圓滑ナラシメ、議會政治完成ノ一階梯タラシメ得ルコト、信ズルノデアリマス、勿論常置委員ガ設置サレ、バ、議會閉會中ト雖モ議會ノ職務ハ激増致シマス、是ガ爲メ副議長ヲ一名増員セントスルノデアリマス、又常置委員ガ設置サレ、バ、繼續委員ノ必要ハアリマセヌ、隨テ是ハ廢止サレルコトニナリマス、更ニ議會政治ノ實績ヲ舉ゲルニ付テハ、議會ノ品位ト威信トヲ一層向上セシメネバナリマセヌ、是ガ爲メ議長ノ權限ヲ擴張スルノ必要ヲ感ジ、其規定ヲ定メ、議會ノ品位ト威信トノ向上ニ付キ、先ヅ議長及副議長ノ待遇改善ノ條項ヲ設ケタノデアリマス、世界各國何レノ國ニ於テモ、國民ノ代表機關ニ對シテ、我國ノ如キ低キ待遇ヲ與ヘテ居ル類例ハアリマセヌ、形ハ品位ト威信保持トノ一ツノ根源デアリマス、之ヲ具備セシメズシテ、唯品位、威信ノミヲ保持セヨト要求スルコトハ無理ナル注文デアリマス、議會ト内閣ハ國家機關ノ雙壁デアリマス、然ルニ我國現行制

度ノ下、是等兩者ノ待遇ニ甚シク懸隔ガアリマス、是ハ舊來ノ官尊民卑ノ弊風ノ痕跡デアリマス、隨テ國民ノ間ニ於テハ、動モスレバ國民自身ノ代表機關タル議會ヲ輕視セントスル傾向ガアリマス、是ハ確ニ憲政有終ノ美ヲ濟ス途上ニ於ケル一ツノ障礙デアリマスコトヲ吾々ハ痛感致ス者デアリマス、故ニ是ガ是正ヲ企テタノデアリマス、凡ソ立憲國ニ於テ國策ヲ樹立シ、是ガ遂行ノ任ニ當ル者ハ内閣ト議會トデアリマス、聞ク所ニ依レバ現内閣ハ國策檢討ノ爲ニ、内閣審議會ナルモノヲ設置セント計畫シツ、アルトノコトデアリマス、吾々ハ會期僅カ三箇月ニ限定サレテ居ル議會ガ、常置委員ヲ設ケ、常ニ政府ト折衝シ、意見ノ疏通ヲ圖リ、共ニ國策ヲ檢討シ、其遂行ヲ圓滑ナラシムルコトハ、議會政治運用上更ニ大ナル效果ノ存スルモノト確信致シテ居ルデアリマス、茲ニ特ニ政府ノ注意ヲ喚起致シマス、以上ハ本案提案ノ理由ノ説明デアリマス、何卒滿場一致御賛成アラント切望致シマス

次テ本案ハ議會ノ順序ヲ省略スルニ決シ岡田内閣總理大臣ハ左ノ政府ノ意見ヲ述フ
 議院法中改正法律案ハ、種々ノ事項ニ互ツテ居リマシテ、其中ニハ比較的解決シ易キ事項モアリマスガ、又關係スル所廣クシテ、特ニ慎重ノ研究ヲ要スル事項モアルト存ジマス、殊ニ常置委員會ノコトハ、憲法上議會ニ會期ノ制ガアルコトニ顧ミマシテ、法律上モ、政治上モ色々ト考ヘネバナラス所ガアリマスカラ、本法律案ニ付キマシテハ篤ト研究ヲ盡シタイト思ヒマス

採決ノ結果本案ハ全會一致原案ヲ可決シ即日貴族院ニ提出ス

貴族院ニ於ケル議事ノ經過

大正十年三月十三日本案ノ第一讀會ヲ開キ左ノ十五名ノ委員ニ付託ス

- | | | |
|------------------|------------|------------|
| 侯爵西 郷 從 德君 | 侯爵松 平 康 昌君 | 伯爵二 荒 芳 德君 |
| (委員長)子爵前 田 利 定君 | 子爵大河内輝耕君 | 子爵岡 部 長 景君 |
| 織 田 萬君 | 男爵東久世秀雄君 | 塚 本 清 治君 |
| (副委員長)男爵黑 田 長 和君 | 黑 崎 定 三君 | 男爵德 川 喜 翰君 |
| 古 島 一 雄君 | 三 木 與 吉 郎君 | 岩 崎 清 行君 |

委員會ニ於ケル經過

委員長(子爵前田利定君)

是ヨリ議院法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、總理大臣ハ本日極メテ御繁劇ノヤウデアリ
マスカラ、總理大臣ニ對シマスル御質疑ヲ先ニ願ヒタイト思ヒマス、其前ニ何カゴザイマスカ
子爵大河内輝耕君

質問イタシテモ宜シウゴザイマスカ

委員長(子爵前田利定君)

宜シウゴザイマス

子爵大河内輝耕君

ソレデハ總理ニ質問イタシタイノデゴザイマスガ、其前ニチヨット法政局長官カラ、法律上ノコトヲ御答
ヲ得テ置カナイト、先ニ進ムノニ工合ガ惡イノデ、甚ダ何デスガチヨット伺ヒタイ、今期議會ノ會期ヲ延長
シヤウト云フ意味デハ私決シテアリマセヌケレドモ、斯ウ云フ議院法中改正法律案ノ常任委員ト云フヤ
ウナ制度ガ起ツテ來ルノハ、起ツテ來ルダケノ理由ガアルト思フノデス、ソレハナゼカト云フト、餘リ會
期ガ短イノデ、十分審議スル暇ガナイカラ、斯ウ云フコトガ起ツテ來ル、ソレデ私ガ前ニ當局カラ伺ツタ
所ニ依リマスト云フト、會期ハ延長シテモ差支ナイドコロヂヤナイ、四月ニ掛カツテ年度ヲ越
シテモ構ハナイ、但シ本豫算ダケハ年度内ニ成立タナケレバナラヌ、其點ヲ條件トスレバ、會期ハ延長シ

テモ構ハナイ、年度後ニ互ツテモ構ハナイト云フ風ニ伺ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマ
スカ、法制局長カラ伺ヒタイ、法律上ノ見解デス

政府委員(金森徳次郎君)

法律上ノ見解ト致シマシテ、政府トシテ固ヨリ其問題ヲハツキリ決メタト云フコトハゴザイマセヌガ、私ト
シテ一應申上ゲ、アトデ間違ツテ居リマスレバ總理大臣カラ訂正ヲ願ヒマスガ、私ノ考ヘテ居リマスノハ、
議會ハ、三箇月ノ會期制度ニナツテ居リマシテ、ソレガ常則ト定マツテ居ル譯デアリマス、固ヨリ會期延
長ノ途ハ憲法ノ上ニ認メラレテ居リマスケレドモ、常例的ニ會期ヲ延長スルト云フコトハ、憲法ガ會期制
度ヲ定メテアル精神ニ願ミマシテ、決シテサウ云フコトガ直チニ宜イトハ斷言スルコトハ困難デアラウ
ト存ジマス、ソレデ今チヨット仰セニナリマシタヤウニ、例ヘバ會期ガ三月ヨリモ後ニナツテモ宜イデハ
ナイカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、是ハ從來カラ一ツノ考ヘ方ガアリマシテ、此議會ヲ十二月ノ末ニ召
集セラレマスルガ故ニ、慣例ト致シマシテ、一月ノ初ノ二十日バカリハ實際議會ガ開カレナイ状態ニナル
ノデアリマス、此二十日バカリノ休會ヲ無クシテ、專口議會ヲ一月ノ二十日頃ニ召集セラレルコトニナリ
マスルト、會期ヲ三箇月、ソレカラ取りマスルト、結局ソレガ四月ノ二十日頃迄ニナル譯デアリマス、サウ
致シマスルト議會ガ本當ニ三箇月ノ會期ヲ、實際上行ハレ得ルコトニナルト考ヘラレマス、サウ云フ風
ニシタラドウカ、斯ウ云フ議論ガ世上ニ論セラレテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト

三月ヲ跨イテ四月マデ會期ガアルヨトニテサマズルガ、ソレハドウデアラウカト云ヘバ、ソレハ豫算ニ付キマシテハ三月一杯デナケレバ、困リマセウケレドモ、其外ノモノニ付キマシテハ、必シモ其限リニアラズ、斯ウ云フ議論ガ世ノ中ニ大アリマシテ、政府ト致シマシテハ、嘗テサウ云フ者ヘ方ガ果シテ成立シ得ルモノデアラウカト云フコトヲ研究シタコトハゴザイマス、政府ト申シマシテモ、ソレハ私共ノ所管シテ居ル官廳ノ内部デ研究ヲ致シタノデアリマス、併シ其時ニ段々考ヘテ參リマスルト、帝國議會ハ毎年一回之ヲ召集シナケレバナラナイノデアリマス、昨年開カルベキ議會ヲ今年ニ開タト云フコトハ、實際ノ手續上容易ニ解決シ難キモノガアリマシテ、先ヅ其點ニ於テ此考ハ非常ニ困難ナ問題デアル、斯ウ云フ風ニ私共研究ヲシタ過去ノ實際ノ事情ガアルノデアリマス、ソレヲ御答イタシテ置キマス

子爵大河内輝耕君

只今ノ御答デ能ク分リマシタ、詰リ今更議會ハ延長ト云フコトハ、容易ニスベキコトデハナイ、又成程開會ヲ一月ニスレバ、大變ニ宜イノダケレドモ、憲法ノ點カラドウモムヅカシイヤウニ思ハレルト云フコトデハ、ソレハ成程御考ノ通りデ私モ至極贊成ヲ致スノデアリマス、併シ會期延長ハ溢ニ出來マセヌケレドモ、愈、仕方ガナカツタナラバ、憲法ニ認メラレテ居ルノデスカラ、此議會ヲヤレト申スノデアリマセヌガ、抽象的ノ話ト致シマシテ、政府デ御ヤリニナツテ差支ナイト思フ、ドウモ會期末ニナツテドンノヤツテ吳レト催促ヲ受ケル、夜迄モヤレナンテ、サウシテ言ヒタイコトモ言ヘズニ通シテシマフ、慎重審

議セヨト云フノハ、詔勅ハ誠ニ長多イコトデスカラ申シマセヌガ、兎ニ角サウ云フ詔勅ヲ總理大臣ガ奏請サレテ居ルノデスカラ、奏請サレテ居ル以上ハ、我々モ其總理ノ意思ヲ體シテ、政府ノ意思ヲ體シテ、十分慎重審議シタイト思フノデスケレドモ、甚ダ恐縮ナ話ダケレドモ、連モソレドコロノ騒ギデハナイ、色々ナ問題ガ湧イテ來テ、アツチモコツチモヤルト云フヤウナ風デ、會期切迫ノ時ニナルト、鶉吞ミニ通シテシマツテ、後デ困ツタコトヲシタト云フコトガ始終アル、少シ會期延長ニ付テハ緩ヤカニ御考ヘニナツテ、危ケレバ何時デモ平然トシテ會期ヲ延長スル、法律案ノ成立並ニ追加豫算ノ成立ハ四月カラ先デモ構ハナイト云フヤウニ肚ヲ決メテ御ヤリニナレバ、政府モ、審議ノ上ニモ便宜ダラウト思ヒマス、其點總理大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

國務大臣(岡田啓介君)

是ハドウモ憲法其他ニモ關係シマヌコトデ、私ガ御答ヘスルヨリハ、法制局長官カラ御答ヘシタ方ガ宜イト思ヒマス

子爵大河内輝耕君

チヨウト總理ニ御確メ致シテ置キマスガ、法律ノ見解デハ年度後ニ跨ツテモ宜イト云フヤウナ法制局長官ノ御答辯デス、ソレヲ前提トシテ政府ノ全體ノ方針トシテ、モウ少シ緩ヤカニ御考ヘニナツテハドウカト云フ氣持ヲ御尋ネ致シタイ、併シ法制局長官カラノ御答デモ一向差支アリマセヌ、決シテ法律ノ見解

ヲ總理大臣ニ伺ツテ居ル譯デアリマセヌ。此等ノ事ハ、法律案等ノ協賛
政府委員(金森徳次郎君) 從來ノ例ト致シマシテモ、議會ノ會期ガ四圍ノ事情カラドウシテモ延長シナレバ、程ヨキ法律案等ノ協賛

ガ得ラレナイト云フ見極メノ付キマシタ場合ニハ、會期ヲ延長アラセラル、ヤウナ手續ヲ政府ニ於テ執
ツテ居リマスルコトハ、是ハ周知ノコトデアリマシテ、時ト場合ニ依ツテ適當ナル措置ヲ講ズルヨリ外ニ
御答ヘスル途ハナイト實ハ思ツテ居リマス。此等ノ事ハ、法律案等ノ協賛
子爵大河内輝耕君

只今ノ御答デ能ク分リマシタ、私ニハ能ク分ツテ居ル、尙ホ此點ハ總理ニ十分御研究ヲ希望シテ置キマス
男爵黒田長和君

チヨット其點ニ付テ只今曖昧ニ伺ヒマシタガ、會計年度ヲ越エテ延長ト云フコトハ、差支ナイト云フ御考
デアリマスカ、如何デアリマスカ。此等ノ事ハ、法律案等ノ協賛
政府委員(金森徳次郎君)

是ハ非常ニ正確ニ研究ヲシタコトハアリマセヌ、私ノ申上ゲマスルコトガ何處カニ誤ヲ含ンデ居ルカモ
知レマセヌガ、極ク學究的ナ考ヘ方カラ申シマシテ、議會ノ會期ハ何モ會計年度ニ直接拘束セラル、コト
ハナイデアラウト考ヘテ居リマス、唯豫算ニ關シマシテハ、會計年度ヲ越エテマデ豫算ガ議定セラレマセ

ヌケレバ、豫算ノ手續ハ十分ニアルコトヲ得ナイ譯デス、詰リ前年度豫算ヲ執行スルト云フ手續ニ及バナ
ケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレダケガ、純學理的ニ申シマシテ、會計年度内ニドウシテモ議セラレ
ナケレバナラナイ問題ト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シ其外ノモノニ付キマシテハ、會計年度ノ後ニ於キ
マシテモ、例ヘバ臨時議會ガ召集セラル、ト云フヤウナコトガアリマスルコトニ願ミマシテモ、普通ノ法
律等ニ付キマシテハ、絶對ニイケナイト云フ原理ハ成立タナイヤウニ考ヘテ居リマス、若シ間違ガアリマ
シタラ、又一ツ御教ヘテ願ヒタイト思ヒマス。

男爵黒田長和君

先程法制局長官ノ御口カラ、憲法上議會ハ毎年一回開クコトヲ必要トスルト云フ御話デアリマシタガ、ソ
レニ依ツテ考ヘマスレバ、毎年ト云フノハ會計年度ノコトダラウト思ヒマス、而シテ會期ノ延長サレタ部
分ト云フモノハ、其議會ノ一部分ト見カケレバナラヌト思フ、ソレガ次ノ年度ニ跨ルト云フコトニナルト、
一ツノ議會ガ二年ニ跨ル譯デアアル、一年ニ一回ト云フコトヲ正確ニ嚴密ニ申スト、ドウモ少シ不適當チヤ
ナイカト云フ風ニ考ヘラレマスガ、先程法制局長官ガ一年ニ一回ト云フコトヲ引用サレタノハ、サウ云フ
意味チヤナカツタカト私了解シタノデアリマスガ、今伺ツテ見ルト、サウデハナカツタヤウデアリマス
ガ、政府ハドウ云フ御考デアリマスカ。此等ノ事ハ、法律案等ノ協賛
政府委員(金森徳次郎君)

ドウモ實ハ未ダ會ツテ類例ノナイ事柄デアリマシテ過去ノ先例ニ照シテ是非ヲ決定スルト云フ途モ出來
 マセ文、本當ニ只今斯ク考ヘテ居ルト云フ、實ハ理論上ノコトニナツテ居リマシテ、幾多ノ誤ヲ包藏スル
 コトガアラハシチイカド虞レテ居リマスガ、マア私共ガ從來色々ナ學說及實際ヲ綜合シテ考ヘテ參リマ
 シテ、年ニ一度ト云フコトハ、言葉通テ二年ニ一度ト云フコトデアアル、從ツテ毎年一回議會ヲ召集シ、其會
 期ハ三箇月デチケレバナラヌト云フコト迄ハ、ハツキリ決マツテ居リマスケレドモ、其會期ガ偶、延長セラ
 レタ結果ト致シマシテ、四月ニ互ルコトガアリマシテモ、少クトモ憲法ノドコノ規定ニモ違反スルト云フ
 ヤウナコトハ、實ハ氣ガ付イテ居リマセヌデ、尙ホ研究ハ致シマスガ、只今ノ所ハサウ云フ風ニ思ウテ居
 男爵黒田長和君

私ハ其點ハ餘程研究ヲ要スルコトト思フノデアリマスガ、私ノ質問ハ是ダケデアリマス
 委員長(子爵前田利定君) 此際御尋ヲサレル方ハドウゾ願ヒマス、少クモ憲法ノドコノ規定ニモ違反スルト云フ
 總理大臣ニ此際御尋ヲサレル方ハドウゾ願ヒマス、少クモ憲法ノドコノ規定ニモ違反スルト云フ

侯爵松平康昌君 此議院法中政正法律案ハ此前第六十四議會ニ、矢張り貴族院ニ廻ツテ參リマシテ、貴族院ノ委員會デ政
 府當局ニドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ質問ガアツタト私ハ考ヘテ居リマス、其時ニ衆議院ハ之ヲ

通シテ來タケレドモ、政府ハ只今ノ場合反對意思ヲ表明サレタヤウニ見エルガ、ソレハ併シドウ云フ意味
 デアルカト云フコトヲ、其時ニ或ル委員ノ方ガ質問サレテ居ル、其時ニ政府委員ノ方カラ、政府モ考ヘテ
 ハ居ルノダケレドモ、色々ノ事情デ考ガ纏マラナイ中ニ衆議院ヲ通ツテコチラニ廻ツテ來タト云フヤウ
 ナ御答ガアツタヤウニ記憶シテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ、時ノ總理大臣ガ將來政府デ此問題ヲ眞面
 目ニ考究スルカドウカト云フ質問ニ對シテ、研究ヲシテ大イニ考慮ヲ拂フ積リダト云フ答辯ヲシテ居ラ
 レルヤウニ私ハ見エルノデアリマスガ、其後内閣ハ更リマシタケレドモ、此議院法ニ對シテ現内閣ハ果シ
 テドウ云フヤウナ御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、本當ニ何カ一ツ政府デモ考ヘテ見ヤウト云フヤウナ肚
 ハ御有リナシデアリマセウカ、ドウデアリマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

國務大臣(岡田啓介君) 今松平侯爵カラ御尋ネノ點ハ、衆議院ノ本會議ニ於テ此案ガ決議サレル前ニ申述ベテ置イタノデアリマ
 ス、此議院法中政正法律案ハ種々ノ事項ニ互ツテ居リマシテ、其中ニハ比較的解決シ易キ事項モアリマス
 ガ、又關係スル所廣クシテ、特ニ慎重審議ヲ要スル事項モアルト存ズルノデアリマス、殊ニ常置委員會ノ
 如キハ、憲法上議會ノ會期ノ制ガアルニ願ミマシテ、法律上モ政治上モ色々ト考ヘネバナラヌ所デアリマ
 スカラ、本法律案ニ付キマシテハ、篤ト研究ヲ盡シタイト思ツテ居リマス

次ニ私又總理ノ御出デノ内ニ質問イタシタイト思ツテ居リマスガ、常任委員ノ話デアリマスガ、常任委員ト云フヤウナモノモ出來ヤウト云フ話ハ、先程申シタ通り、一ツハ會期ガ短イ、尙ホ外ニ原因ガアル、ソレハ議會閉會中ニ於ケル政府ト議院トノ連絡ト云フモノガ全然ナク、議院ハ色々ナ希望決議ヲスル、或ハ政府ニ研究ヲ望ム、ケレドモ政府ノ方カラ議會ガ始マル迄ニ、ソレニ付テハ材料一ツ送ツテ來ル譯ヂヤナシ、意見ヲ發表スルヂヤナシ、研究ノ結果ヲ報告スルヂヤナシ、何モシナイデホツタラカシテ置イテ、我々ノ方カラ言ヘバ、議會ガ濟メバマア宜カウタト云フ譯デハ、マア此大ト云フヤウニ見エル、サウ云フ譯デアリマス、マアケレドモ、現ニ今度ナドモ随分サウ云フ例ガ多イ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、政府ト議員トガ、閉會中デアツテモ能ク連絡ガ付キマスヤウニ、出來ルダケノ材料ヲ發表サレル、一人々々ニ送ツテ呉レルコトガ面倒ナラバ、事務局ニ送ツテ、事務局カラ送ラシテモ宜イシ、或ハ公表シテ差支ナイモノモアレバ、新聞紙ナリ官報ナリデ御發表ニナツテモ宜イ、マアソシナヤリ方ハ幾ラモアラウト思フ、ドウモ此點ガ非常ニ遺憾ナ點ガ多イ、是ハ是非一ツ改メテ戴キタイト思フ、是ハ總理ノ御考ヲ伺ヒタイノデス、

國務大臣(岡田啓介君) 此點ハ、非常ニ遺憾ナ點ガ多イ、是ハ是非一ツ改メテ戴キタイト思フ、是ハ總理ノ御考ヲ伺ヒタイノデス、

議院ト政府トノ連絡ト云フコトニ付キマシテハ、是迄モ歴代ノ政府ガ相當ニ考ヘテ居ツタト思ヒマス、大キナ法案デアリマスナラバ、其道ノ權威ノ入ニスツテ戴クト云フヤウナコトデ、相當ノ連絡方法ハ考ヘテ

居ツタト思フデアリマス、併シ今大河内子爵ノ申サレルコトハ、誠ニ必要ナコトト思ヒマスカラ、將來此點ニ付テハ十分研究シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

子爵大河内輝耕君 只今權威ノ委員ト云フ御言葉ガ出タノデ、ソレモ一ツ申上ダカウツタ、改メテ其點ヲ申上ゲマスガ、私ノ知ツテ居ル範圍内ニ於キマシテハ、政府ガ委員ヲ選定スル場合ニハ、我々ノ意見ヲ代表スベキ、政策ニ理解アル人ヲ御選定ニナラナイデ、政府ニ都合ノ好イ人デアリ、且ツ或ル會派ヲ纏メルノニ極メテ都合ガ好イト云フ入ヲ御選ビニナル、ソレガ爲ニ我々ノ意見ハ毫モ代表サレナイ、其人ニ向ツテ政策上ノ事ヲ斯ウク尋ネテ見テモ、チツトモ分ラナイ、答モ出來ナケレバ理解モナイ、其代リサウ云フ人ハ、方々會派ヲ駈ケズリ廻ツテ纏メルコトハ上手デアアル、サウ云フ人バカリ委員ニ御選定ニナルモノデスカラ、ドウモ眞面目ナ意見ガ代表サレナイ、是ガ政府ト議院トノ意思ノ疏通ヲ缺イタ一ツノ原因ナンデス、例ヘバ外交ノ事ナラバ外交ノ事ニ通ジタ御方ヲ出サレルガ宜イシ、思想問題ノ對策ナラバ思想問題ニ通曉シタ人ヲ出スガ宜イガ、サウ爲サラナイ、ダカラ聞イテ見テモチツトモ分ラナイ、ソレデオマケニ、中ニハ、其委員達ガ惡イノデハナイノデスガ、色々ナ風潮カラシテ、決シテ嘘ヲツクトハ私ハ申シマセヌケレドモ、唯一部ノ人達ノ意見ヲ以テ、是ガ貴族院全體ノ意嚮デアアルナドト云フヤウナ飛ンデモナイコトヲ言ツテ歩ク人モ居ルノデ、益、政府ト議會トノ連絡ガ付カナクナル、ソレデ斯ウ云フヤウナ事ヲ...委員ノ御選定ニ付キマシテハ一ツ、

モウ少し從來ノ方針ヲ御改メニナツテ、會派ニ尋ネルト云フヤウナコトハ餘計ナコトデスカラ、會派ナドニ尋ネル必要ハアリマセヌ、貴族院ノ會派ナドハ別ニ政黨デモ何デモナイ、代表デ出シテ居ル譯デモ何デモナイ、會派ノ申デ其問題ニ理解ノアル人ヲ御出シニナツテ、相當ニ知識ヲ受ケル、又政策上ノ説明モ出來ルト云フヤウナ人ヲ御選ビニナレバ、餘程ソコデ都合ガ好イト思フ、今折角政府ガ御ヤリニナツテモ、我カ其委員ノ所ニ行ツテ聞イテ見テモ、チツトモ分ラナイ、ソコハ從來サウ云フ傾向ノアツタト云フコトハ、總理大臣モ御認メダラウト思ヒマスガ、ソコモ一ツ此際改メテ戴キタイト思ヒマス

委員長(子爵前田利定君)

私ハ皆サンノ御許シヲ得マシテ、先程松平委員カラ御質問ニナツテ總理ガ御答ヘニナリマシタ其後ヲ受ケテ、チヨツト御尋ヲ致シタイト思ヒマス、只今松平委員ヨリノ御質問ニ對シテ、總理大臣ハ、議院法中改正法律案ノ項目ノ中ニハ受入レテ宜イト思フモノモアルケレドモ、併ナガラ法律上政治上大イニ考究ヲ要スル問題モアル、例ヘバ常置委員ノ問題ハ、法律上政治上ニモ深ク考究シナケレバナラヌ問題モアルト云フ御答ガアリマシタガ、御研究ノ結果近ク政府カラ、議院法中改正法律案ヲ御提議ニナルト云フ思召デゴザイマセウカ、其邊ハ如何デゴザイマセウカ、唯御考究ヲ遊バスト云フコトカ、提案ノ前提トシテ御考究ニナル譯デアリマスカ、如何デアリマスカ

國務大臣(岡田啓介君)

是ハ年來ノ問題デアリマスカラ、政府ハ熱心ニ研究ハ致シテ見タイト考ヘテ居リマス、研究ノ上デアリマセスト、如何ナルモノガ提案出來ルカドウカト云フコトハ、チヨツト今申上ゲ兼ネルノデアリマス

男爵黒田長和君

一昨年ノ議會ニ於テ、是ト殆ド同ジ案ガ衆議院カラ提出サレテ、コチラヘ廻ツテ來タノデアリマス、其時ニ我々ノ考トハ、斯カル問題ハ衆議院カラ提出サレルト云フコトヨリモ、寧ロ是ハ政府ガ考ヘテ、政府カラ政府案トシテ提出サレル方ガ本筋デアル、穩當デアルト云フ考ヲ持ツテ居ルガ、政府ハ議院法ノ改正ヲ必要トシテ、政府獨自デ案ヲ立テテ、將來自カラ案ヲ提出スル考アリヤ否ヤト云フ質問ガアリマシタ時ニ、齋藤總理大臣ハ、誠ニ同感デアル、故ニ政府ニ於テ篤ト考慮シテ政府ヨリ案ヲ提出スル考デアル、ト云フ御答ガアツタコトヲ私ハ記憶イタシマス、サウ云フ行懸リノモノデアリマシテ、昨年ハ遂ニ提出サレズニ過ギタノデアリマス、ソコデ衆議院ガ再ビ提出シテ今日茲ニ案トナツテ現ハレタ譯デアリマスガ、私ハ今尚ホ斯ク云フ問題ニ付テ政府案トシテ提出サレルト云フ方ガ、一層適當ヂヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、モウ一應政府ノ議院法改正ト云フコトニ對シテ、將來政府自ラ實現ヲ圖ルト云フ希望ガアルカ否ヤト云フコトヲ重ネテ此機會ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

國務大臣(岡田啓介君)

是ハ昨年第六十五議會カト思ヒマスガ、其時ニ齋藤總理ト質問應答ガアツタト思ヒマス、政府トシマシテ

モ、熱心ニ研究イタシマシテ、提案出來ルコトナラバ提案イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
塚本清治君

只今委員長ナリ、黒田男爵カラ御尋ニナツタコトト趣旨ハ同ジデアリマスガ、モウ少シ突止メテ御答辯ヲ承リタイ、或ハ只今黒田男爵カラモ御聞キニナツテ、總理ノ御答ガ私ノ聞カムトスル所ヲ既ニ示サレテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、實ハ今聽取リ難カツタ、ソレデ或ハ重複ニ渉ル虞レナイカト自分デ思ヒマスケレドモ、事實併シ聞エマセヌデシタカラ伺ヒタイ、此議院法中改正法律案ハ昭和七年ノ夏ニ既ニ衆議院ノ各派交渉委員ニ於テ案ヲ成立サセ、其趣旨ハ政府夙ニ御承知デアルト存ジマスルガ、政界ノ淨化、或ハ議會ノ信用回復ノ爲ヲ考ヘタノデアリマス、偶々又現内閣成立、日ハ淺イノデアリマスケレドモ、政界淨化、議會尊重ト云フコトハ、組閣當初カラ高ラカニ聲明シテ居ラルル、然ラバ丁度衆議院ガ考ヘテ居ルヤウナコトヲ政府亦考ヘテ居ラルル、誠ニ此點ガ結構ナコトト存ジマス、從ツテ又政府ニ於カレテハ、此議院法中改正法律案ナルモノヲ能ク御承知デアラウト思フ、内閣成立日ハ淺イト云ウテモ、既ニ數年來ノ問題デアリ、手續トシテハ八年、九年、十年、三度議會ヲ衆議院ニ於テ通過サセテ居ル、貴族院モ亦制度調査會ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、非公式ト云ヘバ非公式デアリマスガ、貴族院ノ相當員數ノ議員ガ集ツテ研究調査ヲ遂ゲテ、衆議院ノ議院法中改正法律案ニ對シテ、ソレ相當ノ意見ヲ決メテ居ル、此事實モ亦御承知デアルト思ハレルノデアアル、サウ致シマスルト、之ニ對シテ最早ハツキリト態度ヲ、或ハ御方針ヲ御決メニナツテ居ラルベキダト思フ、改正案中常置委員設置ノ如キ、憲法上其他法律上カラ見テ重要ナ關係ガアリ、今遽ニ決定シ難イト云フコトハ、是ハモウ前々ノ内閣カラ屢、繰返サレテ居ル、此繰返サレテ居ルコトモ亦明カナコトデアアル、殆ド憲法政治、議會政治ニ志ノアル者ハ、皆之ヲ知ツテ居ル、今初メテ聞クト云フコトヂヤナイ、同時ニ又其他ノ點ガ極メテ輕易ナモノデ、改正シテモ差支ナイト云フヤウナ點モアルト云フコトモ亦是レ明瞭デアアル、然ラバ今日ニ於テ何分ノ政府ノ態度ヲ、議院法中改正法律案ノ特別委員會ニ對シテ、御發表ニナツテ然ルベキデナイカ、既ニモウ其時機デアルノデナイカ、前内閣ハ齋藤總理大臣ガ此委員會ニ臨マレテ、次ノ議會ニ提案サレルデアラウトマデ明言セラレテ居リマス、併ナガラ前内閣ノ意見ヲ現内閣ガ御踏襲ニナラナケレバナラヌ理窟モナイ、其點デ言フノデアアリマセヌケレドモ、兎モ角モサウ云フ意味デモウ長イ間ノ懸案デアリ、サウシテ此改正案ガ果シテドレダケ議會尊重、政界淨化ノ役ニ立ツカ、之ヲ測定スルト云フコトハ困難デアリマスガ、兎モ角モ改正セムトスル志ハ此處ニ在ル、サウスレバ政府ニ於カレマシテ、其志ニ御同感デアリ、既ニ聲明ニ依ツテ幾分デモ政治ノ改良進歩ヲ圖ラレルト云フナラバ、此改正案ニ付テ相當關心ヲ持ツテ御出デニナラナケレバナラヌ、ソレ故ニ私ハモウ少シハツキリト、重要ナ關係ガアルカラ、常置委員設置ノ如キハ出來ナイ、ソレハ出來ナケレバ、アト細カイ問題ハ、差支ナイケレドモ強ヒテ議院法ノ改正マデシテ改メル必要ハナイ、故ニ議院法中改正法律案ハ、モウ政府ハ餘リ考ヘナイト言ハレルカ、或ハモウ機ガ熟シテ居ルノダカラ、輕易ナ點ダケナラバ

第六十七回議會 衆議院案 貴族院委員會

ヤルト言ハレルカ、相當具體的ニ意見ヲ承ルコトが出来ル十分ノ時機ダト私共ハ考ヘルノデアリマスガ、如何デス

國務大臣(岡田啓介君)

此問題ノ起リマシタ時カラ、大分長イ時ガ掛カツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ風ニ御考ヘナサルノモ御無理ノナイコトト認メマス、前總理大臣齋藤子爵モ前議會デ、今度ノ議會ニハ或ハ提案ガ出来ルカト御考ヘニナツテ居ツタノダラウト思ヒマス、ケレドモ其後研究ノ足ラヌ所ガアリマシテ、今モ尙ホ事務的研究ヲ熱心ニ續ケテ居ルノデアリマス

伯爵二荒芳徳君

ドノ條ニ付テ伺ツテモ宜シウゴザイマスカ

委員長(子爵前田利定君)

宜シウゴザイマス、宜シウゴザイマスガ成ルベク總理大臣ニ對シテ

伯爵二荒芳徳君

是非總理大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、ソレハ此改正案ノ三條デアリマス、衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各候補者ヲ選舉シ上奏勅裁ヲ請フヘシ、是ハ從來ノ規則デハ三人ノ候補者ヲ選舉シテ、其中カラ勅裁ヲ得ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此意味ニ於キマシテ、三人ノ候補者ヲ出シテ聖斷ヲ仰グト

云フコトト、各候補者一人々々ヲ出シテ聖斷ヲ仰グト云フコトハ、實際今日運用サレテ居ル點カラ見レバ、何時デモ最初ノ候補者ヲ勅裁セラレルト云フコトニナツテ居リマスカラ、同ジヤウニ、別ニヒドク違、ガナイトモ言ヘルヤウデアリマスガ、併シ他ノ方面カラ見レバ、候補者ヲ三人出シテ、勅裁ヲ仰グト云フコトハ、餘程重大ナ意味ガ含マレテ居ルヤウニ思ハレマス、此點篤ト總理大臣ノ御見解ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

國務大臣(岡田啓介君)

私モ其點ハ非常ニ重大ダト考ヘテ居リマス、篤ト研究シタ上デナイト其可否ヲ申上ゲル譯ニイカヌト思

ヒマス

子爵大河内輝耕君

私ノ先程ノ質問ガ途中ニ於テマダ御答ヲ得テ居リマセヌガ、併シ是モ今直グニ御答ヲ願フト云フコトハ無理ダト思ヒマス、御考究ヲ望ンデ置キマス、委員ノ問題デアリマス

國務大臣(岡田啓介君)

委員ノ問題ハ十分研究イタシマス

塚本清治君

大體ノ問題デナクテモ、總理ニ御聞キシタイコトガアリマシタナラバ、此際質問イタシテ宜シウゴザイマ

委員長(子爵前田利定君)

非常ニ衆議院ノ關係ヲ總理ハ御困リノヤウデゴザイマスカラ、總理大臣ヘノ質問ハ次回ニ御譲リテ願ヒ
タスト思ヒマス、如何デゴザイマスカ

塚本清治君

其機會ヲ御與ヘ下サイマスカ
委員長(子爵前田利定君)

多分機會ハアラウト思ツテ居リマス

塚本清治君

タツタ一ツナンデスケレドモ...

委員長(子爵前田利定君)

簡單デゴザイマスカ

塚本清治君

簡單デゴザイマス...部分ナノデゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ
委員長(子爵前田利定君)

宜シウゴザイマス

塚本清治君

衆議院、貴族院ノ議長ノ待遇ノ問題、是モ矢張り議院法中改正ノ一點トシテ、御覽ノ通りノ案ニアル、私ハ
此議院法ノ改正ニ依ツテ議長ノ地位ヲ高メルト云フコトノ善シ惡シハ姑ク措キマシテ、議會ノ代表デアル
議長ヲ、立憲政治ニ於テ、今ヨリモ高ク待遇セラレテ然ルベキヤウニ考ヘル、此問題モ決シテ此數年來ノモ
ノデハナクテ、私ノ存ジテ居リマス限りニ於キマシテモ、既二十年以上、十數年來ノ問題デアル、デ議院法
ノ改正ヲ以テスル點ニ付テ、先刻總理大臣ハ一般的ニ尙ホ考慮中デアルト云フコトデ、今承ルコトガ出來
マセヌガ、議院法ノ改正ヲ俟タズシテデモ、衆議院貴族院ノ議長ノ待遇ニ付テ御考慮ニナツテ居リマセウ
カ、現在ノ待遇デ宜シイト云フ御考デアリマセウカ、大體ノ御方針ヲ承リタイノデス、既二十數年前ニ於
テ、宮中ニ於ケル席次等、時ノ内閣ハ研究ヲ遂ゲ、相當改ムルコトニ考慮ヲ廻ラサレ、實行ニ入ラレタヤウ
ニ漏レ承ツテ居ル次第デアリマス、現内閣デ此邊ニ付テドウ云フ御考デアリマセウカ、承リタイ

國務大臣(岡田啓介君)

此議長副議長及ビ議員ノ待遇ニ付キマシテモ、是ハ慎重考慮シナケレバナラヌ問題ト思ツテ居リマス、此
議院法ノ改正ノ問題ニ付キマシテハ、事務的ニハ相當ノ研究ハ進ンデ居ルデアリマス、ソレノ御話デア
リマスナラバ、法制局長官カラ話サセマス、待遇ノ問題ニ付テハ、是ハマア事務的カラ別デアリマスカラ、

ダカラ當任委員ナドト云フコトモ出來テ來ル、何トカサウ云フコトヲ御考ヘニナツタコトガアルカ、
 政府委員(金森徳次郎君)ト申シマスガ、議會ノ議員ノ方々ニ對シマシテ、時ノ政府ノ調査シテ居ル政治上必要ナル資料ヲ
 差出スト云フコトハ、官廳ノ事務ヲ許ス限リ、出來得ルダケ之ヲ爲スコトガ適當ナコトハ申スマデモナイ
 ト考ヘテ居リマスガ、唯、今マデ正式ニドウ云フ方法ヲ取ツテドウスルト云フヤウナコトマデ實ハ相談
 ノ難マツタコトガナイノデアリマシテ、各官廳ガ自分達ノ見計ヒデ、必要ニ應ジテ措置ヲシテ居ルダケデ
 ゴザイマシテ、尙ホ能ク大臣達ニ申上ゲマシテ、然ルベキ研究ヲ盡シタイト存ジテ居リマス
 子爵大河内輝耕君

今ノ所ハ大變重大ナ點ダト思ヒマス、官廳ニ依リマスト云フト、分ツテ居リマスガ、刷物ハ作ツテハ大臣
 へ配ツタリ始終シテ居ラレルノデスガ、澤山刷物ガ出來ル、ドウモ私共ノ役所ニ居ツタ經驗カラ見ルトハ
 一向秘密ナモノナンカ餘リナイノデス、極ク少ナイ、人事ナンカハ是ハ秘密デスガ、ソレ以外ハ有益ナモ
 ノトハ考ヘマスケレドモ、決シテ秘密デヤナイト私ハ思フ、ドウカ其點ヲ十分一ツ御傳ヘ願ヒタイ
 塚本清治君

總理大臣ガ居ラレルト宜イノデスケレドモ、法制局長官カラ御答ヲ願フカ、或ハ御傳ヘテ願ヒタイ、豫算
 總會ニ於テ、芳澤君ノ質問ニ對シテ總理大臣ガ答ヘラレタ中ニ、議會ニ職能代表ヲ取入レルト云フヤウナ

コトハドウカト云フ質問ニ對シテ、總理ハ、サウ云フコトモ内閣審議會ノ問題トナリ得ルト云フコトヲ御
 答ヘニナツタ、是ハ實ニ重大ナ問題ト思フ、現行憲法ノ下ニ於テ職能代表ヲ取入レルト云フコトハ、ド
 ナ方法ニ依ツテヤルカト云フコトハ、是ハ非常ニ重大ナ問題ト思フノデアリマスガ、併シソレニシテモ總
 理大臣ガ内閣審議會ノ問題トナリ得ルト云フコトヲ言ツテ居ラレル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ内閣審議會ニ
 於テ斯ウ云フ問題モ調査シテ宜シイト云フ意味ニ解セラレル、是ハ速記録ニ依ツテ：當時傍聴モ致シ
 テ居リマシタガ、速記録ニ依ツテ承知イタシタ、デ議會ノ上カラ見テ頗ル重大問題デアル、職能代表ト云
 フヤウナコトマデ考ヘテ御出デニナルトスレバ、議院法中改正法律案ノ如キモ、固ヨリ考ヘテ御出デニナ
 ラナケレバナラナイ、是モ或ハ内閣審議會ニ付セラレルト云フヤウナコトデモアルノデアリマセウカ、ソ
 レトモソノコトニ拘ラズ、政府自ラ改正ノ上ニ考慮ヲ加ヘテ、何レニカヤツテ行クト云フコトデアリ
 マスカ、承ツテ置キタイ、其前ニ職能代表ニ付テノ總理大臣ノ仰シヤツタ趣旨ヲ詳細ニ尙ホ承リタイト思
 ヒマス

政府委員(金森徳次郎君)

確ニ豫算總會ニ於キマシテ、今御示シニナリマシタヤウナ應答ノ行ハレマシタコトハ了解シテ居リマス、
 我國ノ議會ニ職能代表ノ途ヲ設クベキヤ否ヤト云フコトハ、根本的ニ非常ニ大キナ問題デアラウト考ヘマ
 ス、殊ニ衆議院ノ範圍ニ於キマシテ、所謂公選議員デアルト云フコトガ定マツテ居リマスル場合ニ、果シテ憲

法其モノノ眼カラ考ヘマシテ、職能代表ヲ入レ得ル途ガアルデアラウカト云フヤウナコトモ、篤ト研究ヲシ
 ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、貴族院ノ關係ニ於キマシテハ、是ハ憲法ノ上ニ著シキ制限の規定ガア
 リマセヌカラ、或ル意味ニ於テ職能代表ノ途ヲ考ヘルコトハ、憲法ノ眼カラ見マスレバ、直チニ不可能ナリ
 トハマア言ヘナイカモ知レナイヤウナ、曖昧ナ程度デアリマスガ、サウ云フ風ニ思ツテ居リマスガ、唯總
 理大臣ガアノ席デ仰セラレマシタノハ、職能代表ニスルガ宜イトカ、スルガ惡イトカ、或ハスル考ガアル
 トカ、サウ云フコトヲ仰セラレタノデハナクテ、若シ問題トシテ之ヲ考ヘル場合ガアルナラバ、内閣審議
 會ノ權能ノ範圍ニハ屬シ得ルモノデアル、内閣審議會ト云フモノハ、其議シ得ル事項ガ頗ル廣イノデアリマ
 スルカラシテ、サウ云フ機關ノ權能ノ範圍ニ屬シ得ルト云フ點ヲ述ベラレタモノト、當時私ハ了解ヲ致シ
 テ居リマシタ、併シ實ハ突キ止メタコトハ、私カラハツキリ申上ゲル筋合ノコトデハアリマセヌカラシ
 テ、尙ホ能ク御尋ネニナリマシタ御趣旨ヲ總理大臣ニ申上ゲマシテ、御意見ヲ伺ヒ、適當ナ機會ニ適當ナ
 ル方法ヲ以テ御答ヲシタイト存ジテ居リマス、ツレカラ議院法中改正法律案ヲ内閣審議會ニ付議スルヤ
 否ヤト云フコトニ付キマシテハ、今日ノ所マダ其處マデ突キ止メタ研究ニ至ツテ居リマセヌ、現在ノ政府
 ノ内部ニ於キマシテ、議院法ニ付テ研究シテ居リマスル程度ヲ述ベマスルト、此問題ハ從來多年ノ懸案デ
 アリマシテ、其源ヲ尋ネマスレバ、明治二十三年頃カラ此氣持ノ潮流ハ流レテ居ル譯デアリマス、唯時代
 ト共ニ其思想ガ消エタリ現ハレタリシテ居ルダケデ、最近第六十五回以來、議會肅正ト云フ一ツノ主張ノ

中ニ盛込マレテ、此ガ一ツノ明確ナル形ヲ以テ、法律案トシテ貴族院ニマデ送付セラレルヤウニナツタ譯
 デアリマス、政府ノ事務當局ノ立場ニ於キマシテハ、内閣ノ意ヲ受ケマシテ、相當ニ細カイ所マデ觸レテ
 研究ヲ致シテ居リマス、六十五議會ニ齋藤總理大臣カラシテ辯明セラレマシタ通り、第六十六議會ニ、若
 シ法律案ガ適當ニ成立スルナラバ之ヲ提出シタイト云フ考ヲ以テ、政府ノ内部ニ於テ研究シタコトモ、是
 モ全ク事實デゴザイマス、併ナガラ研究ガ非常ニ完全ナ域マデ到達イタシマセヌ、或ル段階ニ於テ、研究
 ヲ止ムルヤウニ自然的ニナツタノデアリマスルガ、其後モ尙ホ研究ヲ致シテ居リマス、事務當局ト致シマ
 シテハ、(或ル範圍ニ於キマシテ)、此部分ノ意見ヲ是ハ採用シテモ宜イデハナイカ、此部分ノ意見ハ頗ル
 困難ナル事情ガアル、斯ウ云フ風ノ程度ノ研究ハ一應ハ遂ゲテ居リマス、併ナガラ衆議院ノ輿論トシテ、
 各派ノ中ニ依リマシテ意思ガ示サレテ居ル位ニ、可ナリ強ク其御主張ノ要旨ガ現ハレテ居リマスルノデ、
 當局者ト致シマシテモ出來得ル限リ慎重ニ研究ヲ致シマシテ、萬遺漏ナイ考ヲ作ツテカラ、始メテハツキ
 リシタ意見ヲ申述べタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマシテ、今日果シテ内閣審議會ガ出來マシタ曉ニ、之
 ニ付議イタシマスルヤ否ヤト云フコトハ、全然決マツテ居ナイノデアリマシテ、私カラ御答ヘスルダケノ
 チヨツト運ビニハ致シ兼ネマス

織田萬君

先程總理大臣カラ御説明ニ、常置委員ヲ置クト云フコトハ、法律上、事實上慎重ニ考慮シナケレバナラヌ

點ガアルト云フコトデアリマシタガ、私ハ本案ノ從來ノ經過ニ付テハ全ク不案内デアリマス、又記録等ヲ見マシタラバ此點ニ付テ相當論議サレタコトダラウト思ヒマスルガ、遺憾ナガラ今日マデ其機會ヲ得マセヌノデ、或ハ重複ニ渉ルコトガアルカモ知レマセヌガ、其法律上、事實上ノ問題トシテ、直チニ此常置委員制ト云フヤウナモノヲ認メル譯ニハ行カナイト云フ其理由ヲ、極ク簡單デ宜シウゴザイマスカラ、一應政府委員カラ御説明ヲ願ヘレバ結構ト思ヒマス

先キニ總理大臣カラ申サレマシタ通り、本問題ノ全體ガ、政府ニ於テ慎重考慮ヲ盡シタイト云フ範圍ニ屬シテ居リマスル爲ニ、如何ナル見解モ確定不動ノ見解トシテハ實ハ申上ゲ兼ねマス、唯事務當局ノ間ニドウ云フ所ニ疑ヲ持ツテ來タカト云フ、斯ウ云フヤウナ方カラ御説明ヲシタイト思ヒマス、其點ヲ豫メ御含ミヲ願ヒタイト存ジマス、第一ニ考ヘマシタノハ、今回ノ議院法中改正法律案ノ中ニ於キマシテハ、所謂常置委員トシテ此處ニ定メラレマシタモノハ如何ナル内容ノモノデアルヤ、是ハ實ハ先決問題デアラウト存ジマス、是ハハツキリ姿ガ決マツテ來マスレバ、之ヲ憲法ニ願ミマシテ、果シテ適切ナルモノト云フベキヤ否ヤト云フ答ガ出テ來ル譯デアリマス、併シ常置委員會ノ規定ガ此議院法ノ中ニ盛込マレテ居リマスル形ハ、極メテ簡單デアリマシテ、其本質ヲ直チニ的確ニ握ルコトハ出來マセヌ、デ、ソレヲドウ云フ意味ニ定メラレテ居ルカト云フコトヲ、多少解釋ヲ加ヘテ、之ヲ前提トシテ考ヘテ行カナケレバナラナイ

ト存ジテ居リマス、今回ノ法律案ノ中ニ、常置委員ノ制度ガ出來テ居リマスルガ、其法律ノ上ニ現ハレテ居リマスル要點ダケヲ取ツテ見マスルト、常置委員ト云フモノハ議會閉會中ニ存在スルモノデアル、是ガ第一點デアリマス、サウシテ常置委員ノ組織ハ、會期中ノ議院ノ意思ニ依リ定メラレタル委員ヲ以テ出來上ツテ居ルノデアルト云フコトガ第二點デアリマス、サウシテ其持ツテ居リマスル權能ハ、示サレマシタ條文ノ中ニハ四ツ程示サレテ居ル譯デアリマス、一ツハ今ノ繼續委員會ノ如キ仕事、他ノ一ツハ議會自ラノ欲スル議案ノ繼續的審議、第二ニハ政府ガ特ニ審査ヲ求メタル事項、次ニ別段ノ審議事項ナシト雖モ何時デモ政府ヲ呼出スコトが出來ル、サウシテ之ニ對シテ質問應答ヲナスコトが出來ル、斯ウ云フ風ニ權能ガ四ツ定メラレテ居ルヤウニ考ヘマス、内容ヲ一口ニ申シマスレバ、立法部ノ審議ニ當ル事項ト、行政部ノ監督ニ當ル事項、此二ツノヤウニ考ヘラレマス、次ニ此常置委員會ト云フモノノ持ツテ居リマスル特別ナル效果ハ何デアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、一ツノ點ハ議案繼續ノ效果デアリマス、前ノ議會ニ提出セラレタモノガ次ノ議會ニモ當然ニ效力ヲ持ツ、新シク議案ヲ提出イタシマセヌデモ、次ノ議會ニ效力ヲ持ツ、サウ云フ效力ガ之ニ次イデ示サレテ居リマス、次ノ效力ハ常置委員會ト云フモノデ議シマスレバ、本會議ニ於テ所謂委員會ニ付議シナクトモ宜イ、委員會付議ヲ省略スルコトが出來ル、斯ウ云フ風ニ示サレテ居リマス、大體此處ニ與ヘラレマシタ是ダケノ材料ヲ集メマシテ、一應ノ推測ヲ加ヘテ考ヘテ見マスルト、是ハ恰モ議會會期中ニ於ケル委員會ト同ジヤウナ意味ニ取扱ツテ居ラルルノデハナカラウ

カ、議會會期中ニハ普通ノ意味ニ於キマシテノ常任委員會ガ存在シテ居リマシテ、豫算デアレ、其外ノ問題デアレ、委員會ニ於テ審議セラレテ居リマス、ソコニ於キマシテハ、議員ノ發言表決ニ付キマシテハ、特別ナル憲法上ノ保護ガアリ、議員ノ自由ニ付キマシテモ特別ナル憲法上ノ保障ガアリマス、恰モソレヲ議會閉會中ニ常置委員ノ形ヲ假リテ延長スルト云フヤウナ意味ニ讀ミマスレバ讀メナイコトハナイヤウニ思ヒマス、又直感デ多クノ人ガ讀ミマスノハ、其意味ニ讀ンデ居ラレルト存ジマス、サウ云フ風ニ考ヘマスルト、玆ニ問題ガ起ツテ來マスルノハ、我國ノ憲法ハ會期ヲ原則的ニ定メマシテ、サウシテソレ以外ノ場合ハ勅命ヲ以テ臨時議會等ノ會期ガ定メラレルコトニナツテ居リマス、ニモ拘ラズ憲法ガ會期以外ニ於テ議會其モノノ活動ガ常置委員ニ於テ行ハルルト云フコトハ、果シテ憲法ノ認メテ居リマスル所ノ議會會期制度ノ法律理論ト既觸ヲ起サナイデアラウカ、斯ウ云フ疑ガ起ツテ來ル譯デアリマス、之ニ付キマシテハ私共ノ見解バカリデナク、世間ニ於キマシテ成ル程度ノ疑ヲ披瀝セラレテ居リマス、併シ果シテ其答ガ如何ニナルヤト云フコトハ、結局委員會自體ノ性質ヲハツキ致シマセヌケレバ答ヘラレナイと思ヒマス、是ガ法律上特ニ考究シナケレバナラス所ノ問題トシテ考ヘターツノ點デアリマス、次ニ何等カノ説明ノ仕方ニ依リマシテ、此委員會ハ議會其モノノ働キデハナイノデアアル、從テ憲法ガ議會ニ認メテ居リマス會期制度ヲ毀スモノデナイ、斯ウ云フ説明ガ生ジ得タト致シマスナラバ、勿論法律ノ上ニ於テ、此常置委員會ヲ不都合トスル根據ハ消滅スルト思ヒマス、併シ憲法ガ、會期制度ヲ議會ニ認メラレマシタ理由

ハ何處ニアルダラウカト言ヒマスレバ、伊藤公ノ憲法義解等ニ依リマシテモ、自カラソレニ特別ナル趣旨ガ加ハツテ居ルコトヲ察シ得ルノデアリマス、詰リ議事ノ停頓ヲ避クルト云フヤウナ意味ガ、伊藤公ノ憲法義解ニ示サレテ居ルと思ヒマス、サウ云フ趣旨ヲ考ヘテ見マスルト、憲法ガ特ニ會期制度ノ議會ヲハツキリ設ケラレタ其精神ニ顧ミマシテ、此常置委員會ト云フモノガ果シテ適當ナモノデアラウカ、是ハ法律論デナクテ、憲法ノ精神ヨリ推シ進メテ考ヘタル常置委員會ノ妥當不妥當ノ問題ニ歸着スルモノト考ヘマス、第二ニ常置委員ニ付テ考ヘマスノハ、此處ニ示サレマシタヤウナ機能ヲ持ツテ居ル常置委員會ガ、果シテ何等ノ他ノ支障ナシト致シマシテモ、我ガ憲法政治ノ運用ニ於キマシテ、好キ結果ヲ齎スデアラウカト云フ疑問デアリマス、固ヨリ此常置委員會ノ持ツテ居リマス一ツノ立派ナ特色ハ、是ハ認メ得ルノデアリマス、併ナガラ其反面ニ於キマシテ、何等カノ弊害ヲ齎ラスコトハナイデアラウカ、試ニ其弊害ノ一ツヲ考ヘテ見マスルト、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、輕々シク斷定ハ出來ナイコトデアリマスガ、憲法ガ議會ノ會期制度ヲ定メラレマシタ趣旨ハ、詰リ所謂行政部ト立法部トノ間ニ、非常ニ妥當適切ナル調和ヲ圖ルト云フコトデアラウト考ヘマス、行政部ノ力ヲ押ヘツケルノデハナイ、立法部ノ力ヲ押ヘツケテハナラス、此二ツノモノノ間ニ非常ニ微妙ナ調和ヲ考ヘテ、是ガ日本ノ政治ノ上ニ好キ結果ヲ齎スト云フ趣旨デハナカラウカト思フノデアリマス、所ガ此常置委員會ガ出來マスト、玆ニ所謂勢力ノ均衡ガ現在ノ制度トハ違ツタ委ニナルノデアリマシテ、其結果、一ツノ缺點ヲ考ヘマスレバ、國務大臣ハ自カラ

靜ニ政策ニ付テ分別ヲ題ラス餘裕ガ少クナツテ來ルト云フ、斯ウ云フ缺點ハ考ヘラレテ來ルデアラウト思ヒマス、又始終政治上ノ紛糾ガ發生ヲ致シマシテ、ソレガ爲ニ必要以上ニ政界ノ混亂ヲ生ズルト云フヤウナコトモ考ヘラレルコトデアラウト思ヒマス、又他ノ一面カラ考ヘマスト、議會ノ委員會ハ、同時ニ議會ガ開カレテ居ルト云フコトニ依ツテ、恐ラク委員會ト議會トガ一心同體ノ働キガ得ラレルト思ヒマス、委員會ノ考ヘ直チニ議會ノ考ヲ反映シテ居ルモノト、實際上取扱ツテモ間違ヒナイト云フコトガ言ハレルデアラウト思ヒマス、此閉會中ノ委員會ト云フモノハ、其根本トナスベキ本會議ガ開カレテ居ナイノデアリマス、全體ノ議會ノ心持ガ十分ニハ現ハレテ居リマセヌ、從ツテ委員會ノ結論ガ直チニ議會全體ノ結論デアルト推測シ得ザル場合モ起ラウト思ヒマス、其時ニ果シテソレガ本會議ノ意思ト同ジデアラウカ、ナカラウカト云フ所ニ爭フ生ジマシテ、又政治上ノ紛糾ヲ發生スル虞レナシトシナイ譯デアリマス、茲ニ今マデ考ヘマシタ位ノ所ガ、大キナ問題トシテ考慮スベキ點デアラウト思ヒマス、尙ホ此委員會ト云フモノニ利益ガアルノデハナカラウカト云フ點ニ付テ考ヘテ見マスト、是ハ勿論アルト存ジマス、ト云フノハ、現在ニ於キマシテ議會閉會中ニハ政府ヲ監視監督スルト云フ議會ノ働キガ幾分不自由ナルコトハ是ハ免レ得マセヌ、此缺點ガ何等カノ方法ヲ以テ補正セラレマスルナラバ、是ハ誠ニ好マシキコトノヤウニ思ハレマス、其點ニ着眼ヲ致シマシテ、御承知ノ如ク一九一九年ノ「ドイツ」ノ憲法ガ出來マシタ時ニ、國民ノ權利ヲ擁護スル爲メ委員會ト云フ制度ガ議會ニ認めラレマシテ、サウ云フ形ガ、是ハ想像デアリマスル

ガ、此法律案ノ基礎ニ横ハツテ居リマスル常置委員ノ氣持ヲ生ミ出シタノデハナカラウカト考ヘマス、議會ノ閉會中或ハ解散後ノ場合ニ於キマシテモ、尙ホ政府ノ行爲ヲ批判シ、國民ノ利益ガ害サレルコトノナイヤウニスルト云フ「ドイツ」憲法ノ規定ナルモノガ、今日ノ此議院法ノ規定ニ反映シテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、サウ云フ點ハ近代政治ノ上ニ一ツノ姿ヲ現ハシテ來タ新シイ問題デアリマシテ、其方面カラ利益ト云フコトモ研究シナケレバナラヌト存ジテ居リマスケレドモ、先ニモ申シマシタヤウニ、幾多之ヲ不利トスル疑ガアリマシテ、茲ニ容易ニ判斷イタシ兼ネル事情ガ起ツテ來テ居ル次第デアリマス、尙ホ此繼續委員會ト云フ制度ヲ茲ニ掲ゲラレマシタ簡單ナ條文ダケデ解決スルコトハ、事實是ハ不可能デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ、是ハ細カイ點ニ入ツテ行キマスルガ、幾多此法律技術的ノ困難ナル問題ガ起リマシテ、假ニ其一ツヲ舉ゲテ見マスルナラバ、例ヘバ貴族院デ常置委員會ニ議案ガ繫ツテ居ル、從ツテ此法律案ノ關スル限リ會期繼續ノ原理ガ茲ニ働イテ居ル、他ノ一面ニ於キマシテ、其間ニ衆議院ガ何等カノ關係デ解散ニナツタ、例ヘバ臨時議會デモ召集セラレマシテ、ソコデ衆議院ガ解散イタチレルコトニナリマスルト、衆議院ハ、政治的ニハ前ノ議會ト後ノ議會トハ全然其性質ヲ異ニシテ居リマシテ、解散ニ依ツテ全ク違ツタ議會ニナツテ居リマス、所ガ貴族院ニ於キマシテハ、前ニ衆議院デ議決セラレタ議案ガ依然トシテ繼續セラレテ居リマシテ、其議案ニ關シマシテハ、當然衆議院ガ解散セラレタ後ニ於テモ法律ニナリ得ルト云フヤウナ一ツノ解釋モ生レテ來ルト思ヒマス、ソレ等ノ點モ幾多ノ

疑問ガアリマシテ、今日尙ホ適切ナル結論ガ出ナイト云フコトハ、我々ソノナニ怠慢ヲシテ居ル譯デハ大
イノデアリマス、尙ホ此問題ハ近時歐羅巴ニ於キマシテモ問題ヲ起シテ居ルラシイノデアリマス、詳シイ
コトハ存ジマセヌガ、確カ昨年ニ於キマシテ萬國議員會議ノ議題トナツテ、「イタリ」ニ於テ論ゼラレテ
居ルト存ジマス、今尙ホ世界的ニ見マシテモ論議ノ途中ニアルヤウナ問題デアリマシテ、必シモ我國ニ於
キマシテ、幾多ノ疑惑ヲ打棄テ、幾多ノ困難ヲ排シテ此問題ヲ解決スルコトハ容易デナイヤウニ私共ハ考
ヘテ居リマス

織田萬君

尙ホモウニ應承リタイト思ヒマスガ、成程此改正案ニ豫想サレテ居ルヤウナ常置委員會ト、現行法第二十
五條ノ委員會トハ其權限ノ輕重等ニ付テ著シイ差異ガアルニハ相違アリマセヌガ、併シ憲法ノ議會ノ會
期ノ制ト其精神ニ於テ或ハ矛盾シナイカト云フヤウナ疑ハ、現行法ノ委員會ニ於テモ尙ホ免レヌト云フ
ヤウナコトハナイデセウカ

政府委員(金森徳次郎君)

其點ハ現行制度ニ此繼續委員制ガ出來マシタ事情ヲ何等カノ資料ニ依リマシテ調査シタイト思ツテ考ヘマ
シタケレドモ、ドウモ適切ナル資料ガ得ラレマセヌノデ、的確ナル御答ハ困難デアリマスルガ、既ニ斯ノ如キ
形ヲ以テ立派ニ國法ノ中ニ盛込マレテ居リマスルモノヲ、憲法違反ナリト答フルダケノ勇氣ハ持チマセヌハ

私共之ヲ如何ニ解釋スルカト云フコトハ、是レ一ツノ研究問題デアラウト思ヒマスルガ、此際私ノ未熟ナ
ル意見ヲ假ニ述ベマスレバ、是ハ議會其モノノ憲法上ノ働キデハナイ、憲法ニ認メラレテ居ル議會ノ議員
ヲ以テ、且ツ議院法ト云フ法律ニ依ツテ作ラレタル別箇ノ委員會ガアルト考ヘテ居リマス、是ハ私ノ未熟
ナ意見デアリマス、從ツテ此繼續委員會ト云フモノハ、憲法上ノ働キヲスルモノデハナクテ、憲法ニ依ツ
テ作ラレタル議會カラ更ニ派生シタル憲法外ノ制度デアルト解スルコトガ、一ツノ解釋方法デアラウト
存ジマス、從ツテ其間ノ議會ノ議員ノ此憲法ニ認メラテ居リマスル獨立權、發言表決ニ關スル無責任ナ意見
ト云フヤウナモノハ是ニハ認メラレテ居ナイト斯ウ解スルコトガ正當ナヤウニ思ヒマス、斯ク解シマスル
ナラバ、憲法違反ト云フ議ハ免レル、免レルト云フト語弊ガアリマスルガ、憲法違反ト云フコトハ多少ノ
疑ハアルニシテモ、先ヅ斯ノ如キ斷定ハ出來ナイト云フコトヲ考フルノデアリマス、而シテ更ニ第二段ト
シテ考ヘテ見マシテ、然ラバ憲法ノ會期制度ノ精神ニ違反シナイカ、斯ウ云フ疑ガ起ツテ來ル譯デス、所
ガ現在ノ繼續委員ト云フモノハ、政府ノ意思ヲ離レテハ存在シ得ナイモノデアリマス、議會ダケノ意思ニ
依ツテ存在シ得ルモノデハナクテ政府ガ要求シ又ハ政府ノ同意ヲ俟ツテ初メテ繼續委員會ガ開カレ得
ルモノデアリマスルガ故ニ、憲法ノ會期制度ヲ認メマシタ精神ニ較ベマシテモ、説明シ易キモノノヤウニ
思フ譯デアリマス、ソコマデアア現在ノ繼續委員ト云フモノハ度々繰返シマスヤウニ、私ノ未熟ナル判斷
ヲ以テ申シマスレバ、憲法違反トハ言ハレナイ、又憲法ノ精神ニ違反スルトハ言ハレナイ、斯ウ考ヘマス、併

シ果シテ政治的ニ是ガ適切妥當ナルモノデアラカドウカト云フ疑問ハ、一ツノ研究問題トシテ殘ツテ居ルヤウニ思ハレマス、テ議會開カレマシテ以來今日ニ至ル迄、何十年間ノ間ニ、繼續委員會ガ一度モ開カレタコトガ無いノハ、矢張りソコニ何カ政治的ニ之ヲ斯カラシムル理由ガアツタノデハナカラウカト私カニ考ヘテ居ル次第デアリマス

織田萬君

私ハ現行法第二十五條ガ憲法違反ノ疑ガアルト云フヤウナ考ハ少シモ持テマセヌ、ガ既ニ此第二十五條ニ於テ繼續委員ト云フヤウナモノヲ認メテ居ル以上ハ、更ニ其組織ヲ變ヘテ常置委員ニスルト云フヤウナコトニ致シマシテモ、マア其權限ノ内容ニ付テハ色々議論モアリマセウガ、其形式ニ於テハ何等憲法ノ認メタル職能デモ何デモナイ、議院法ニ依ツテ憲法ノ運用ヲ完ウスル爲メ斯ノ如キ制度ヲ設ケルト云フコトデアツタナラバ、矢張り其主義ニ於テハ同ジコトデアツテ、現行法第二十五條ガ敢テ憲法ノ會期ノ制ト矛盾スル所ガナイト云フコトデアラナラバ、常置委員制ヲ設ケテモ、少クトモ形式ノ上ニ於テハ敢テ矛盾スル所ガナイノデハナイカト私自身ハ考ヘルノデアリマス、サウシマスルト法律上ノ問題ト云フモノハ、マアソレハ疑問ハアリマセウケレドモ、ソレハ事口重キヲ爲スモノデハナクテ、實際政治上斯ノ如キ制度、即チ常置委員制度ト云フヤウナモノヲ設ケルノガ宜イカ惡イカ、其利害問題ニ自ラ研究ノ必要ガ集中スルノデハナカラウカト思ヒマスガ、サウ心得テ宜シウゴザイマスカ

政府委員(金森權次郎君)

此問題ノ是カラ先ノ研究ノ道行ヲ達觀的ニ考ヘテ見マスルト、恐ラク今仰セニナツタヤウナ道筋ヲ辿ツテ議論ガ進行シテ行クモノデアラウカト考ヘテ居リマス、唯現在ノ立場ニ於キマシテハ、尙ホ憲法上ノ疑義モ實ハ持ツテ居リマスノデ、尙ホモウ少シハツキリ得心ノ行クマデ研究ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

黒崎定三君

此法案ハ極メテ重大ナルモノデアリマシテ、本法案ガ衆議院カラ提出セラレマシテ貴族院ヘ廻リマシタノハ、今回デ三回目デアリマス、其間ニ於キマシテ、政府ニ於テ此法案ニ關聯シテ色々御調査ニナツタモノガアルヤウニ承知イタシテ居リマスガ、ソレハ本案審査ノ上ニ於キマシテハ相當參考ニナルベキモノカト存ゼラレマスノデ、御差支ガナケレバ本案審査ノ參考ニナルベキ資料ガ政府ノ御手許ニゴザイマスル分ヲ、ドウカ私共ニ御示シ下サルコトガ出來レバ甚ダ結構ト存ジマスカラ、是ハ委員長カラ政府ノ方ヘ參考資料ノ御配付ヲ御願ヒ致シテ戴キタイト存ジマス

委員長(子爵前田利定君)

誠ニ御尤ト思ヒマス、私共モ此前ノ此法案ノ特別委員デアリマシタ時ニ、丁度只今此處ニ居ラレル黒田男爵、二荒伯爵モ矢張り其時ノ特別委員デアラレマシタガ、當時若干此法案ニ關シマスル參考資料ヲ政府カ

ヲ配付ヲ受ケタコトガゴザイマス、今日デハ其當時ヨリモ進ンダモノヲ御調ベガアツタコトト考ヘマス
 カラシテ、從ツテ參考資料モ追補セラレタモノモ有リハシナイカト考ヘラレマス、ドウカ此特別委員
 員ニ對シテ、參考資料ノ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス
 政府委員(金森徳次郎君)

此問題ニ付キマシテハ今申シマシタ通り、政府トシテハ慎重研究中デアルノデアリマス、其手段ト致シマ
 シテ、事務當局ヲシテ相當ノ研究ヲサセテ居ル譯デアリマス、所ガ事務當局ノ意見トシテ今マデ作ツテ居
 リマスルモノハ、失張リ其作りマシタ時代ノ空氣ヲ擔ツテ居リマス爲ニ、現在ノ政府ノ氣持ト稍離ルル
 部分ガアルカモ知レナイ、アルトハ斷言ハ致シマセヌガ、多少ノ差ガアルカモ實ハ知レナイデアリマ
 ス、現在ノ政府トシテハモウ少し探キ所マデハ深キ所ト云フト語弊ガアリマスルガ、探キ所マデ心ヲ用
 意テ居リマスノデスカラシテ、事務當局ノ書イテ居リマスモノハ多少物ヲ簡單ニ考ヘテ居ルノデハナイ
 カト思ハレル點モゴザイマスケレドモ、サウ云フ點ハ全ク參考資料ニ過ギナイノデアリマスカラ、其點サ
 ハ御含ミヲ下サイマスルナラバ、大體此案ノ了解ニ必要ナル限度ノ材料ハ總マツテ居リマスカラハ早速
 上ダタイト思ヒマス
 委員長(子爵前田利定君)
 尙ホツレニ關聯シテ、外國ニ於ケル常置委員制度ニ關スル何カ參考資料ト云フモノガゴザイマシタナラ

マ、ソレモ併セテ考キタイト思ヒマス、其點ハ御調ベガアツタコトト考ヘマス、其點ハ御調ベガアツタコトト考ヘマス
 政府委員(金森徳次郎君)
 種ク不完全ナモノハアリマスケレドモ、ソレデ宜シウゴザイマシタナラバ一緒ニ差上ゲルコトニ致シマ

ス
 子爵大河内輝耕君
 ツレヲ戴ケバ分ルンデアリマスガ、極ク簡單デアリマスガ、外國ニサウ云フ常置委員ト云フノガアリマス

政府委員(金森徳次郎君)
 實ハ外國ノ事情ハ非常ニ詳シクハ存ジテ居リマセヌ、衆議院側デ此案ヲ出サレマスル時ソレニ關係ス
 ル文書ニ於キマシテ示サレマシタノハ、雜カ「メキシコ」ト、「チエツコスロヴァキア」ト、「ドイツ」ト「プ
 ロシヤ」此四ツガ示サレテ居ツタト記憶イタシテ居リマス、ソレラノ國ノ憲法ニ付テ考ヘテ見マスルノ
 ニ「メキシコ」、「チエツコスロヴァキア」ト云フヤウナモノハ、是ハ我國ノ常置委員制度トハ全ク趣キヲ
 異ニシテ居ルモノデアリマシテ、其時ノ特殊ノ事情ニ依リマシテ、國ノ統治ノ權力ガ一時働キ得ナクナリ
 マシタ場合ニ、兩院カラ合シテ出來ターツノ委員會ガ暫ク其統治ヲ預カル、斯ウ云フヤウナ氣持デアリマ
 シテ、餘程類ヲ異ニスルモノト思ハレマス、所ガ千九百十九年、即チ詰リ革命後ノ「ドイツ」ニ於キマシテ

出来マシタ其憲法ニ於キマシテハ、議會閉會中ニモ働ク所ノ種ヤナル委員會ガ認めラレテ居リマシテ、例
 ハ外交ニ關スル委員會ト云フヤウナモノガアリマシテ、其中ノ一ツトシテ國民ノ權利ヲ保護スル爲メ
 委員會ガ認めラレテ居ルノデアリマス、ソレガ恐ラク此常置委員ノ形ニ類似性ノ多イモノデアラウト存
 ジテ居リマス、此形ニ依リマシテ「プロシア」ニモ類似スル制度ガアツタヤウニ聞イテ居リマス、是等ノ委
 員會ガ果シテ日本ノ常置委員ト同ジヤウナ働キヲシテ居ルカドウカ、又十分ノ働キヲ爲シ得タモノデア
 ルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、多少ノ研究ヲ進メヤウト致シマシタケレドモ、未ダハツキリシタ答ハ
 出テ居リマセヌ、極ク内部的ノモノデアリマスガ、外務省ヲ經由イタシマシテ、「ドイツ」ノソレヲ委員
 會ハ如何ナル働キヲシタカ、ドウ云フ效果ヲ遂ゲタカト云フヤウナコトヲ調べテ貰ヒマシタガ、ドウモ要
 領ヲ得ルヤウナ答デハナカッタノデアリマシテ、直チニハ何等ノ參考ニ資シ得ナカッタノデアリマス、大
 體實ハ其位シカ存ジテ居リマセヌ

子爵岡部長景君

常置委員ノ外國ニ於ケル例ハ、無論會期ノ日本ト同ジヤウナ短イ國ニ於テアツタラウト思ヒマスガ、英國
 其他等ノ如キ常ニ議會ヲ開イテ居ル立前ノ國ニ於テハ、常置委員ハ認めナイト思ヒマス、是ハ常置委員制
 ノ一層徹底シタモノデアリマスケレドモ、其參考トシテ會期ノ短イ國ニ於ケル常置委員制ハ勿論デアリ
 マスガ、議會ヲ始尾開イテ居リマス國ノ事情モ少シク調べテ戴イタラト思ヒマス

政府委員(金森徳次郎君)

常置委員ノ制度ト云フモノハ研究ガ不足ト申シマスガ、本當ハサウ澤山ナイヤウニ考ヘテ居リマシテ、
 「イギリス」ノ國ヨリ會期ハ非常ニ長イノデアリマスケレドモ、其會期外ニ於テ議會ガ働クト云フヤウナ
 コトヲ書イタ書物ヲ實ハ未ダ見受ケマセヌ、又「アメリカ」ノ如ク一年ハ長イ議會、一年ハ短イ議會ト云フ
 ヤウナ特殊國ニ於キマシテ、何カ常置委員ノヤウナモノガ有ルデハナカラウカト思ツテ、探ツテ見マシタ
 ケレドモ、未ダ思ヒ付キマセヌ、ソレカラ「ドイツ」ノハ日本ヨリモ議會ノ會期ノ長カツタノデアリマシ
 テ、實際ドノ位マツテ居リマシタカ、六箇月トカ、七箇月ノ議會ノ會期デアツタラウト思ヒマスガ、サウ云
 フ所ニ殊ニ議會ガ解散セラレマシテ、暫ク普通ノ意味ノ議會ノ絶對ニアリ得ナイト云フ時ニ、尙ホ此常置
 委員ノ制度ガ認めラレル、斯ウ云フコトガ有ルノデアリマスガ、サウ澤山ノ事例ハドウモ見付カツテ居リ
 マセヌデス

委員長(子爵前田利定君)

皆チニ御異議ガナケレバ、今日ハ此程度デ會ヲ延バシタイト思ヒマス、次ノ委員會ハ、本會議及其他ノ
 特別委員會ノ開會ノ模様ヲ按配イタシマシテ申上グルコトニ致シマス

三月二十三日

委員長(子爵前田利定君)

是ヨリ委員會ヲ開會イタシマス、前回ニ引續キマシテ、御審議ノ御進行ヲ願ヒマス
織田高君

改正法案ノ狙ツテ居リマスル常置委員ト、現行法ノ認メマスル繼續委員トハ、其性質ニ於テ先ヅ違ヒハアリマセウガ、其設置ヲ必要トスル趣意ニ至ツテハ大體ニ於テ變リハナイノデアツテ、要スルニ會期ノ比較的短イ議會ヲシテ、其職能ヲ十分ニ完ウセシムル趣意カラシテ、斯カル委員會ガ置カレルト云フコトニナルノダラウト思ヒマスガ、政府カラ御配付ヲ受ケマシタ參考書類ニ付テ見マスルニ、現行法第二十五條ノ委員ヲ設ケタイト云フコトガ衆議院ニ於テ問題トナツタコトガ、一、二、三回アツテ、而モ何レノ場合ニモ實行ヲ見ルニ至ラナカッタヤウデアリシ、又貴族院ニ於テハ嘗テ其問題モナカッタヤウニ思ヒマス、此繼續委員ノ設置ガ誠實ニ適用サレルト云フコトデアツタラバ、今日迄既ニ幾ラカ此委員設置ノ趣意ニ適フダカノコトモ出來ルダラウト思ヒマスガ、憲政實施サレテ以來今日迄、嘗テ此條文ノ適用ガナク、而シテ近年ニ至ツテ突如トシテ此繼續委員ヨリ一步ヲ進メタ、常置委員ノ設置ノ必要ガアルト云フコトニナツテ來タト云フコトハ、私個人ノ考ヘトシテハ如何ニモ斯ウ附ニ落チナイヤウニ思ハレル、議會ノ方面カラモ、又政府ノ方面カラモ、此現行法ノ繼續委員ト云フモノニ付テ誠實ニ之ヲ適用シテ、議會ノ職能ヲ完ウサセルト云フヤウナコトニ付テ、今日迄殆ド考ヘル所ガナカッタト云フコトガ、第一私ハ甚ダ不審

二番ヘナイ感ジガシマスルシ、サウシテソレニ拘ラズ衆議院カラ近年ニ至ツテ、斯ノ如キ改正案ガ出マシタト云フコトハ、何カ我々ノ考ヘ得ザルヤウナ特別ナ事情デモアリヤシナイカト云フヤウナ感ジモスルノデアリマスガ、政府ニ於テハソレ等ノ點ニ付テ御考究ニナリマシタコトガアリマスカ、參考書類ニソレ等ノコトハ別ニ明カニスベキ事實モナイヤウ思ヒマスルノデ、ソレ等ノ點ヲ敢テ總理大臣ヲ煩ス迄モアリマセズ、政府委員カラ一應サウ云フ、何等カノ特別ノ事情ヲ御考究ニナツタト云フヤウナコトガアリマスカ、サウソト御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、
政府委員(金森徳次郎君)

繼續委員ノ今迄實際ニ於テ行ハレマセデシタ事情ハ、從來ノ沿革ヲ辿ツテ考ヘテ見マスルニ、實際ニ於テ眞實ニ其必要ガ起ラナカッタ、斯ウ云フ風ニ考フルヨリ外ニ適當ナ途ハナイヤウニ存ズル譯デアリマス、今迄繼續委員ヲ現實ニ設置スベシト云フ問題ガ衆議院ニ於テ發生ヲ致シマシタ其沿革ハ、調べタモノデ差出シテ置キマシタガ、大體明治二十四年頃、或ハ二十五年頃、三十二年頃、斯ウ云フヤウナ時期ニ於キマシテ、可ナリ其論ガアツタニ拘ラズ、實際ニ於テ實現セラレナカッタノハ、全ク當時ノ情勢ガ之ヲ必要トシナイト政府ニ依ツテ認メラレタルダケノコトデアツテ、ソレ以前ニ特別ナル理由ハナイコトト存ジテ居リマス、現ニ貴族院ニ於カレマシテハ、私ハツキリトハ記憶シテ居リマセヌガ、昭和二年頃デアリマシタカ、院議ヲ以テ此繼續委員ニ關スル議事ノ規則ヲ御定メニナツタヤウナ事情モアリマシテ、此繼續

委員ノ存在ヲ妨グルガ如キ、何等ノ風潮ノアツタト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、然ラバ今回ノ衆議院提案ニ於キマシテ、常置委員ノ制度ガ設ケラルルヤウニナワテ來マシタ事情ハ、何處ニアルカト云フコトニ付テハ御尋デアリマスルガ、此點ハ私共ノ立場カラ見マシテハ、能ク其事情ヲ知り得ナイノデアリマス、併ナガラ當時此常置委員ガ出來マシタ當時ニ、色々之ニ關シテ主張ヲセラレタ方々ガ色々ナ機會ニ於テ論ゼラレマシタ事情ヲ推察イタシマスルト、會期延長ハ、是ハ憲法ノ關係カラシテ濫リニ行フコトガ出來ナイ、從テ其趣旨ヲ他ノ方法ヲ以テ實現ヲ致シマスル爲ニ、種々考慮ノ末、常置委員ノ制度ヲ設ケテ、議會中審査未了ニ終ラタル議案ハ勿論、政府ニ於テ閉會中調査完了ノ上、次期議會ニ提案セムトスル議案ハ、豫メ審査ニ付スルト云フコトガ、會期ノ短キヲ補フ唯一ノ方法ト信ズルノデアアル、斯ウ云フ風ノ主張ヲサレマシテ、殊ニ其論ノ中ニ外國ノ立法例ヲ見マスルト、「ドイツ」ニアリテハ、外交其他ニ付キ閉會中活動スル委員ヲ設ケテ、甚シキハ議會解散後ニモ其活動ヲナスコトガ出來ルト云フヤウニナツテ居リマス、斯ウ云フ風ノ言葉ヲ使ハレテ居リマスルガ、是等ヲ綜合シテ考ヘテ見マスル下、繼續委員ダケデハ向ホ裏フ所ニ照シテ不十分デアルト云フ一ツノ考ヘ方ト、ソレカラ外國ノ立法例ニ於テ此種ノ委員會ガ出來マシタコトガ、矢張り一ツノ刺戟スル動機ニナツテ居ルノデハナカラウカト存ジマス、ソレ以上ノコトハ私共デハ能ク分リマセヌ

男爵黒田長和君

前回二三ノ委員カラ御尋ガアリマシタト同ジ意味ノ御尋ヲ、モウ一度私ハ繰返シタイト思フノデアリマス、之ニ對シテ總理大臣ノ一層的確ナル御答辯ヲ得タイト考ヘル次第デアリマス、ソレハ此問題ハ其内容ニ於テ、例ヘバ今御質問ニナリマシタ如キ常置委員ノコトナドハ、ナカノ疑義モアリ、之ヲ完全ニ調査イタスト云フコトハ、ナカノ短時間デハ出來ナイコトト存ジマス、ソレカラ又外ニハ議院ガ提案スルト云フヨリモ、寧ロ政府ガ提案スルト云フ方ガ一層適當ナル事項モ、大分含まレテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレデ一昨年ノ議會ニ於キマシテ、矢張り是ト同ジ案ガ衆議院カラ廻ツテ參ツタ時ニ、貴族院トシテハ、サウ云フ意味ニ於テ政府ガ自ら將來提案スル意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ確メマシタ所ガ、齋藤總理大臣ハ、是ニ政府モ大イニナスベキコトデアルト考ヘル故ニ、政府自ラ何トカ考ヘテ、次ノ議會ニ於テハ政府ガ提案スルヤウニ運ビタイモノデアルト云フヤウナ意味ヲ申サレマシタノデアリマス、ソレデ貴族院トシテハ、其時ニハ審議ヲ完了スルコトガ出來ナイデ終ツテ居リマス、今日ト雖モ私ノ考ヘマスル所ニ於テハ、政府ガ能ク考ヘマシテ、政府カラ提案サレルト云フ運ビニナルコトガ、性質上適當ナ問題デハアルマイカト云フ風ニ考ヘマスガ、政府ハ將來政府案トシテ提案サレル御考ガアリマスデアリマセウカ、如何デアリマスカト云フコトヲ、前回ヨリモ的確ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、總理大臣ヨリ御答ヲ願ヒマス

國務大臣(岡田啓介君)

今度出マシタ改正案ノ中ニハ法律上、政治上十分研究シテ見ホナラヌ問題モアリマスノデ、政府ハ慎重

△ニ研究ヲ致シテ、成案ヲ得マシタナラバ提案シタイト思フテ居リマス

男爵黒田長和君 少シ諄ウゴザイマスガ、政府ノ御考トシテハ、是ハ行ハルベキ改正デアルト云フ御考デゴザイマスガ、

國務大臣(岡田啓介君) 此改正案ノ中ニハ、誠ニ御尤ナ所ガアルノデアリマスルカラ、慎重ニ研究イタシマシテ、適當ナル案ヲ得

男爵黒田長和君

少シ諄ウゴザイマスガ、ソレデハ政府自カラ提案セラルベシ御調査ニナルト云フ意味デゴザイマスガ、

國務大臣(岡田啓介君) 左様御考ヘ下サレテ差支ナイト思ヒマス

委員長(子爵前田利定君) 總理大臣ニ對スル御質疑ガゴザイマスナラバ、總理大臣ニ對シテ、御答辯ヲ得ラレマスレバ幸ヒト思

リマスカラ、政府委員デ宜ケレバ、總理大臣ニ又向スベシ出デニナル御都合ガアルト思ヒマスカラ、

塚本清治君 總理大臣ニ對シテ、御答辯ヲ得ラレマスレバ幸ヒト思

ヒマスガ、今後ノコトデアリマスカラ、成案ガ出來タラバ提案スルト云フノハ、是ハモウ極ク普通ノコト

デハ成案ガ得ラレナケレバ出セナイ、得ラレバ出ス、是ハマア極ク當リ前ノコトデ、何人モ疑ハナイ、併

シ最後ニ黒田男爵ガ御尋デアリマシタメニ對シテ、提案ガ得ラレルヤウニ努メテ見ヤウト云フヤウナ御

言葉ト承リマシタガ、要スルニ議院法ニ付テ既ニ現レテ居ル衆議院ノ案ニモ、貴族院ニ現レテ居ル意見、

國務大臣(岡田啓介君)

適當ナル案ヲ得タイト思フテ居リマス、其考デ十分ニ研究イタシマス

委員長(子爵前田利定君)

皆様ニ此際御質疑ガゴザイマセヌケレバ、審議進行上ニ付テ、御懇談ヲシテ見タイト思ヒマスガ如何デス

侯爵松平康昌君

私ハ總理大臣デナクテモ宜シウゴザイマスガ、

委員長(子爵前田利定君)

ドウゾニ宜シウゴザイマス

侯爵松平康昌君

ソレデハ政府ノ方ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、頂戴イタシマシタ参考書類ノ中デ議院法中改正法律案資料ト云フモノガアリマスガ、是ニハ但書ガアリマシテ、括弧ノ中ニ「本研究ハ法制局參事官ノ一人ヲシテ事務的研究」ト云フコトデゴザイマスケレドモ、是ハ何年ノ時ノ調べデゴザイマスカ

政府委員(金森徳次郎君) 今御指摘ニナリマシタノハ、議院法中改正法律案ノ各條文ニ付キマシテ研究シタモノデアリマス、是人々體ハ一昨年ノ研究ヲ本ト致シマシテ、其後幾分其中ニ於キマシテ極ク僅カノ部分デハアリマスケレドモ、後カラ注意ヲ加ヘテ補整シタ點カ少シ存在スルモノデアリマス

侯爵松平康昌君

私ハ是デ...

委員長(子爵前田利定君)

皆様ニ御話ヲ致シマス、此案ニ對シテノ總理大臣ハ、委員ノ質疑ニ對スル御答辯モ今日ハ大分明確ニナツタヤウニ伺フタノデアリマスガ、就キマシテハ一ラ速記ヲ止メテ御懇談ヲシタラドウカト思ヒマスガ如何ナモノデセウカ...

委員長(子爵前田利定君)

ソレデハ速記ヲ中止...

委員長(子爵前田利定君)

ソレデハ速記開始...

男爵黒田長和君

私ハ情趣デオザイマスガ、此案ハ取扱云フコトニ對シマシテ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、本法案ハ前々議會カテノ問題ニナリマシタコトデ、只今問題ニカツテ居リマス、此案ハ其内容ニ於テ最モ慎重ニ研究...

ハ、私ノ意見トシテ申上ダテ置キマス。是レニ並マシムコトハ、最モ適當ナリ。其レハ、貴族院委員會ニ對シテ、
 織田萬君 御發言ノ御意、御申述ニナリマシタ。其レヲ全ク同感デアリマス。改正案ノ内容ハ多岐ニ互テ居リ
 私モ只今黒田男爵ノ御申述ニナリマシタ。其レヲ全ク同感デアリマス。改正案ノ内容ハ多岐ニ互テ居リ
 マスケレドモ、其一ノ點ガ極テ重要ナル。議院法ト云フモノハ、政府ト兩院トノ間ノ非常テ重要ナ
 ル利害關係ニ互ツテ居ル。其レヲアリマスルカラ、政府ニ於テ十分ニ御考慮ノ上ニ成案ヲ提出スルハ、下云
 コトガ、最モ適宜ナ方法デアル。相違アリマセヌ。其レヲ此案ガ法律上、政治上極メテ慎重ニ審議ス
 ルト云フコトハ、既ニ總理大臣カラ述べラレタ道ヲ示ス。兩院ニ於テモ無庸慎重ニ審議ス。其レハ、
 アリマスルカラシテ、此上ニモ我々ニ於テ十分ニ考ヘナケレバナラズ。其レト思ヒマス。既ニ數年
 間之ガ問題トナツテ來タ以上、相當ニ其研究モ積メテ居ルモノト見テ、モ宜カラウト思ヒマス。其レハ、政
 府ノ成案ノ提出ヲ望ミマス。ト同時ニ、唯何時モ政府ノ成案ヲ待テ、我々ノ手ヲ撰イテ居ル。ト云フ
 トモ出來マセヌ。成ルベク早ク其成案ヲ得テ、其レヲ切望スル。其レヲアリマス。其レハ、本法案ハ能ク
 委員長(子爵前田利定君)

他ニ本案ノ取扱ト申シマス。審議方針ト申シマス。付キマシテ、今黒田男爵カラ御發言ガアリ、織田委
 員カラ全然御同意ノ御賛成ノ御發言ガアリマシタガ、他ニ御發言ゴザイマセヌカ……然ラバ御異議ゴ
 ザイマセヌケレバ、黒田男爵、織田委員ノ御述ベニナツタ御趣旨ニ依リマシテ、此本案ニ付キマシテハ委
 員會ハ慎重ナ態度ヲ以テ參ルト云フコトニ致シタイト思ヒマス、本日ハ是デ散會イタシマス
 其ノ後委員會ヲ開カス審査未了ニ終レリ

附

録

第百二十四號
東京
貴州

三三三

其ノ後、以テ、關カス、清本、未、了、ニ、終、リ、テ、
日、本、ノ、海、軍、ヲ、建、立、ス、ル、ニ、向、テ、
ロ、シ、ニ、遊、ヒ、テ、
日、本、ノ、海、軍、ヲ、建、立、ス、ル、ニ、向、テ、
ロ、シ、ニ、遊、ヒ、テ、
日、本、ノ、海、軍、ヲ、建、立、ス、ル、ニ、向、テ、
ロ、シ、ニ、遊、ヒ、テ、

第十八條 兩議院ノ議費ハ國庫ヨリニテ支出ス
第十九條 一、現行議院法

第一章 帝國議會ノ召集成立及開會
第一條 帝國議會召集ノ勅諭ハ集會ノ期日ヲ定メ少クトモ四十日前ニ之ヲ發布スヘシ

第二條 議員ハ召集ノ勅諭ニ指定シタル期日ニ於テ各議院ノ會堂ニ集會スヘシ

第三條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ各三名ノ候補者ヲ選舉セシメ其ノ中ヨリ之ヲ勅任スヘシ
議長副議長ノ勅任セラル、マテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フヘシ

第四條 各議院ハ抽籤法ニ依リ總議員ヲ數部ニ分割シ每部部长一名ヲ部員中ニ於テ互選スヘシ

第五條 兩議院成立シタル後勅命ヲ以テ帝國議會開會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ開院式ヲ行フヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テ貴族院議長ハ議長ノ職務ヲ行フヘシ
第二章 議長書記官及經費

第七條 各議院ノ議長副議長ハ各一員トス
第八條 衆議院ノ議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第九條 衆議院ノ議長副議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ闕位トナリタルトキハ繼任者ノ任期ハ仍前任者ノ任期ニ依ル

第十條 各議院ノ議長ハ其ノ議院ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ院外ニ對シ議院ヲ代表ス

第十一條 議長ハ議會閉會ノ間ニ於テ仍其ノ議院ノ事務ヲ指揮ス

第十二條 議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラズ

第十三條 各議院ニ於テ議長故障アルトキハ副議長之ヲ代理ス

第十四條 各議院ニ於テ議長副議長俱ニ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ職務ヲ行ハシムヘシ

第十五條 各議院ノ議長副議長ハ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ勅任セラル、マテハ仍其ノ職務ヲ繼續スヘシ

第十六條 各議院ニ書記官長一人書記官數人ヲ置ク

第十七條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ書記官ノ事務ヲ提理シ公文ニ署名ス

第十八條 兩議院ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

第十九條 各議院ノ議長ハ歲費トシテ七千五百圓副議長ハ四千五百圓貴族院ノ被選及勅任議員及衆議院ノ議員ハ二千圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歲費ヲ受クルコトヲ得ス

第二十條 議長副議長及議員ハ歲費ヲ辭スルコトヲ得

第二十五條ノ場合ニ於テハ第一項歲費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ一日五圓ヨリ多カラサル手當ヲ受ク

第十九條ノ二 各議院ノ議長副議長及議員ハ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ無賃ニテ國有鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第四章 委員

第二十條 各議院ノ委員ハ全院委員常任委員及特別委員ノ三類トス

全院委員ハ議院ノ全員ヲ以テ委員ト爲スモノトス

常任委員ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ數科ニ分割シ負擔ノ事件ヲ審査スル爲ニ各部ニ於テ同數ノ委員ヲ總議

員中ヨリ選舉シ一會期中其ノ任ニ在ルモノトス

特別委員ハ一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選舉ヲ以テ特ニ付託ヲ受クルモノトス

一三六七

第二十一條 全院委員長ハ一會期コトニ開會ノ始ニ於テ之ヲ選舉ス
常任委員長及特別委員長ハ各委員會ニ於テ之ヲ互選ス

第二十二條 全院委員會ハ議院三分ノ一以上常任委員會及特別委員會ハ其ノ委員半數以上出席スルニ非ザレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 常任委員會及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第二十四條 各委員長ハ委員會ノ經過及結果ヲ議院ニ報告スヘシ

第二十五條 各議院ハ政府ノ要求ニ依リ又ハ其ノ同意ヲ經テ議會閉會ノ間委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシムルコトヲ得

第五章 會議

第二十六條 各議院ノ議長ハ議事日程ヲ定メテ之ヲ議院ニ報告ス

議事日程ハ政府ヨリ提出シタル議案ヲ先ニスヘシ但シ他ノ議事緊急ノ場合ニ於テ政府ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 法律ノ議案ハ三讀會ヲ經テ之ヲ議決スヘシ但シ政府ノ要求若ハ議員十人以上ノ要求ニ由リ議院ニ於テ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタルトキハ三讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 政府ヨリ提出シタル議案ハ委員ノ審査ヲ經スシテ之ヲ議決スルコトヲ得但シ緊急ノ場合ニ於テ政府ノ要求ニ由ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 凡テ議案ヲ發議シ及議院ノ會議ニ於テ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ發スルモノハ二十人以上ノ贊成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第三十條 政府ハ何時タリトモ既ニ提出シタル議案ヲ修正シ又ハ撤回スルコトヲ得

第三十一條 凡テ議案ハ最後ニ議決シタル議院ノ議長ヨリ國務大臣ヲ經由シテ之ヲ奏上スヘシ但シ兩議院ノ一ニ於テ提出シタル議案ニシテ他ノ議院ニ於テ否決シタルトキハ第五十四條第二項ノ規定ニ依ル

第三十二條 兩議院ノ議決ヲ經テ奏上シタル議案ニシテ裁可セララルモノハ次ノ會期マテニ公布セララル

第六章 停會閉會

第三十三條 政府ハ何時タリトモ十五日以内ニ於テ議院ノ停會ヲ命スルコトヲ得

議院停會ノ後再ヒ開會シタルトキハ前會ノ議事ヲ繼續スヘシ

第三十四條 衆議院ノ解散ニ依リ貴族院ニ停會ヲ命シタル場合ニ於テハ前條第二項ノ例ニ依ラス

第三十五條 帝國議會閉會ノ場合ニ於テ議案建議請願ノ議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス但シ第二十

五條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第三十六條 閉會ハ勅命ニ由リ兩議院合會ニ於テ之ヲ舉行スヘシ

第七章 秘密會議

第三十七條 各議院ノ會議ハ左ノ場合ニ於テ公開ヲ停ムルコトヲ得

- 一 議長又ハ議員十人以上ノ發議ニ由リ議院之ヲ可決シタルトキ
- 二 政府ヨリ要求ヲ受ケタルトキ

第三十八條 議長又ハ議員十人以上ヨリ秘密會議ヲ發議シタルトキハ議長ハ直ニ傍聽人ヲ退去セシメ討論ヲ用井スシテ可否ノ決ヲ取ルヘシ

第三十九條 秘密會議ハ刊行スルコトヲ許サス

第八章 豫算案ノ議定

第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ(昭和二年法律第五三號改正)

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ(昭和二年法律第五三號改正)

各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シ

テ五日ヲ超ユルコトヲ得ス(昭和二年法律第五三號改正)

第四十一條 豫算案ニ就キ議院ノ會議ニ於テ修正ノ動議ヲ發スルモノハ三十人以上ノ贊成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第九章 國務大臣及政府委員

第四十二條 國務大臣及政府委員ノ發言ハ何時タリトモ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲ニ議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十三條 議院ニ於テ議案ヲ委員ニ付シタルトキハ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ委員會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得

第四十四條 委員會ハ議長ヲ經由シテ政府委員ノ説明ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條 國務大臣及政府委員ハ議員タル者ヲ除ク外議院ノ會議ニ於テ表決ノ數ニ預カラス

第四十六條 常任委員會又ハ特別委員會ヲ開クトキハ每會委員長ヨリ其ノ主任ノ國務大臣及政府委員ニ報知スヘシ

第四十七條 議事日程及議事ニ關ル報告ハ議員ニ分配スルト同時ニ之ヲ國務大臣及政府委員ニ送付スヘシ

第十章 質問

第四十八條 兩議院ノ議員政府ニ對シ質問ヲ爲サムトスルトキハ三十人以上ノ贊成者アルヲ要ス
質問ハ簡明ナル主意書ヲ作り贊成者ト共ニ連署シテ之ヲ議長ニ提出スヘシ

第四十九條 質問主意書ハ議長之ヲ政府ニ轉送シ國務大臣ハ直ニ答辯ヲ爲シ又ハ答辯スルキ期日ヲ定メ若
答辯ヲ爲サルトキハ其ノ理由ヲ示明スヘシ

第五十條 國務大臣ノ答辯ヲ得又ハ答辯ヲ得サルトキハ質問ノ事件ニ付議員ハ建議ノ動議ヲ爲スコトヲ
得

第五十一條 各議院上奏セムトスルトキハ文書ヲ奉呈シ又ハ議長ヲ以テ總代トシ謁見ヲ請ヒ之ヲ奉呈スル
コトヲ得

各議院ノ建議ハ文書ヲ以テ政府ニ呈出スヘシ

第五十二條 各議院ニ於テ上奏又ハ建議ノ動議ハ三十人以上ノ贊成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得
ス

第十二章 兩議院關係

第五十三條 豫算ヲ除外政府ノ議案ヲ付スルハ兩議院ノ内何レヲ先ニスルモ便宜ニ依ルベシ

第五十四條 甲議院ニ於テ政府ノ議案ヲ可決シ又ハ修正シテ議決シタルトキハ乙議院ニ之ヲ移スヘシ乙議

院ニ於テ甲議院ノ議決ニ同意シ又ハ否決シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ甲議院ニ通知スヘシ

乙議院ニ於テ甲議院ノ提出シタル議案ヲ否決シタルトキハ之ヲ甲議院ニ通知スヘシ

第五十五條 乙議院ニ於テ甲議院ヨリ移シタル議案ニ對シ之ヲ修正シタルトキハ之ヲ甲議院ニ回付スヘシ

甲議院ニ於テ乙議院ノ修正ニ同意シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ乙議院ニ通知スヘシ若シ同意セ
サルトキハ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムヘシ

甲議院ヨリ協議會ヲ開クコトヲ求ムルトキハ乙議院ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五十六條 兩院協議會ハ兩議院ヨリ各十人以下同數ノ委員ヲ選舉シ會同セシム委員ノ協議案成立スル
トキハ議案ヲ政府ヨリ受取り又ハ提出シタル甲議院ニ於テ先ツ之ヲ議シ次ニ乙議院ニ移スヘシ

協議會ニ於テ成立シタル成案ニ對シテハ更ニ修正ノ動議ヲ爲スコトヲ許サス

第五十七條 國務大臣政府委員及各議院ノ議長ハ何時タリトモ兩院協議會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ
得

第五十八條 兩院協議會ハ傍聴ヲ許サス

第五十九條 兩院協議會ニ於テ可否ノ決ヲ取ルハ無名投票ヲ用井可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依
ル

第六十條 兩院協議會ノ議長ハ兩議院協議委員ニ於テ各一員ヲ互選シ每會更代シテ席ニ當ラシムヘシ其

ノ初會ニ於ケル議長ハ抽籤法ヲ以テ之ヲ定ムニ依リ各議員ハ互選シ議會更方ニ當ルニ當リシムヘシ
第六十一條 本章ニ定ムル所ノ外兩議院交渉事務ノ規程ハ其ノ協議ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第十三章 請願

第六十二條 各議院ニ呈出スル人民ノ請願書ハ議員ノ紹介ニ依リ議院之ヲ受取ルヘシ

第六十三條 請願書ハ各議院ニ於テ請願委員ニ付シ之ヲ審査セシム

請願委員請願書ヲ以テ規程ニ合ハスト認ムルトキハ議長ハ紹介ノ議員ヲ經テ之ヲ却下スヘシ

第六十四條 請願委員ハ請願文書表ヲ作り其ノ要領ヲ録シ每週一回議院ニ報告スヘシ

請願委員特別ノ報告ニ依レル要求又ハ議員三十人以上ノ要求アルトキハ各議院ハ其ノ請願事件ヲ會議ニ付スヘシ

第六十五條 各議院ニ於テ請願ノ探擇スヘキコトヲ議決シタルトキハ意見書ヲ附シ其ノ請願書ヲ政府ニ送付シ事宜ニ依リ報告ヲ求ムルコトヲ得

第六十六條 法律ニ依リ法人ト認メラレタル者ヲ除ク外總代ノ名義ヲ以テスル請願ハ各議院之ヲ受取ルコトヲ得ス

第六十七條 各議院ハ憲法ヲ變更スルノ請願ヲ受クルコトヲ得ス

第六十八條 請願書ハ總テ哀願ノ體式ヲ用ウヘシ若請願ノ名義ニ依ラス若ハ其ノ體式ニ違フモノハ各議院

之ヲ受クルコトヲ得ス

第六十九條 請願書ニシテ皇室ニ對シ不敬ノ語ヲ用井政府又ハ議院ニ對シ侮辱ノ語ヲ用井ルモノハ各議院

之ヲ受クルコトヲ得ス

第七十條 各議院ハ司法及行政裁判ニ干預スルノ請願ヲ受クルコトヲ得ス

第七十一條 各議院ハ各別ニ請願ヲ受ケ互ニ相干預セス

第十四章 議院ト人民及官廳地方議會トノ關係

第七十二條 各議院ハ人民ニ向テ告示ヲ發スルコトヲ得ス

第七十三條 各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス

第七十四條 各議院ヨリ審査ノ爲ニ政府ニ向テ必要ナル報告又ハ文書ヲ求ムルトキハ政府ハ祕密ニ涉ルモノヲ除ク外其ノ求ニ應スヘシ

第七十五條 各議院ハ國務大臣及政府委員ノ外他ノ官廳及地方議會ニ向テ照會往復スルコトヲ得ス

第十五章 退職及議員資格ノ異議

第七十六條 衆議院ノ議員ニシテ貴族院議員ニ任セラレ又ハ法律ニ依リ議員タルコトヲ得サル職務ニ任セラレタルトキハ退職者トス

第七十七條 衆議院ノ議員ニシテ選舉法ニ記載シタル被選ノ資格ヲ失ヒタルトキハ退職者トス

第七十八條 衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付異議ヲ生シタルトキハ特ニ委員ヲ設ケ時日ヲ期シ之ヲ審査セシメ其ノ報告ヲ待テ之ヲ議決スヘシ

第七十九條 裁判所ニ於テ當選訴訟ノ裁判手續ヲ爲シタルモノハ衆議院ニ於テ同一事件ニ付審査スルコトヲ得ス

第八十條 議員其ノ資格ナキコトヲ證明セラレ、ニ至ルマテハ議院ニ於テ位列及發言ノ權ヲ失ハス但シ自身ノ資格審査ニ關ル會議ニ對シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ表決ニ預カルコトヲ得ス

第十六章 請假辭職及補闕

第八十一條 各議院ノ議長ハ一週間ニ超エサル議員ノ請假ヲ許可スルコトヲ得其ノ一週間ヲ超エルモノハ議院ニ於テ之ヲ許可ス期限ナキモノハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

第八十二條 各議院ノ議員ハ正當ノ理由ヲ以テ議長ニ届出スシテ會議又ハ委員會ニ闕席スルコトヲ得ス

第八十三條 衆議院ハ議員ノ辭職ヲ許可スルコトヲ得

第八十四條 何等ノ事由ニ拘ラス衆議院議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ議長ヨリ内務大臣ニ通牒シ補闕選舉ヲ求ムヘシ

第十七章 紀律及警察

第八十五條 各議院開會中其ノ紀律ヲ保持セムカ爲内部警察ノ權ハ此ノ法律及各議院ニ於テ定ムル所ノ規則ニ從ヒ議長之ヲ施行ス

第八十六條 各議院ニ於テ要スル所ノ警察官吏ハ政府之ヲ派出シ議長ノ指揮ヲ受ケシム

第八十七條 會議中議員此ノ法律若ハ議事規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ノ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムルコトヲ得

第八十八條 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第八十九條 傍聽人議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ警察官廳ニ引渡サシムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第九十條 議場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ國務大臣政府委員及議員ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第九十一條 各議院ニ於テ皇室ニ對シ不敬ノ言語論說ヲ爲スコトヲ得ス

第九十二條 各議院ニ於テ無禮ノ語ヲ用井ルコトヲ得ス及他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第九十三條 議院又ハ委員會ニ於テ誹毀侮辱ヲ被リタル議員ハ之ヲ議院ニ訴ヘテ處分ヲ求ムヘシ私ニ相報復スルコトヲ得ス

第十八章 懲罰

第九十四條 各議院ハ其ノ議員ニ對シ懲罰ノ權ヲ有ス

第九十五條 各議院ニ於テ懲罰事犯ヲ審査スル爲ニ懲罰委員ヲ設ク

懲罰事犯アルトキハ議長ハ先ツ之ヲ委員ニ付シ審査セシメ議院ノ議ヲ經テ之ヲ宣告ス

各委員會又ハ各部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ委員長又ハ部長ハ之ヲ議長ニ報告シ處分ヲ求ムヘシ

第九十六條 懲罰ハ左ノ如シ

一 公開シタル議場ニ於テ譴責ス

二 公開シタル議場ニ於テ適當ノ謝辭ヲ表セシム

三 一定ノ時間出席ヲ停止ス

四 除名

衆議院ニ於テ除名ハ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十七條 衆議院ハ除名ノ議員再選ニ當ル者ヲ拒ムコトヲ得ス

第九十八條 議員ハ二十人以上ノ贊成ヲ以テ懲罰ノ動議ヲ爲スコトヲ得

懲罰ノ動議ハ事犯アリシ後三日以内ニ之ヲ爲ス

第九十九條 議員正當ノ理由ナクシテ勅諭ニ指定シタル期日後一週間内ニ召集ニ應セサルニ由リ又ハ正當ノ理由ナクシテ會議又ハ委員會ニ闕席スルニ由リ若ハ請假ノ期限ヲ過キタルニ由リ議長ヨリ特ニ招狀ヲ

發シ其ノ招狀ヲ受ケタル後一週間内ニ仍故ナク出席セサル者ハ貴族院ニ於テハ其ノ出席ヲ停止シ上奏シテ勅裁ヲ請フヘク衆議院ニ於テハ之ヲ除名スヘシ

二 議院法制定以來ノ改正要旨

議會回次	法律公布年月日	法律番號	改正條項	改正要旨
第十三回	明治三十二年四月十九日	一〇〇	第十九條	歳費増額及歳費ヲ辭スルコトヲ得ルノ件
第二十二回	明治三十九年五月八日	四九	第四十條	衆議院ニ於ケル豫算審査期間延長ノ件
第三十七回	大正五年五月八日	四〇	第十七條	書記官ノ外ニ奏任官ノ職員ヲ置クノ件
第四十三回	大正九年七月二十九日	八	第十九條	歳費増額ノ件
第五十回	大正十四年三月三十一日	三三	第十九條ノ二(新設)	國有鐵道無賃乗車ノ件
第五十二回	昭和二年五月二日	五三	第四十條	貴族院ノ豫算審査期間ヲ定ムルノ件及豫算審査期間ヲ延長シ得ルノ件



